

弥富市地域公共交通計画

令和3年3月

弥 富 市

目 次

1. はじめに.....	1
1-1 計画策定の背景と目的.....	1
1-2 計画の内容.....	1
1-3 計画策定の進め方.....	1
1-4 計画の位置づけ.....	2
2. 地域の概況.....	3
2-1 人口動向.....	3
2-1-1 市全体の人口、世帯数、年齢別人口割合.....	3
2-1-2 小学校区別の人口、年齢別人口割合.....	4
2-1-3 通勤・通学による人口流動.....	6
2-2 主要施設の立地状況.....	7
2-2-1 医療施設.....	7
2-2-2 教育施設.....	8
2-2-3 商業施設.....	9
2-2-4 福祉施設.....	10
2-2-5 行政施設.....	11
2-3 移動状況.....	12
2-3-1 市内移動.....	12
2-3-2 市外移動.....	16
3. 公共交通の状況.....	18
3-1 公共交通網.....	18
3-1-1 公共交通網.....	18
3-1-2 公共交通網と人口分布.....	19
3-2 鉄道の状況.....	22
3-2-1 運行本数.....	22
3-2-2 利用者数.....	22
3-2-3 駅端末交通手段.....	23
3-3 路線バスの状況.....	23
3-4 きんちゃんバスの状況.....	24
3-4-1 きんちゃんバス運行の概要.....	24
3-4-2 利用者数.....	26
3-4-3 バス停乗降者数調査.....	38
3-4-4 収支.....	45
3-4-5 周知・利用促進策.....	46
3-4-6 その他公共交通と乗り継ぎ.....	58
3-4-7 モニタリング調査(利用者).....	62

3-5 タクシーの状況	71
3-5-1 タクシー事業者の状況	71
3-5-2 福祉タクシー料金助成事業	73
4. 住民意向等の把握	74
4-1 住民アンケート	74
4-1-1 調査概要	74
4-1-2 調査結果	76
4-2 住民意見交換会	103
4-2-1 開催概要	103
4-2-2 第1回意見交換会の主な意見	104
4-2-3 第2回意見交換会の主な意見	109
5. 上位・関連計画	115
5-1 第2次弥富市総合計画	115
5-2 弥富市都市計画マスタープラン	117
5-3 弥富市立地適正化計画	118
5-4 弥富市地域公共交通網形成計画(現行)	120
6. 問題点・課題の整理	124
7. 弥富市地域公共交通計画	126
7-1 計画期間	126
7-2 計画区域	126
7-3 基本理念	127
7-4 事業推進の基本方針	127
7-5 地域公共交通の展開方針	128
7-6 基本方針に基づく目標	130
7-7 目標を達成するために行う事業及び事業主体・計画期間	131
7-7-1 施策の方向性	131
7-7-2 実施事業一覧	132
7-7-3 実施事業の概要	136
7-8 計画の進め方	148

1. はじめに

1-1 計画策定の背景と目的

平成 28 年 3 月に現行の地域公共交通網形成計画策定後も、利用促進策の展開や運行の改善を継続的に繰り返すことにより利用者が増加するなど一定の成果を上げているものと考えられます。しかし、運行の満足度や一部路線での利用者数の伸び悩みが見受けられるなど、課題も出てきています。

そこで、今後も持続可能で利便性の高い地域公共交通網を展開するために、現行の弥富市地域公共交通網形成計画を改訂した「弥富市地域公共交通計画」（以下「本計画」とします。）を策定し、まちづくりと連携した地域公共交通の確保・維持・改善に向けた事業を推進します。

1-2 計画の内容

本計画は、本市における望ましい公共交通体系の構築を目指し、令和 2 年 11 月に改正が施行された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」に基づいて策定します。計画では、「弥富市地域公共交通活性化協議会」での議論を通し、以下の内容を定めます。

- ①地域旅客運送サービスの持続可能な提供の確保に資する地域公共交通の活性化及び再生の推進に関する基本的な方針
- ②計画の区域
- ③計画の目標
- ④③の目標を達成するために行う事業・実施主体
- ⑤計画の達成状況の評価に関する事項
- ⑥計画期間
- ⑦その他計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

1-3 計画策定の進め方

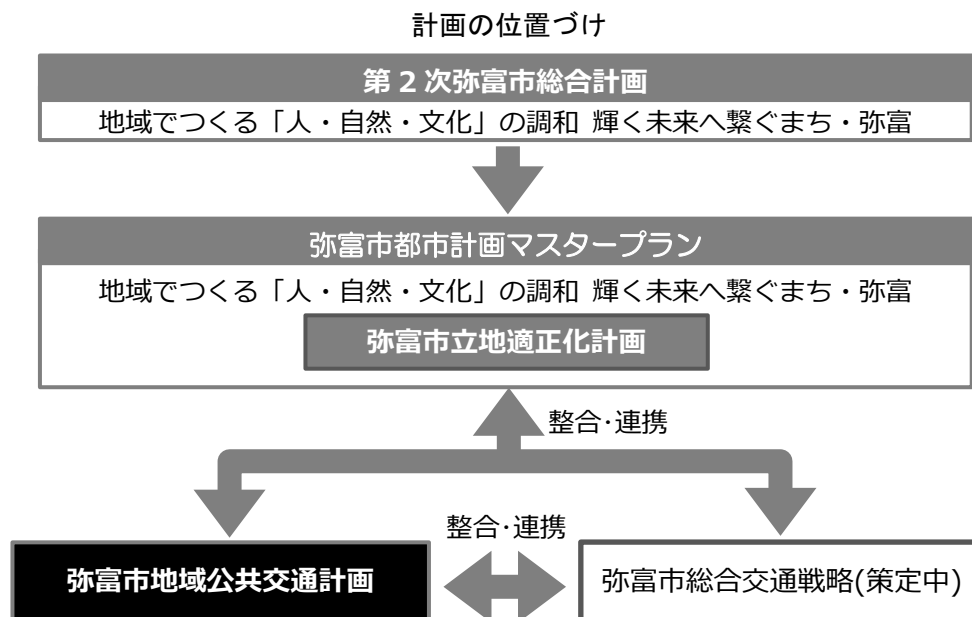
計画策定にあたっては、市民の代表や交通事業者、行政（国・県・市）等により構成される「弥富市地域公共交通活性化協議会」での協議を踏まえ、地域公共交通に関する基本理念、基本方針、目標を定め、目標を達成するための事業等について検討します。

また、同時期（令和 2 年度）に策定に向けた検討が進められている「弥富市総合交通戦略」においても、「弥富市総合交通戦略推進協議会」が設置されていることから、相互に情報を共有し、連携した検討を推進します。

1-4 計画の位置づけ

本計画は、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の改正に基づき、まちづくりの方針である第2次弥富市総合計画、弥富市都市計画マスタープラン、弥富市立地適正化計画などの上位関連計画を踏まえたものとしします。

なお、策定に向けた検討が進められている「弥富市総合交通戦略」は、徒歩、自転車、公共交通、自動車の総合的な都市交通の将来像と、それを実現するための総合的かつ戦略的な交通施策を一体的に定めた計画となります。一方で、「弥富市地域公共交通計画」は、きんちゃんバスをはじめとした地域公共交通分野における、より具体的な取組み内容などを定めた計画となります。

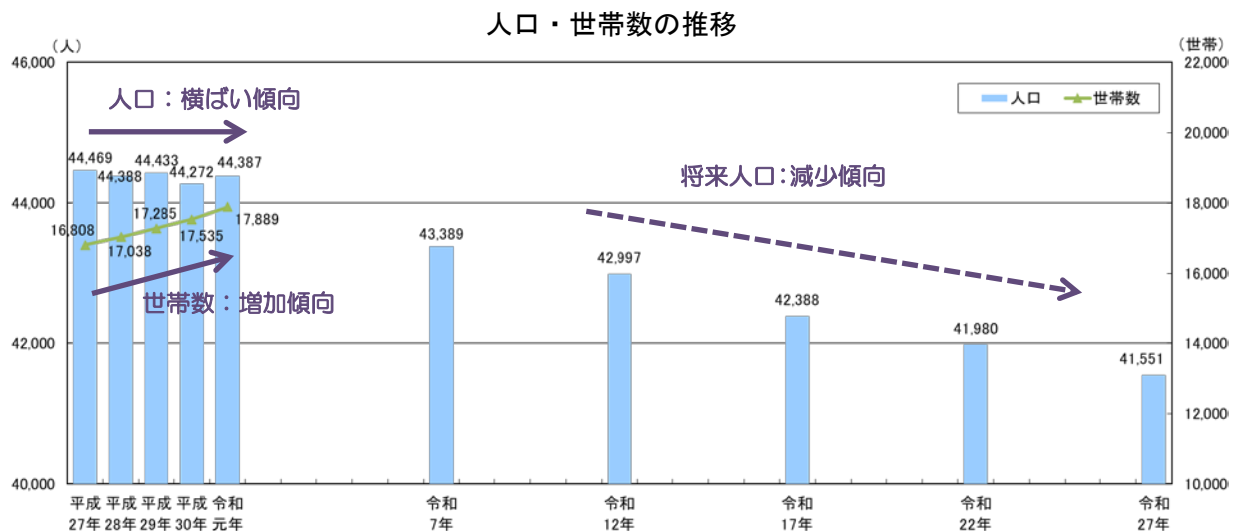


2. 地域の概況

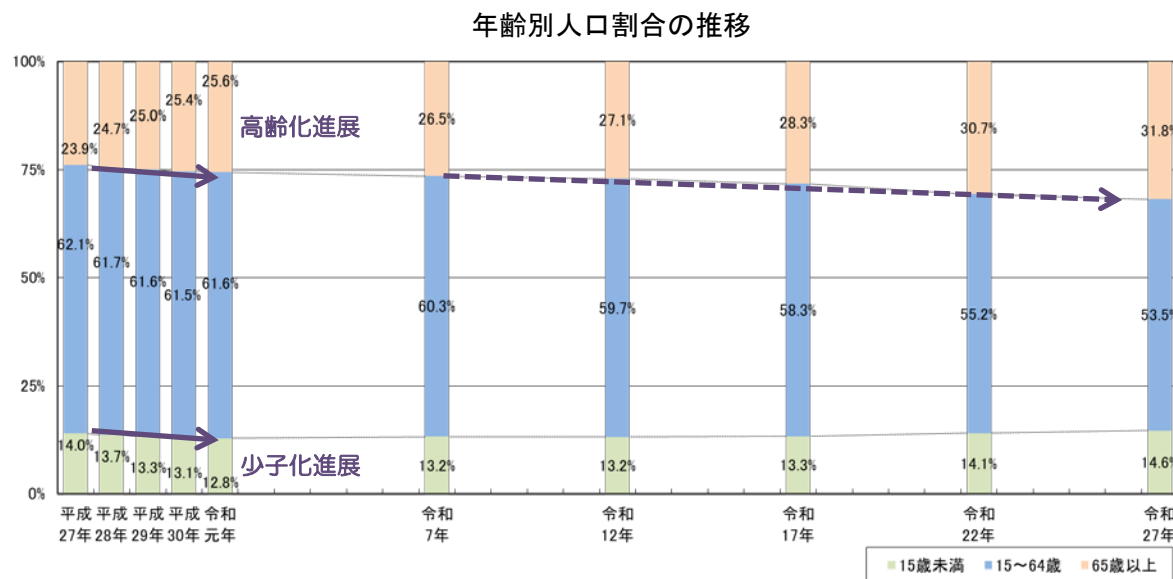
2-1 人口動向

2-1-1 市全体の人口、世帯数、年齢別人口割合

- 人口は平成 27 年以降増減を繰り返し、ほぼ横ばいの傾向となっている。
- 世帯数は経年的に増加している。
- 国立社会保障・人口問題研究所による将来の推計人口は減少傾向となっており、令和 27 年には 41,551 人と、現在の本市の人口からみると約 3,000 人減少すると予想されている。
- 年齢別人口割合は、徐々に少子高齢化が進んでおり、将来においても高齢者割合は増加していくと予想されている。



※資料：令和元年まで：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）
将来：国立社会保障・人口問題研究所による推計人口



※資料：令和元年まで：住民基本台帳（各年 4 月 1 日）
将来：国立社会保障・人口問題研究所による推計人口

2-1-2 小学校区別の人口、年齢別人口割合

- ・全年齢の小学校区別の人口は弥生小学校区が最も多く、日の出小学校区や桜小学校区など北部地域を中心に多くなっている。
- ・南部地域や東部地域の人口は減少傾向となっている。
- ・14歳以下の人口も弥生小学校区が最も多く、北部地域を中心に多くなっているが、人口、割合ともに全体的に減少傾向となっている。
- ・65歳以上の高齢者人口も弥生小学校区が最も多く、北部地域を中心に多くなっており、人口、割合ともに増加傾向となっている。
- ・きんちゃんバスを無料で利用できる75歳以上人口も同様の傾向となっており、人口、割合ともに増加傾向となっている。

小学校区別人口の推移

全年齢		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	5,667	5,625	5,639	5,653	5,709	+42
	弥生	11,084	11,134	11,157	11,215	11,282	+198
	桜	7,771	7,769	7,838	7,757	7,757	-14
	日の出	8,240	8,276	8,367	8,366	8,464	+224
南部	大藤	3,183	3,144	3,129	3,094	3,051	-132
	栄南	2,957	2,902	2,820	2,792	2,760	-197
東部	十四山東部	3,220	3,208	3,182	3,147	3,148	-72
	十四山西部	2,347	2,330	2,301	2,248	2,216	-131
市全体		44,469	44,388	44,433	44,272	44,387	-82
14歳以下		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	725	694	687	680	678	-47
	弥生	1,485	1,494	1,432	1,410	1,399	-86
	桜	1,165	1,130	1,121	1,093	1,068	-97
	日の出	1,488	1,436	1,415	1,383	1,343	-145
南部	大藤	383	375	364	363	358	-25
	栄南	271	252	236	240	241	-30
東部	十四山東部	379	369	370	354	344	-35
	十四山西部	312	311	295	268	257	-55
市全体		6,208	6,061	5,920	5,791	5,688	-520
65歳以上		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	1,602	1,640	1,672	1,722	1,745	+143
	弥生	2,679	2,757	2,804	2,825	2,840	+161
	桜	1,665	1,731	1,751	1,770	1,784	+119
	日の出	1,336	1,401	1,446	1,481	1,510	+174
南部	大藤	893	935	947	950	962	+69
	栄南	852	865	874	875	875	+23
東部	十四山東部	933	954	962	975	981	+48
	十四山西部	664	677	671	666	662	-2
市全体		10,624	10,960	11,127	11,264	11,359	+735
75歳以上		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	676	722	789	863	924	+248
	弥生	1,137	1,224	1,310	1,394	1,456	+319
	桜	791	832	872	900	915	+124
	日の出	496	527	582	635	706	+210
南部	大藤	392	402	416	430	441	+49
	栄南	429	435	456	458	465	+36
東部	十四山東部	441	459	461	473	487	+46
	十四山西部	330	332	329	341	342	+12
市全体		4,692	4,933	5,215	5,494	5,736	+1,044

※資料：住民基本台帳（各年4月1日）

小学校区別年齢別人口割合の推移

14歳以下		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	12.8%	12.3%	12.2%	12.0%	11.9%	-0.9%
	弥生	13.4%	13.4%	12.8%	12.6%	12.4%	-1.0%
	桜	15.0%	14.5%	14.3%	14.1%	13.8%	-1.2%
	日の出	18.1%	17.4%	16.9%	16.5%	15.9%	-2.2%
南部	大藤	12.0%	11.9%	11.6%	11.7%	11.7%	-0.3%
	栄南	9.2%	8.7%	8.4%	8.6%	8.7%	-0.4%
東部	十四山東部	11.8%	11.5%	11.6%	11.2%	10.9%	-0.8%
	十四山西部	13.3%	13.3%	12.8%	11.9%	11.6%	-1.7%
市全体		14.0%	13.7%	13.3%	13.1%	12.8%	-1.1%
65歳以上		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	28.3%	29.2%	29.7%	30.5%	30.6%	+2.3%
	弥生	24.2%	24.8%	25.1%	25.2%	25.2%	+1.0%
	桜	21.4%	22.3%	22.3%	22.8%	23.0%	+1.6%
	日の出	16.2%	16.9%	17.3%	17.7%	17.8%	+1.6%
南部	大藤	28.1%	29.7%	30.3%	30.7%	31.5%	+3.5%
	栄南	28.8%	29.8%	31.0%	31.3%	31.7%	+2.9%
東部	十四山東部	29.0%	29.7%	30.2%	31.0%	31.2%	+2.2%
	十四山西部	28.3%	29.1%	29.2%	29.6%	29.9%	+1.6%
市全体		23.9%	24.7%	25.0%	25.4%	25.6%	+1.7%
75歳以上		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	H27⇒R元・増減
北部	白鳥	11.9%	12.8%	14.0%	15.3%	16.2%	+4.3%
	弥生	10.3%	11.0%	11.7%	12.4%	12.9%	+2.6%
	桜	10.2%	10.7%	11.1%	11.6%	11.8%	+1.6%
	日の出	6.0%	6.4%	7.0%	7.6%	8.3%	+2.3%
南部	大藤	12.3%	12.8%	13.3%	13.9%	14.5%	+2.1%
	栄南	14.5%	15.0%	16.2%	16.4%	16.8%	+2.3%
東部	十四山東部	13.7%	14.3%	14.5%	15.0%	15.5%	+1.8%
	十四山西部	14.1%	14.2%	14.3%	15.2%	15.4%	+1.4%

※資料：住民基本台帳（各年4月1日）

小学校位置図



2-1-3 通勤・通学による人口流動

- ・通勤・通学による人口流動は、流出、流入ともに名古屋市が最も多く、次いで愛西市や津島市、蟹江町などが多くなっている。
- ・平成22年と平成27年とを比較すると全体的に増加しており、流動傾向も同様となっている。

通勤・通学（15歳以上）による人口流動

順位	平成22年	流出		流入		計	
		人口 (人)	割合	人口 (人)	割合	人口 (人)	割合
	弥富市内	9,143	38.1%	—	—	9,143	19.6%
1	名古屋市	6,147	25.6%	3,301	14.6%	9,448	20.3%
2	愛西市	910	3.8%	1,607	7.1%	2,517	5.4%
3	津島市	753	3.1%	974	4.3%	1,727	3.7%
4	蟹江町	633	2.6%	1,046	4.6%	1,679	3.6%
5	桑名市	699	2.9%	822	3.6%	1,521	3.3%
6	飛島村	1,025	4.3%	324	1.4%	1,349	2.9%
7	木曽岬町	376	1.6%	473	2.1%	849	1.8%
8	あま市	263	1.1%	530	2.3%	793	1.7%
9	四日市市	334	1.4%	233	1.0%	567	1.2%
10	稲沢市	221	0.9%	337	1.5%	558	1.2%
	その他	3,506	14.6%	12,907	57.2%	16,413	35.2%
	弥富市全体	24,010	100.0%	22,554	100.0%	46,564	100.0%

順位 変動	平成27年	弥富市から流出		弥富市へ流入		計		H22⇒H27 増減 (人)
		人口 (人)	割合	人口 (人)	割合	人口 (人)	割合	
	弥富市内	9,577	39.2%	—	—	9,577	20.1%	+434
1 →	名古屋市	5,986	24.5%	3,733	16.0%	9,719	20.4%	+271
2 →	愛西市	1,045	4.3%	1,694	7.3%	2,739	5.7%	+222
3 →	津島市	925	3.8%	1,058	4.5%	1,983	4.2%	+256
4 →	蟹江町	665	2.7%	1,151	4.9%	1,816	3.8%	+137
5 →	桑名市	847	3.5%	996	4.3%	1,843	3.9%	+322
6 →	飛島村	1,110	4.5%	285	1.2%	1,395	2.9%	+46
7 →	木曽岬町	402	1.6%	441	1.9%	843	1.8%	-6
8 →	あま市	299	1.2%	540	2.3%	839	1.8%	+46
9 →	四日市市	375	1.5%	262	1.1%	637	1.3%	+70
10 →	稲沢市	240	1.0%	386	1.7%	626	1.3%	+68
	その他	2,942	12.1%	12,756	54.7%	15,698	32.9%	-715
	弥富市全体	24,413	100.0%	23,302	100.0%	47,715	100.0%	+1,151

※資料：各年国勢調査

2-2 主要施設の立地状況

2-2-1 医療施設

- 市内には入院治療が可能な第二次医療施設として、海南病院と偕行会リハビリテーション病院が立地している。
- その他の第一次医療施設などの診療所は、近鉄弥富駅付近から佐古木駅付近までの一般国道1号の南側に多く立地している。

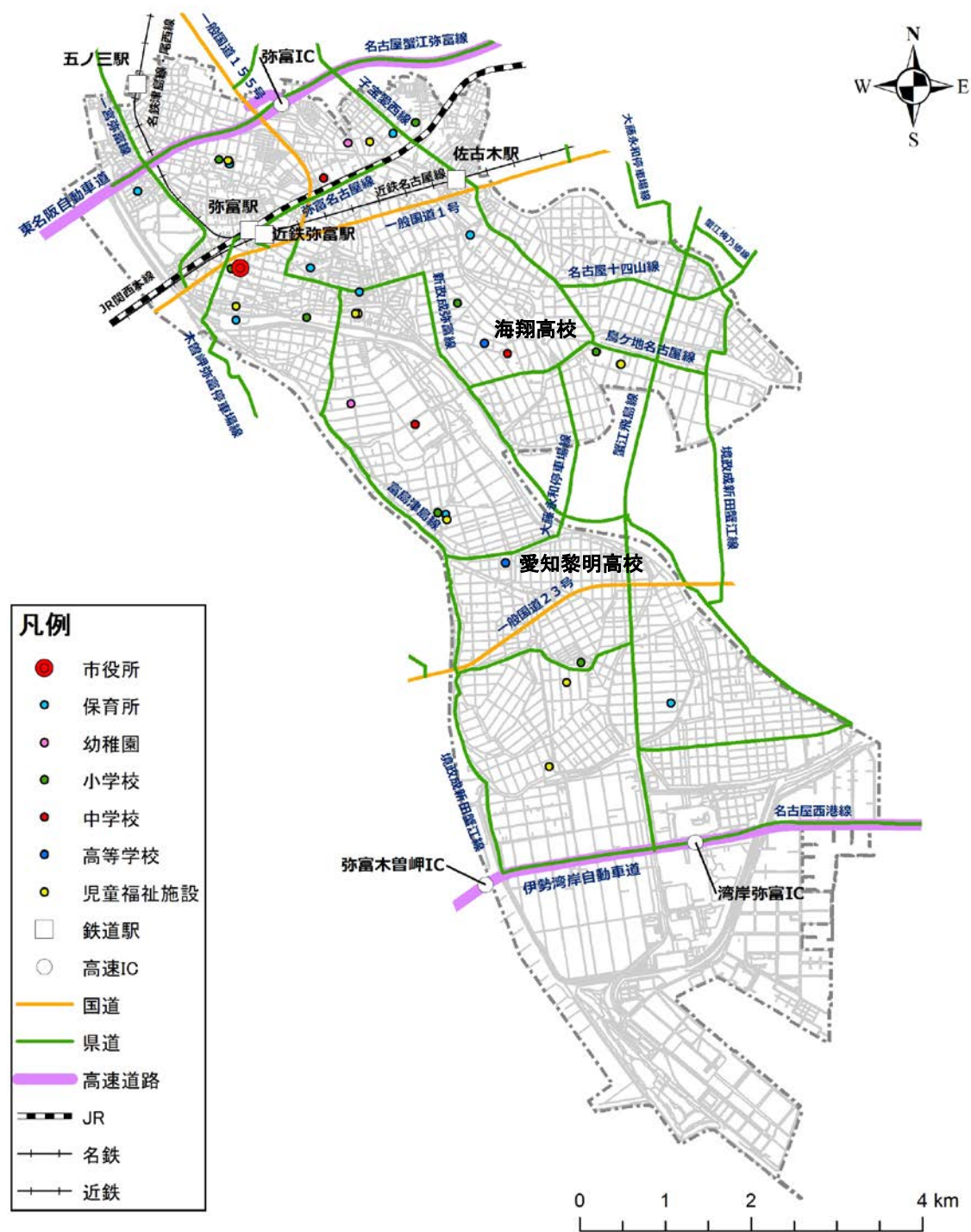
医療施設の立地状況



2-2-2 教育施設

- 市内には8つの小学校、3つの中学校のほか、2つの高校が立地している。

教育施設の立地状況



2-2-3 商業施設

- 市内には弥富駅北側のイオンタウン弥富や、市役所近くのウィングプラザパディーの2つのショッピングセンターのほか、一般国道1号線沿線などにスーパーマーケットが立地している。
- 南部地域や東部地域では商業施設が非常に少なくなっている。

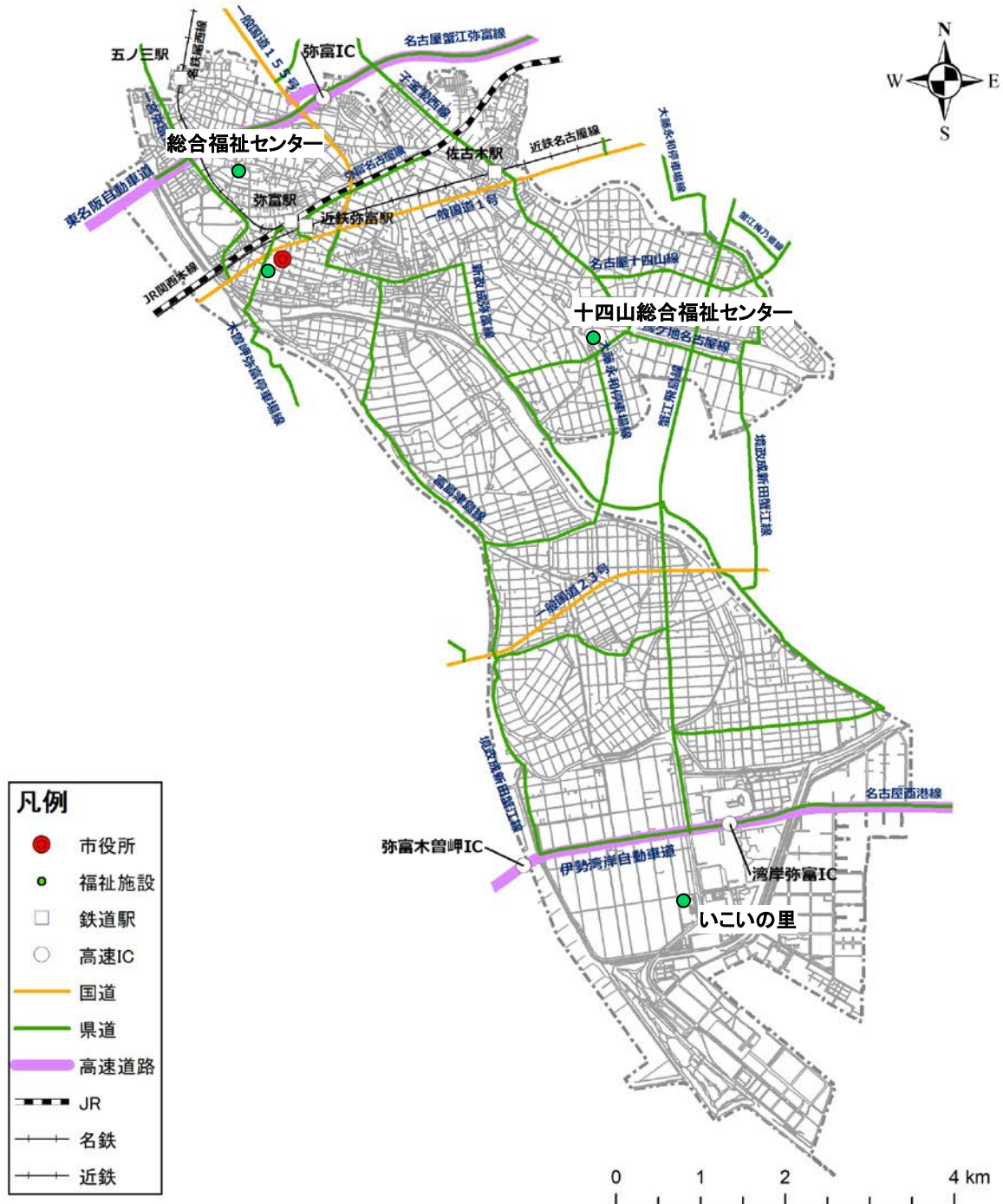
商業施設の立地状況



2-2-4 福祉施設

- 市内には温浴設備のある福祉施設として、北部地域に総合福祉センター、南部地域にいこいの里、東部地域に十四山総合福祉センターが立地している。

福祉施設の立地状況



2-2-5 行政施設

- 市内には市役所のほか、南部地域に鍋田支所、東部地域に十四山支所が立地している。

行政施設の立地状況



2-3 移動状況

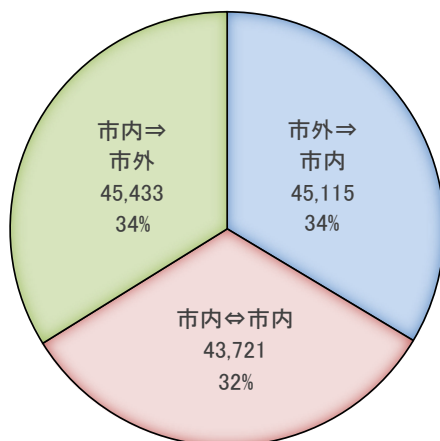
※資料：第5回中京都市圏パーソントリップ調査（平成23年）

2-3-1 市内移動

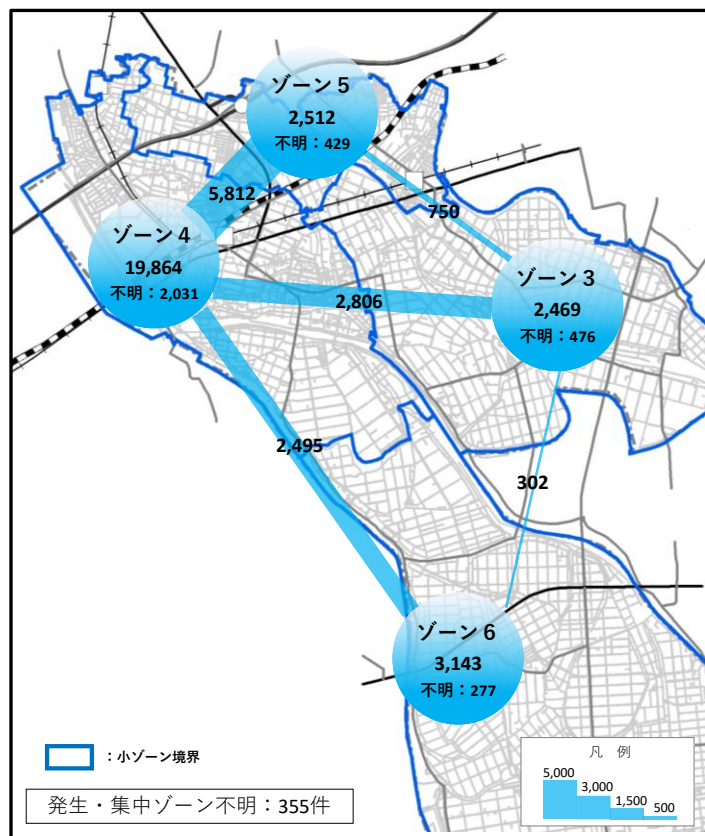
(1) 市内の移動量

- 市内⇄市内の移動は43,721件で全トリップの32%を占めている。
- ゾーン4内での移動が19,864件で市内移動の45%となっている。
- ゾーン間の移動で最も多いのがゾーン4⇄ゾーン5の5,812件、次いでゾーン4⇄ゾーン3の2,806件となっており、ゾーン4を中心とした移動が多い。

本市関連移動量



市内の移動状況

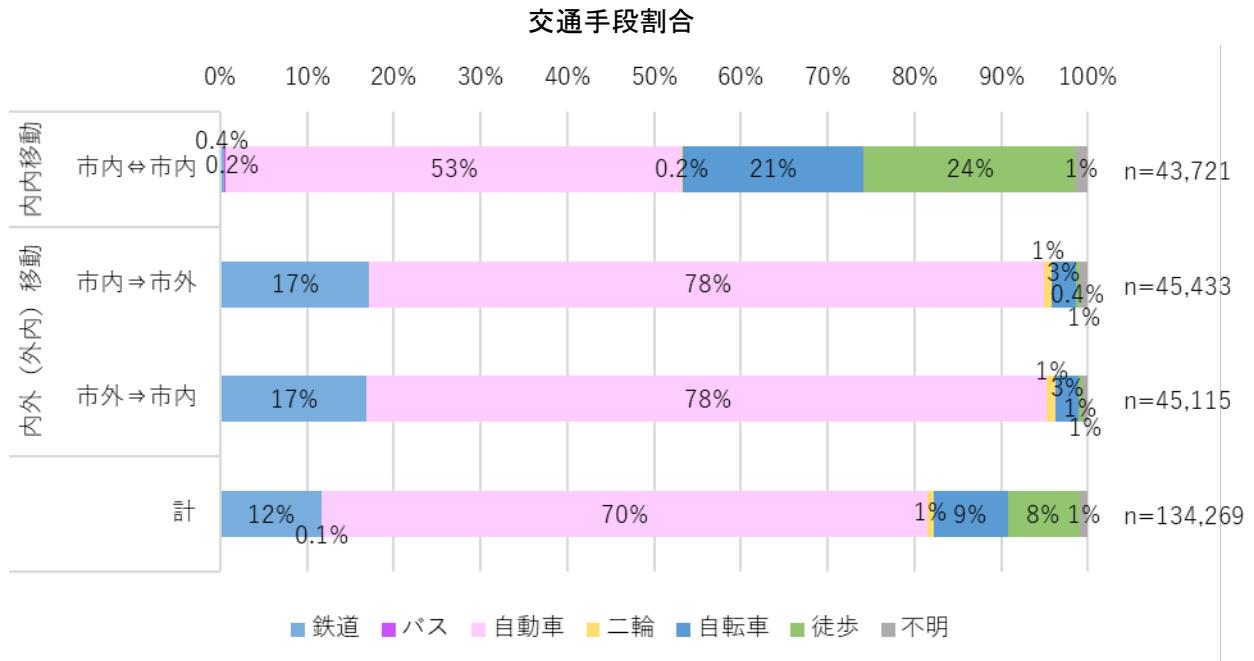


小ゾーンの該当町名

小ゾーン	該当町丁・字名
ゾーン3	榎場新田、馬ヶ地新田、海屋新田、上押萩1～2丁目、亀ヶ地1～2丁目、亀ヶ地新田、神戸新田、子宝新田、五斗山1～4丁目、坂中地1～5丁目、鮫ヶ地1～3丁目、下押萩1丁目、四郎兵衛1～2丁目、四郎兵衛新田、善太新田、竹田1～6丁目、鳥ヶ地新田、鍋平1～5丁目、西蜆1～2丁目、東蜆1～2丁目、六条新田
ゾーン4	鰺浦、海老江1丁目、鎌島、川平1丁目、川原欠、小島新田、五之三、五明、五明1～4丁目、中山、平島新田、平島中、平島西、平島東、前ヶ須新田、森津
ゾーン5	鎌倉新田、佐古木1丁目、佐古木新田、西中地、荷之上、東中地、前ヶ平、又八新田、楽平
ゾーン6	稲狐、稲元、稲吉、稲荷1～4丁目、稲荷崎、上野、栄南、大谷、大藤、加稲、加稲山、寛延、間崎、間崎1～3丁目、木曾岬干拓、狐地、楠1～3丁目、操出、駒野、境、三稲1～8丁目、芝井、富島、富浜1～5丁目、中原、鍋田、西末広1～5丁目、東末広、松名、三好

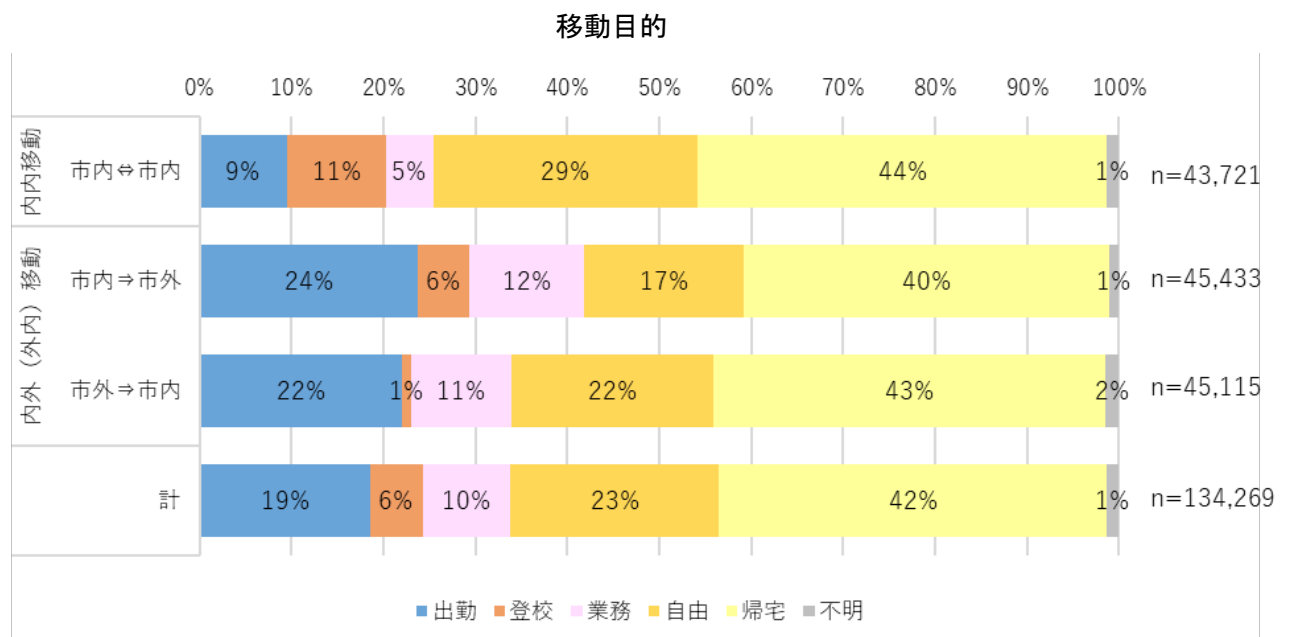
(2)交通手段割合

- ・市内⇄市内、市内⇄市外移動とも移動手段は自動車が一番多くなっている。
- ・市内⇄市外移動においては鉄道が17%と比較的多くなっている。
- ・市内⇄市内においては、バスが0.2%となっている。



(3)移動目的

- ・市内⇄市内、市内⇄市外とも移動目的は「帰宅」が一番多くなっている。
- ・市内⇄市内では「自由」が29%と多くっており、市内⇄市外では「出勤」が多くなっている。

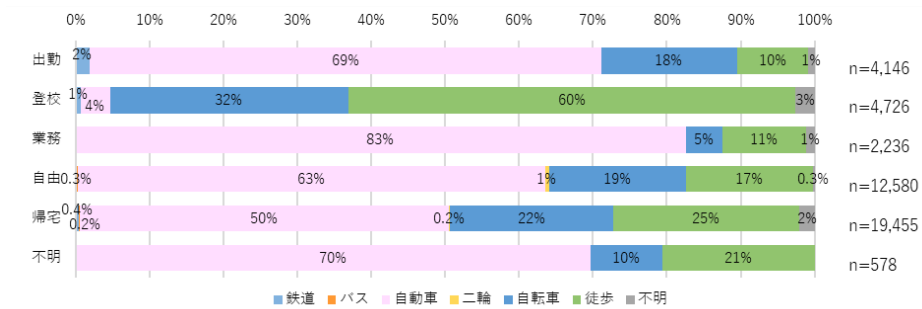


(4)目的別交通手段

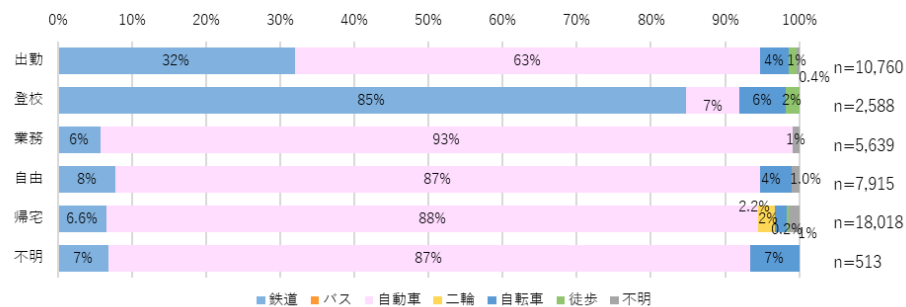
- 「登校」を除き、全体的に自動車の割合が高くなっている。
- バスは、市内⇔市内の「自由」で 0.3%、「帰宅」で 0.2%となっている。

目的別移動手段

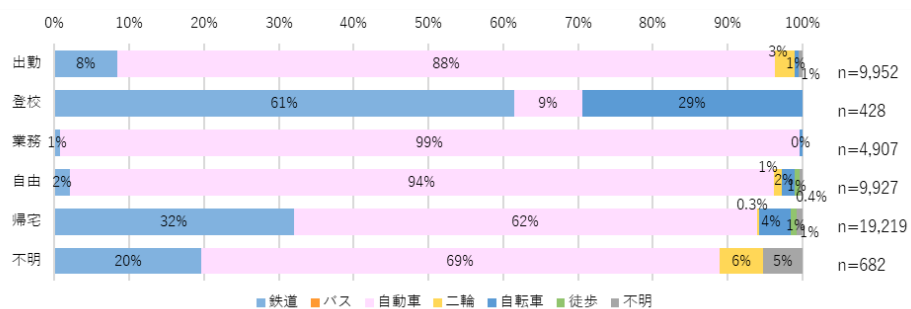
[市内⇔市内]



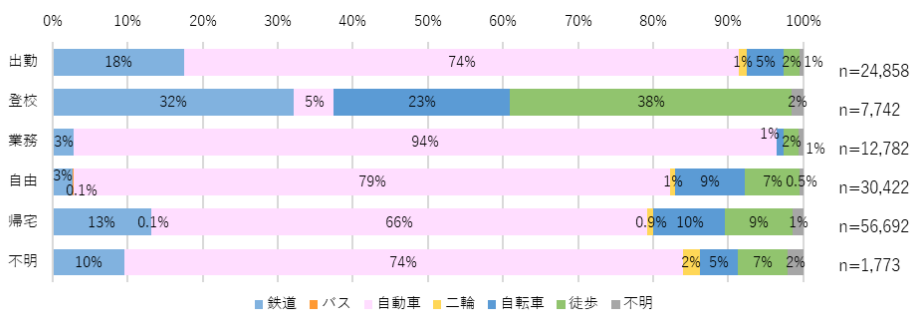
[市内⇒市外]



[市外⇒市内]



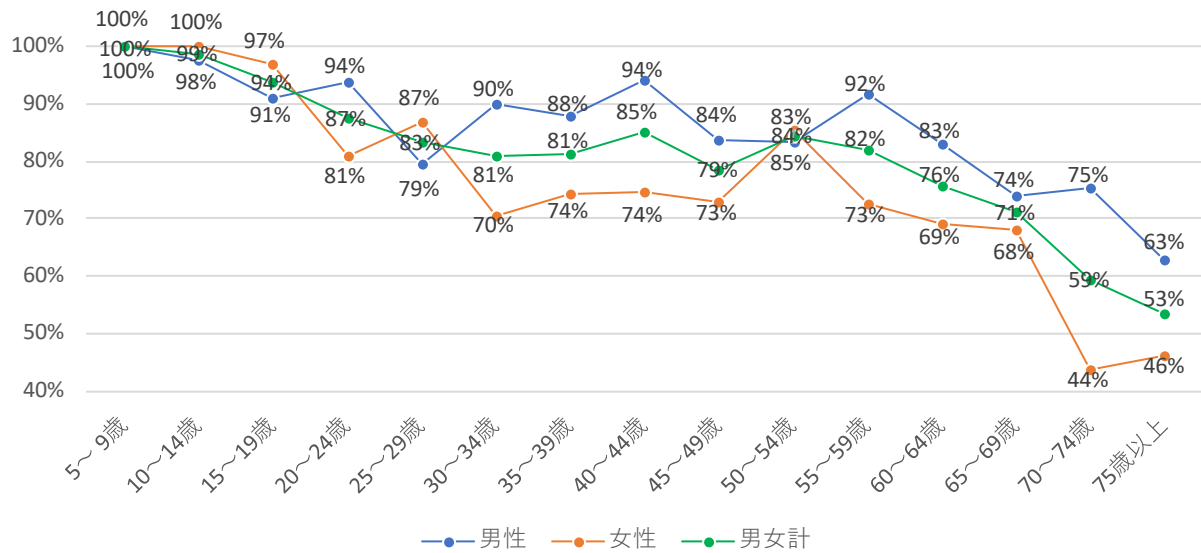
[全移動]



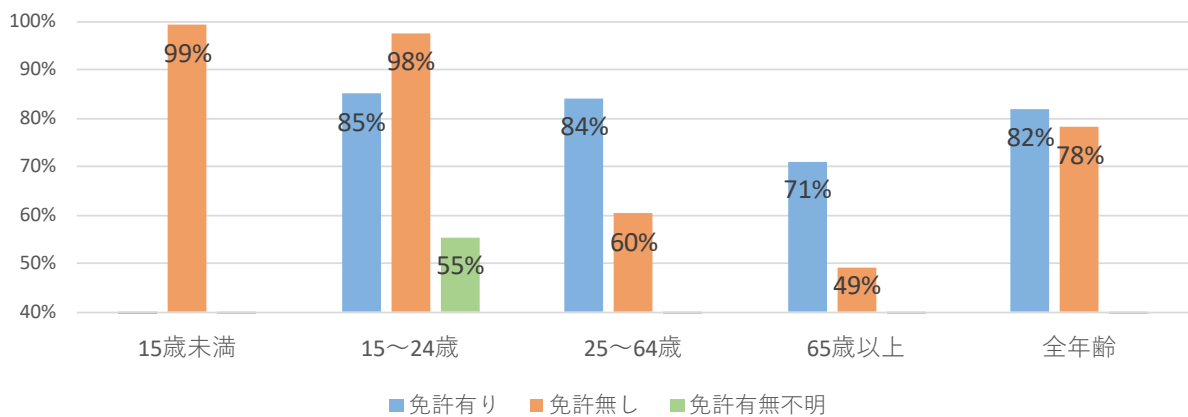
(5)年齢別外出割合

- 外出率は年齢が上がるほど低下していき、70 歳以上から大きく下降している。
- 免許の有無別では「免許無し」の外出率が低くなっている。

年齢別外出率



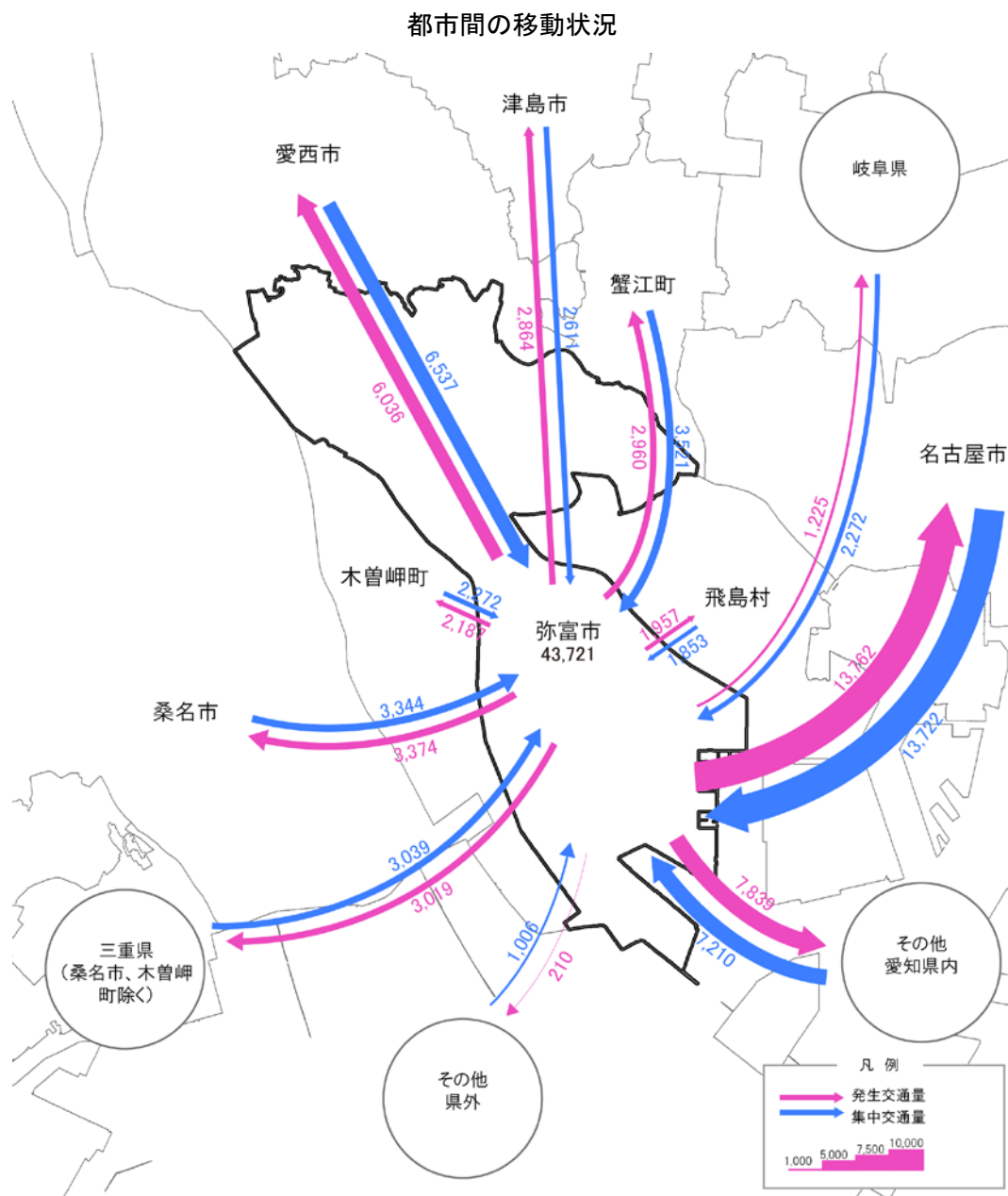
免許の有無別外出率



2-3-2 市外移動

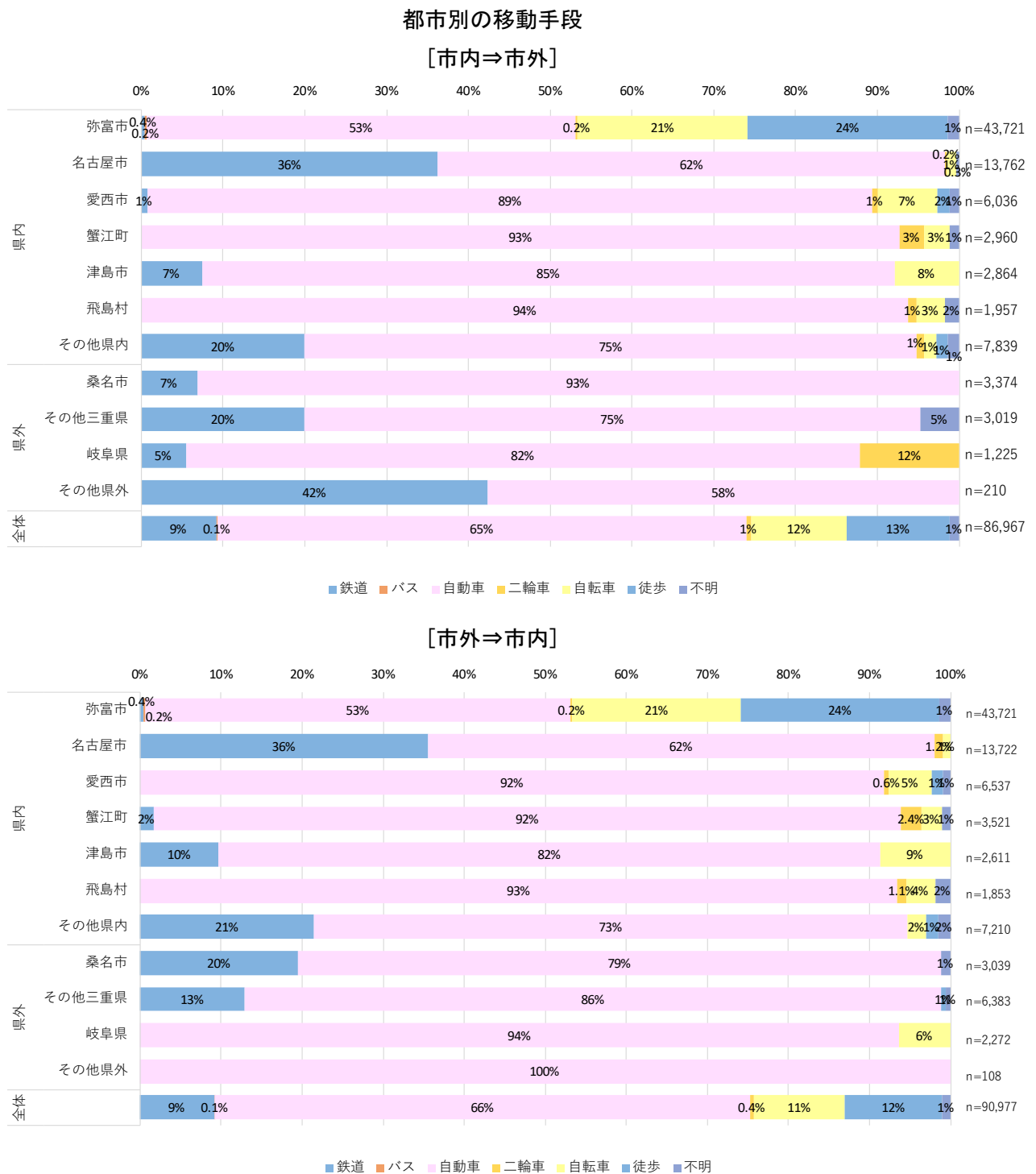
(1)都市間の移動量

- 本市の他都市との移動量は、名古屋市との移動が最も多く、次いで愛西市との移動が多くなっている。



(2) 都市別の移動手段

- ・市内⇒市外への移動手段は、名古屋市や県外には「鉄道」が比較的多くなっているが、多くは「自動車」となっている。
- ・市外⇒市内への移動手段は、名古屋市や桑名市からは「鉄道」が比較的多くなっているが、多くは「自動車」となっている。



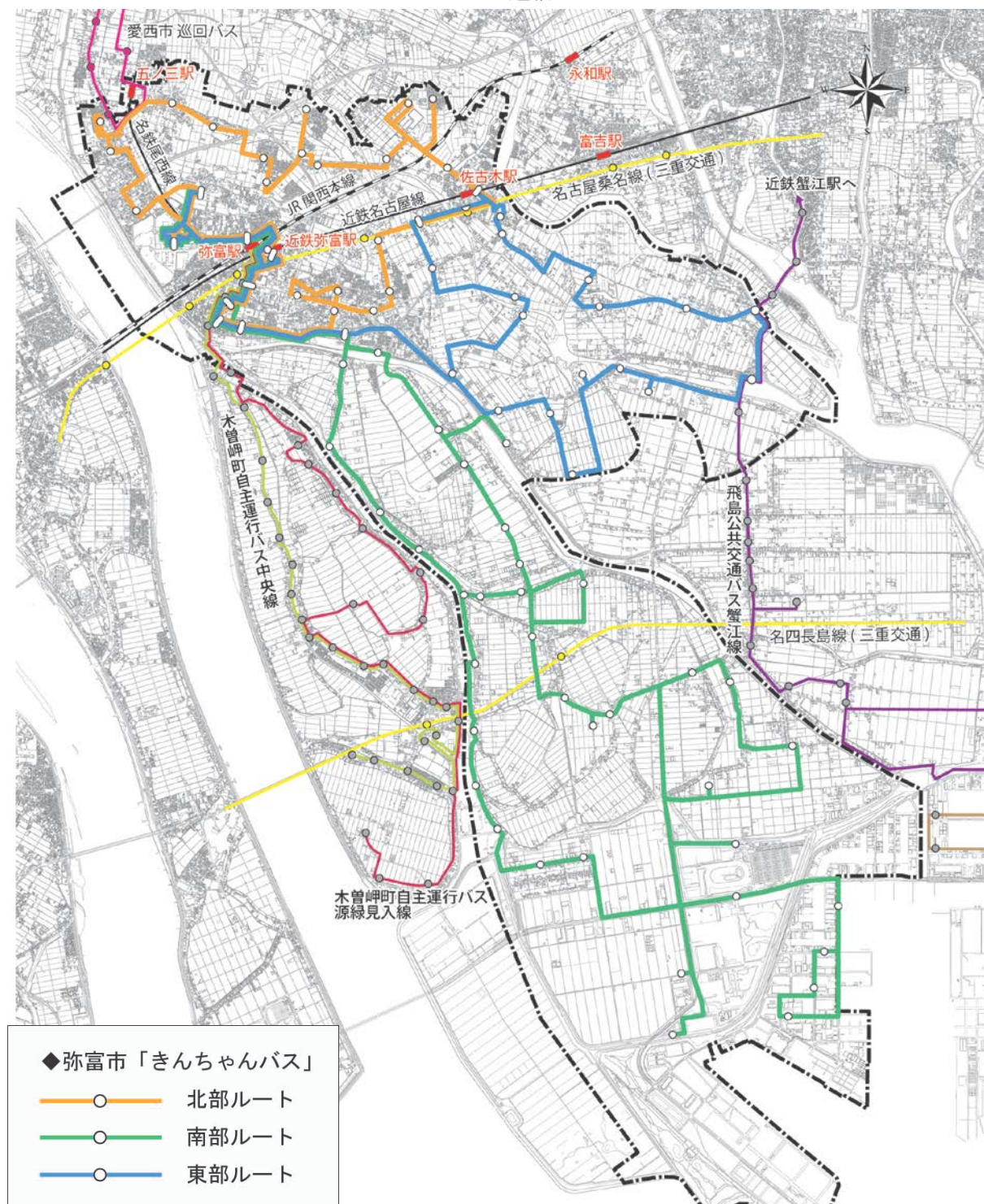
3. 公共交通の状況

3-1 公共交通網

3-1-1 公共交通網

- 鉄道は、北部地域を近鉄名古屋線と JR 関西本線、名鉄尾西線が通っており、市内には計 4 つの駅が立地している。
- バスは、三重交通の路線バスが 2 路線、市内全域を運行するコミュニティバス「きんちゃんバス」が 3 路線運行している。
- その他、市北部では愛西市巡回バス、市東部では幹線系統である飛島公共交通バス蟹江線、市西部では木曽岬町自主運行バスが 2 路線運行している。

公共交通網



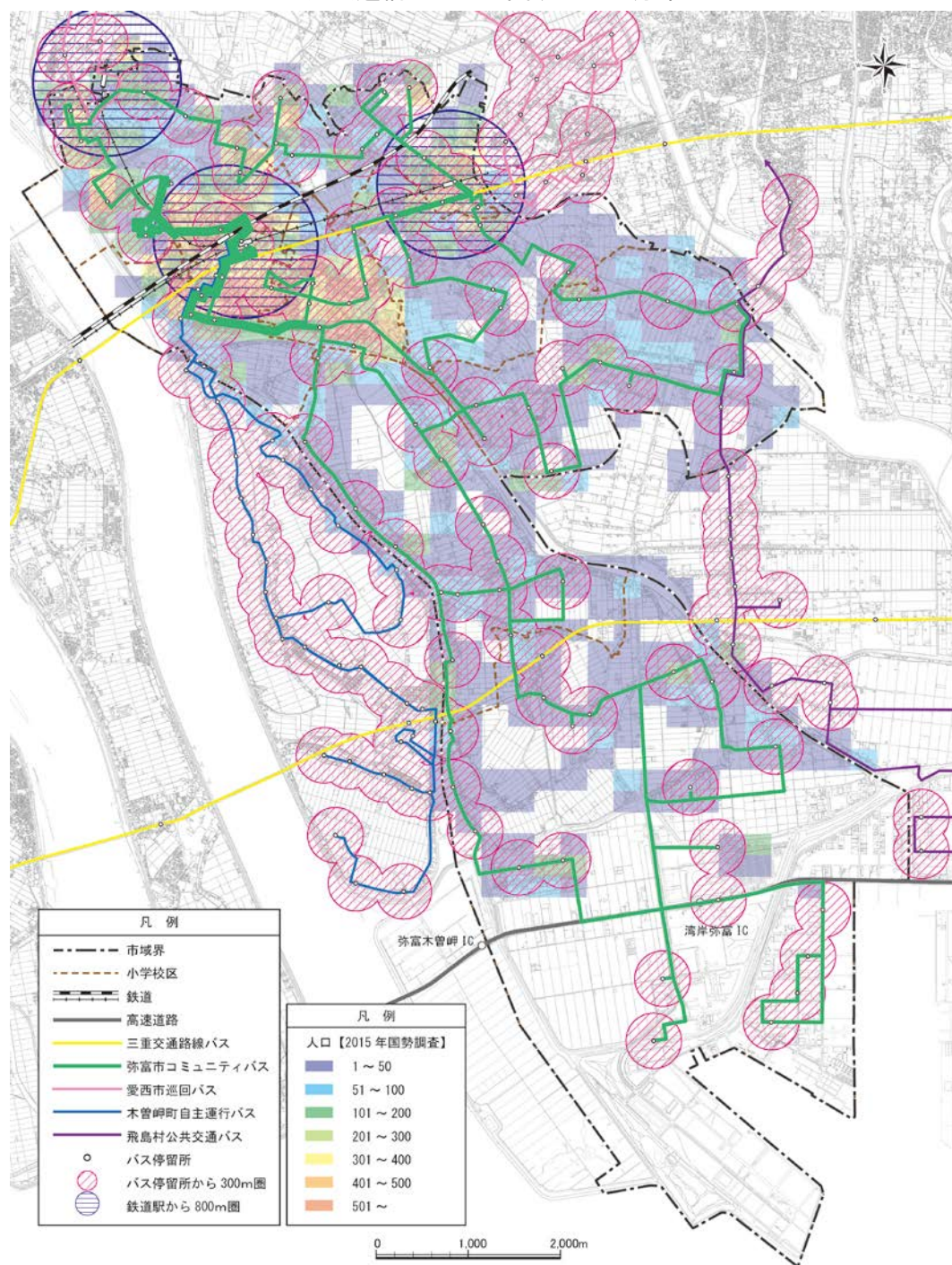
3-1-2 公共交通網と人口分布

- 人口カバー率は、総人口に対しては約 86%となっており、65 歳以上人口に対しては 74%となっている。
- 鉄道駅の付近や北部地域など人口が多い地域は概ねカバーされているが、東部地域や南部地域ではカバーされていないエリアが多く、65 歳以上の人口分布に対しても同様の傾向となっている。
- 行政境界付近では、隣接自治体が運行するコミュニティバスでカバーされているエリアもある。

公共交通網のカバー人口とカバー率

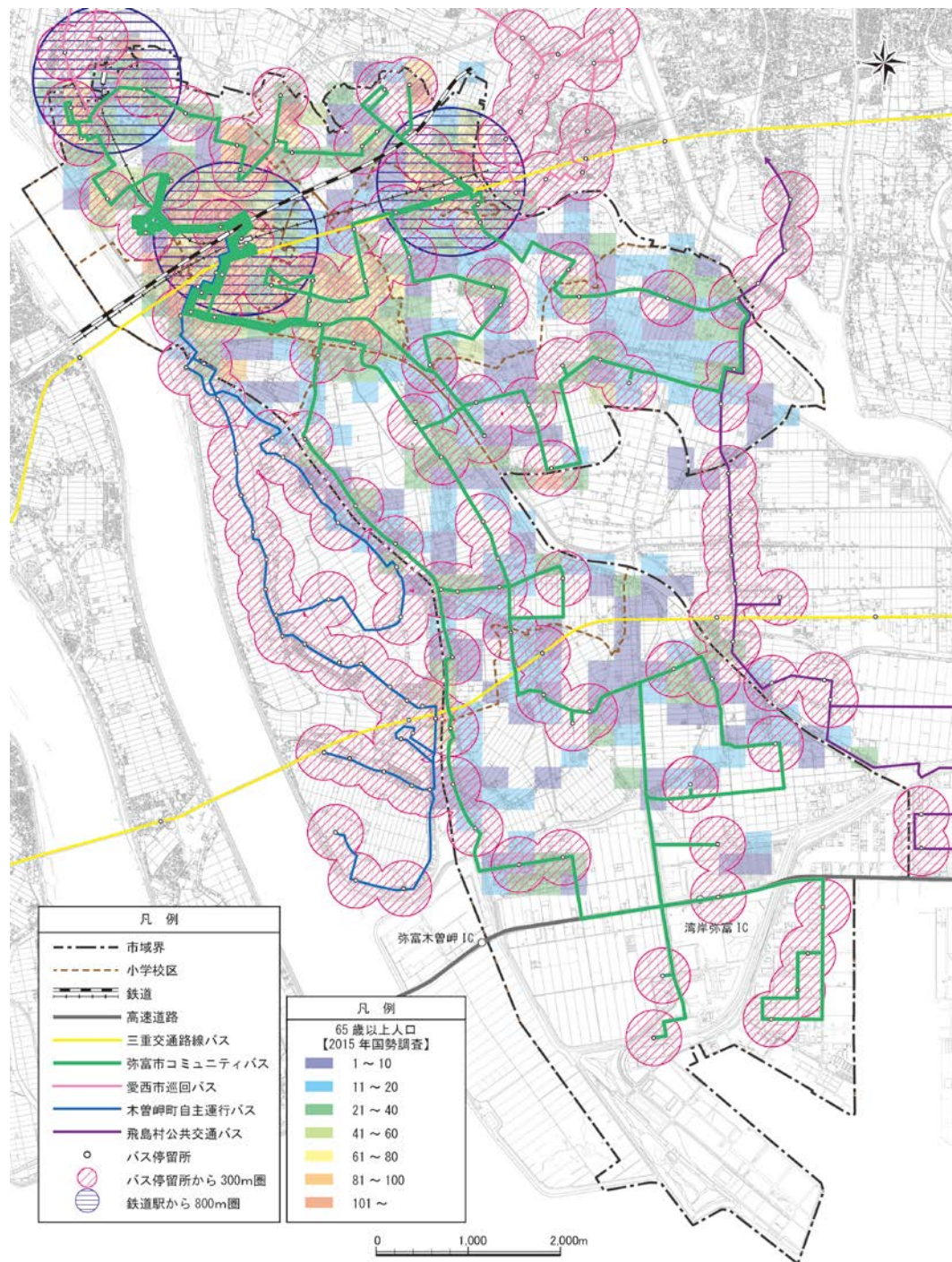
総人口	65歳以上人口	公共交通カバー人口		公共交通人口カバー率	
		総人口	65歳以上人口	総人口	65歳以上人口
43,269	10,839	37,000	8,000	86%	74%

公共交通網のカバー圏域と人口分布



※資料：平成27年国勢調査

公共交通網のカバー圏域と 65 歳以上人口分布



※資料：平成 27 年国勢調査

3-2 鉄道の状況

3-2-1 運行本数

- 鉄道の運行本数は、急行も停車する近鉄弥富駅が最も多くなっており、上下で約 250 本/日運行している。

鉄道の運行本数

路線	駅名	運行本数(本/日、[]本/ピーク時)				始発時刻	終発時刻
		平日		休日			
		上り	下り	上り	下り		
JR 関西本線	弥富	54 [6]	55 [5]	52 [4]	54 [5]	5:44	0:17
名鉄 尾西線	弥富	—	36 [3]	—	36 [3]	6:21	23:10
	五ノ三	37 [3]	36 [3]	37 [3]	36 [3]	6:04	23:18
近鉄 名古屋線	近鉄弥富	128 [13]	127 [9]	119 [9]	120 [8]	5:25	0:05
	佐古木	69 [5]	68 [5]	68 [5]	65 [5]	5:22	0:07

※資料：各鉄道事業者 HP

3-2-2 利用者数

- 駅別の利用者数は、近鉄弥富駅が 1 万人/日以上と多くなっている。
- 平成 27 年と平成 30 年とを比較すると、JR と名鉄の弥富駅を除き、減少傾向となっている。

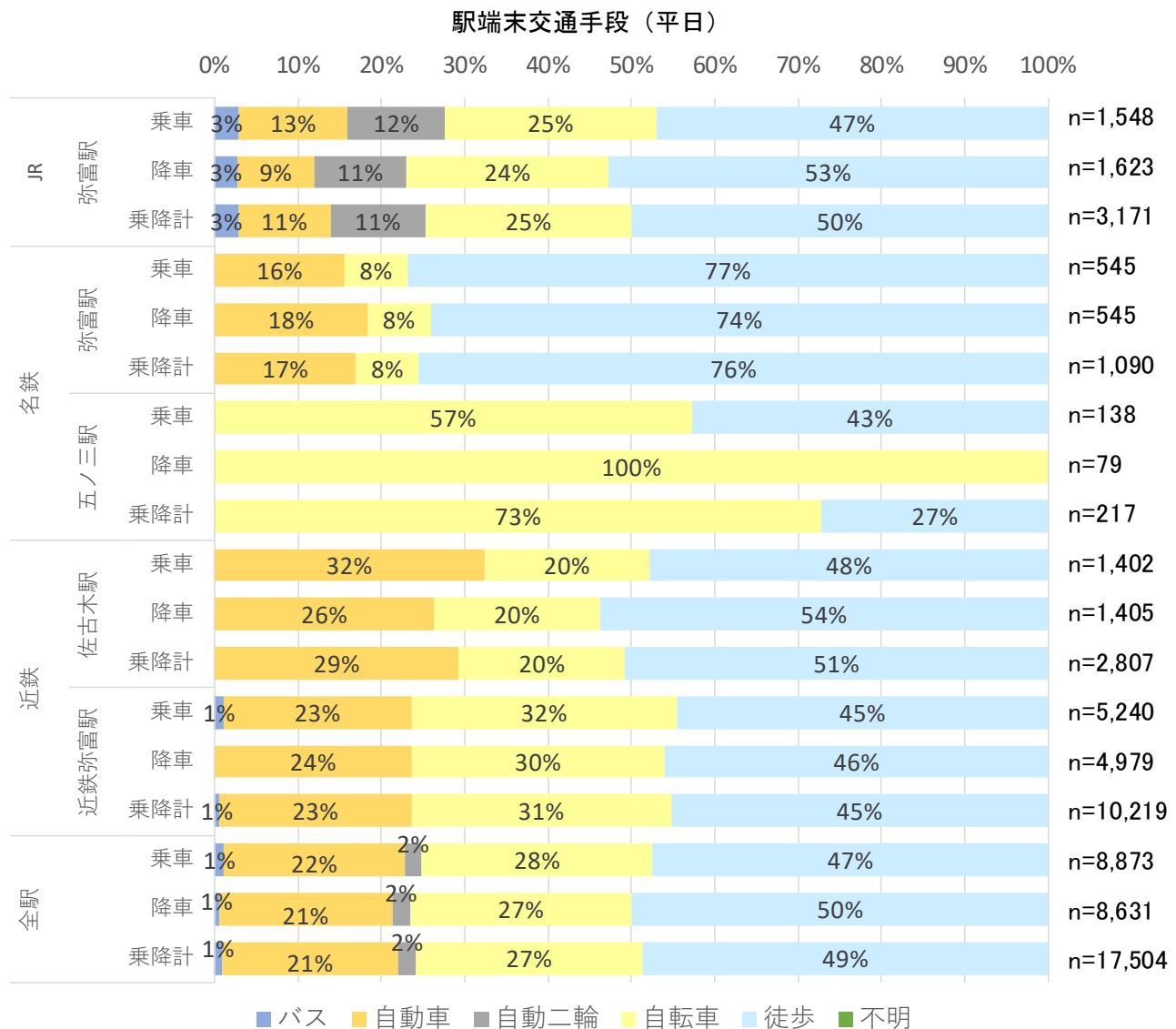
駅別 1 日平均利用者数の推移 (人/日)

路線	駅名	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	H27⇒H30増減
JR関西本線	弥富	2,712	2,796	2,942	2,886	+174
名鉄 尾西線	弥富	4,000	4,000	4,000	4,000	+0
	五ノ三	—	—	—	—	—
近鉄 名古屋線	近鉄弥富	11,762	—	—	11,423	-339
	佐古木	2,758	—	—	2,666	-92

※資料：市提供資料

3-2-3 駅端末交通手段

- バスの利用は JR 弥富駅や近鉄弥富駅でわずかに見られる。
- 五ノ三駅は自転車での利用が多いが、その他の駅では徒歩での利用が多くなっている。



※資料：第 5 回中京都市圏パーソントリップ調査（平成 23 年）

3-3 路線バスの状況

- 路線バスは三重交通により名古屋桑名線と名四長島線の、比較的長距離を運行する 2 路線があるが、運行本数が非常に少なく、桑名方面への運行のみとなっている。

路線バスの運行状況					
路線名	系統番号	運行本数(便/日)		停留所数	備考
		平日	土日祝日		
名古屋桑名線	50	1	1	4	桑名方面のみ
名四長島線	61・63	2	2	1	桑名方面のみ

※資料：三重交通 HP

3-4 きんちゃんバスの状況

3-4-1 きんちゃんバス運行の概要

(1)これまでの運行の経緯

- きんちゃんバスは、平成 22 年 6 月に無料で運行していた巡回福祉バスを廃止するとともに、実証運行を開始し、平成 24 年 4 月から「きんちゃんバス」として本格運行を開始した。

これまでの運行の経緯

H21.7	「弥富市地域公共交通活性化協議会」発足
H22.3	「弥富市地域公共交通総合連携計画」策定
H22.6.21	無料巡回福祉バス廃止、「 弥富市コミュニティバス 」実証運行開始 →3 系統で運行（北部・南部・東部ルート） →毎日運行 →ダイヤ変更、停留所の見直し →有料化（75 歳以上は無料）
H23.4.1	運行ルート・ダイヤ変更 →年末年始運休 →バス停の新設 →夜の時間帯の利用の少ない便の削減 →全ルート総合福祉センター及びイオンタウンへ乗り入れ →定期券、シルバーバスの販売開始 →協賛金事業開始 →愛称を「きんちゃんバス」に決定（公募）
H24.4.1	実証運行終了、 本格運行開始 運行ルート・ダイヤ変更 →年末年始、日曜日、祝日運休 →バス停の新設 →朝・夕の時間帯の利用の少ない便の削減 →サイクル&バスライド駐輪場運用開始
H25.10.1	運行ダイヤ変更 →北部ルートの朝・夕の時間帯の利用の少ない便の削減 →飛島公共交通バス蟹江線にあわせた、東部ルートのダイヤ変更 →サイクル&バスライド駐輪場の増設
H28.3	「弥富市地域公共交通網形成計画」策定
H28.12.1	運行ルート・ダイヤ変更 →既存のバス停を海南病院内に移設し、全ルート海南病院へ乗り入れ →「くわしん弥富支店」バス停に、南部ルート・東部ルートも停車 →北部ルートに「蟹江警察署」バス停を新設（旧農業技術センター）
H31.4.1	バス停新設・ダイヤ変更 →北部ルートに「白鳥保育所」、北部ルートの右回りと東部ルートの左回りに「佐古木」バス停を新設

(2)現在のきんちゃんバスの概要

- きんちゃんバスは、コミュニティバスとしての実証運行が開始して以降毎年改善を繰り返しており、現在は下記のような内容で運行している。
- 運行に使用しているマイクロバスは老朽化が進んでおり、バリアフリーへも未対応となっている。

現在のきんちゃんバスの概要

運行路線	● 北部ルート…平日 11 便、土曜日 11 便(右回り・左回り) ● 南部ルート…平日 15 便、土曜日 10 便(右回り・左回り) ● 東部ルート…平日 5 便、土曜日 4 便(右回り・左回り)		
運行日	年末年始(12 月 29 日～1 月 3 日)、日曜日、祝日は運休 平日ダイヤ、土曜日ダイヤで運行		
バス車両	● 中型ノンステップバス 2 台 ● マイクロバス 3 台		
運賃	大人 200 円 小学生から高校生 100 円 障がい者(手帳所持者)・同伴の介護者 100 円 75 歳以上・未就学児 無料 回数券(大人) 2,000 円(12 枚) 回数券(高校生以下・障がい者) 1,000 円(12 枚)		
定期券	●定期乗車券 (大人)	1 ヶ月	6,000 円
		3 ヶ月	17,100 円
		6 ヶ月	32,400 円
	(高校生以下・障がい者)	1 ヶ月	3,000 円
		3 ヶ月	8,600 円
		6 ヶ月	16,200 円
	●シルバーバス (65 歳以上)	1 ヶ月	3,000 円
		3 ヶ月	8,600 円
		6 ヶ月	16,200 円

3-4-2 利用者数

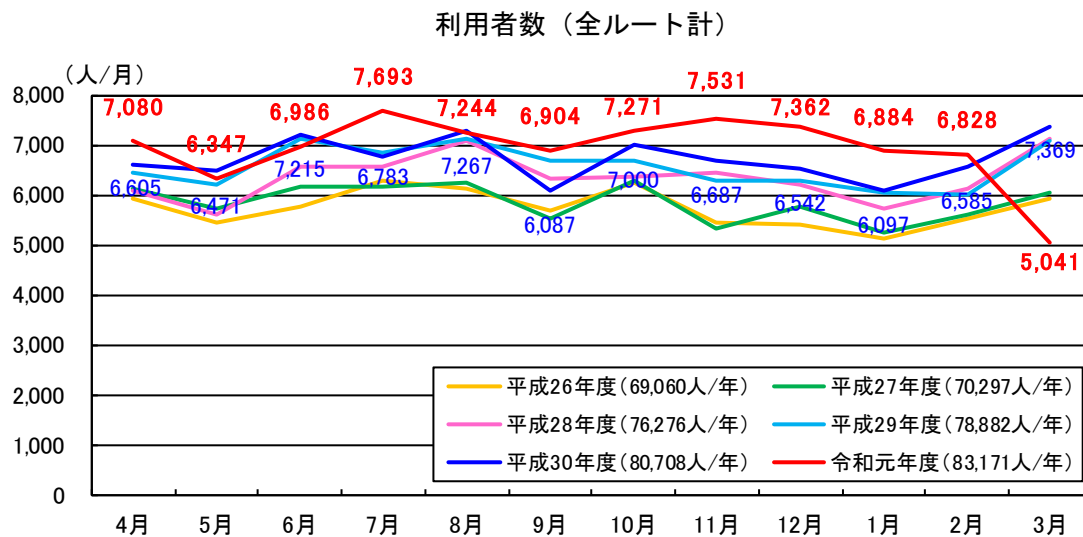
※集計期間：平成26年4月～令和2年3月

※令和2年3月はコロナによる影響により減少

(1) 利用者数の推移

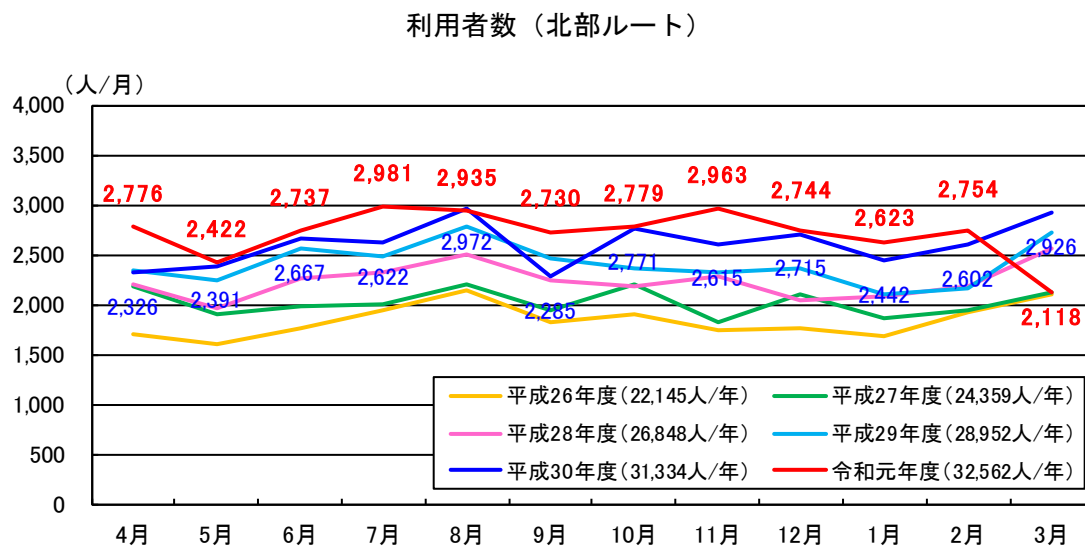
① 全ルート

- 全ルート計の利用者数は増加傾向を維持しており、平成30年度には8万人を超えている。



② 北部ルート

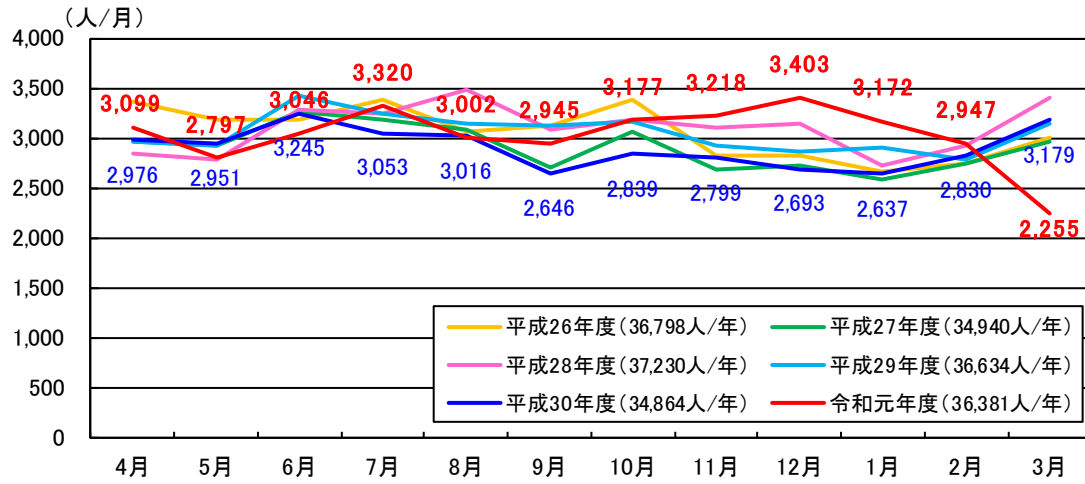
- 北部ルートの利用者数は増加傾向を維持しており、平成30年度には3万人を超えている。



③南部ルート

- 南部ルートの利用者数は平成 28 年度をピークに減少傾向となっている。

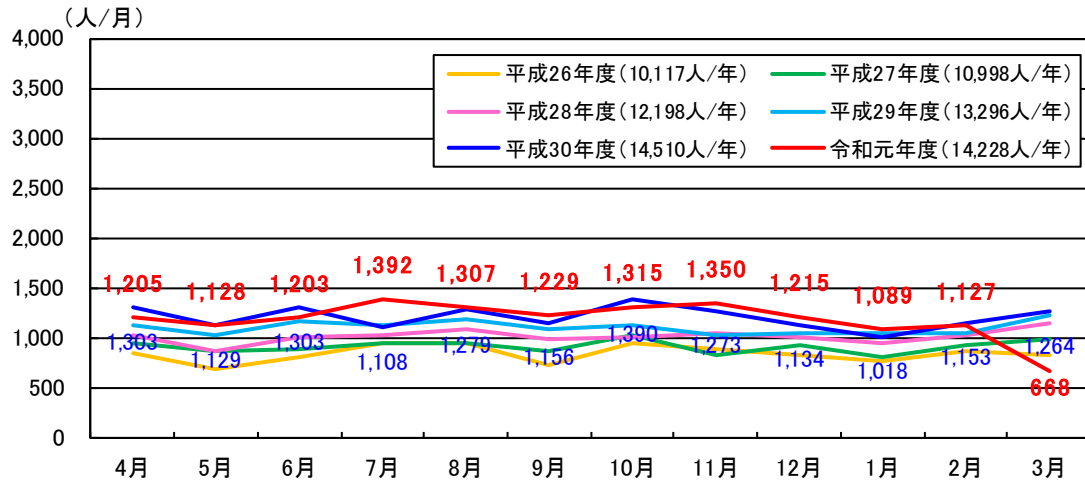
利用者数（南部ルート）



④東部ルート

- 最も運行便数の少ない東部ルートの利用者数は増加傾向を維持しており、平成 30 年度には 1.4 万人を超えている。

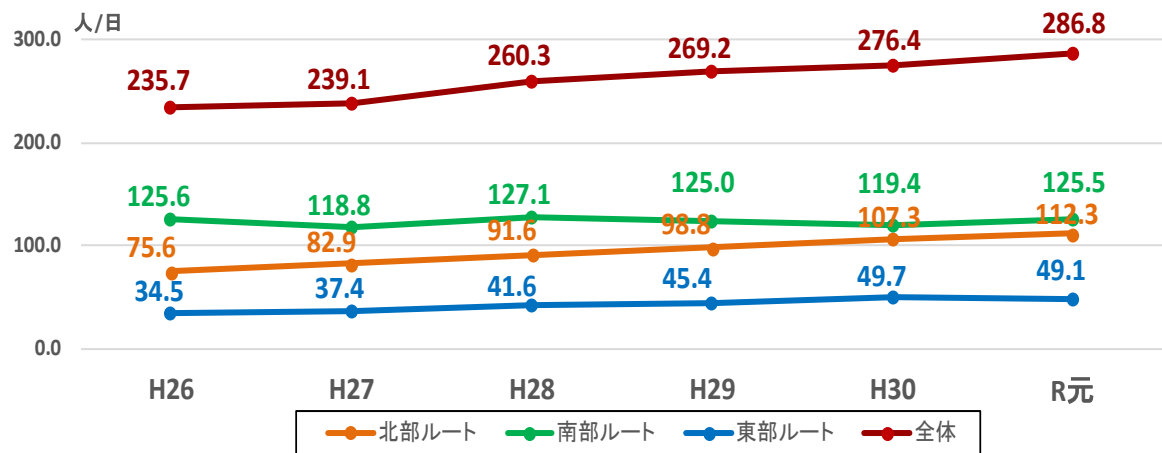
利用者数（東部ルート）



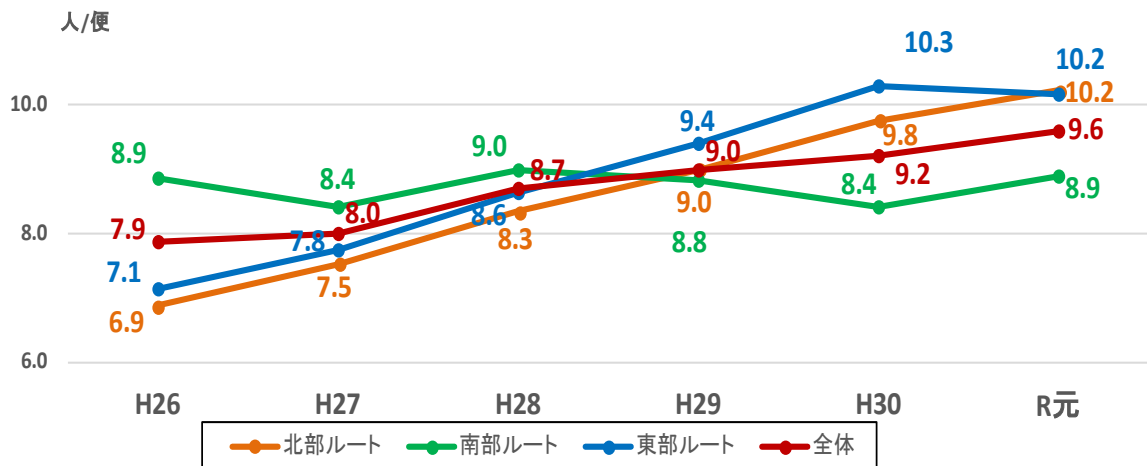
(2) 1 日平均利用者数、1 便当たり利用者数の推移

- 1 日平均乗車人員は、全ルート増加傾向となっている。
- 1 便当たり平均乗車人員は、北部ルート、東部ルートで増加傾向となっており、南部ルートで伸び悩んでいる。
- 東部ルートは平成 30 年度に、北部ルートは令和元年度に 10 人/便を超えている。

ルート別 1 日平均乗車人員の推移（人/日）



ルート別 1 便当たり平均乗車人員（人/便）



(3)バス停別乗車人員

①市内全バス停の乗車人員の推移

- ・市内には 87 箇所のバス停がある。
- ・バス停毎の乗車人員の推移を見ると、各年同様の傾向となっており、「イオンタウン」「海南病院」「近鉄弥富駅南口」「総合福祉センター」「弥富市役所」などで多くなっている。
- ・年間乗車人員が 100 人に満たないバス停も複数ある。

バス停別乗車人員の推移（市内全バス停：人/年）（1/2）

	乗車バス停名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	備考
1	JA支援センター	11	36	34	22	51	28	
2	イオンタウン	6,424	6,991	7,344	7,643	8,549	9,449	
3	いこいの里	2,642	2,323	2,329	2,468	1,912	1,913	
4	エアロ	443	485	154	90	74	55	平日のみ
5	エフケーエル	15	0	10	5	1	5	平日のみ
6	かおるヶ丘団地	559	651	508	525	509	516	
7	くわしん弥富支店	838	1,098	1,417	3,023	2,748	2,078	H28.12全便停車
8	スギ薬局	518	441	532	601	505	484	
9	すずきこどもクリニック	214	397	348	290	359	459	
10	そぶえ整形外科	748	574	470	453	792	767	
11	トレーニングセンター	1,276	986	900	648	679	849	
12	ピアゴ十四山店	479	474	374	495	583	506	
13	ひので橋	720	854	781	1,095	1,151	1,239	
14	ひので保育所	462	437	646	639	562	569	
15	ボブラ台団地	680	497	642	729	1,068	1,526	
16	稲荷崎	580	270	134	116	101	61	
17	稲元	649	598	441	303	280	364	
18	栄団地	83	81	80	102	72	168	
19	栄南小学校	343	431	515	386	684	649	
20	荷之上公民館	38	23	34	39	19	32	
21	海南こどもの国	151	201	273	241	209	152	
22	海南こどもの国北	77	56	78	87	54	66	
23	海南病院	2,109	2,655	3,145	4,344	5,100	4,877	H28.12全便乗り入れ
24	蟹江警察署(前ヶ平)	-	-	10	101	126	99	H28.12新設
25	楽荘団地	1,434	1,268	1,503	1,497	1,729	1,972	
26	寛延	185	344	318	222	122	223	
27	間崎公園	948	713	604	511	406	423	
28	亀ヶ地	518	309	319	345	344	348	
29	喫茶ゴールド	1,385	1,542	1,602	1,765	1,557	1,399	
30	境	204	79	140	74	75	41	
31	近鉄弥富駅南口	8,780	8,153	10,845	10,241	10,355	11,478	
32	近鉄弥富駅北口	8	-	-	-	-	-	降車のみ
33	狐地公民館	598	774	704	471	409	462	
34	五斗山	38	9	12	14	29	14	
35	五反波公園	165	232	304	331	404	394	
36	佐古木	-	-	-	-	-	656	H31.4新設
37	佐古木駅	2,482	2,773	3,390	3,657	4,106	4,148	
38	坂中地	31	11	135	251	310	225	
39	鯨ヶ地	838	961	1,160	1,106	1,074	906	
40	三好	602	607	732	968	907	961	
41	芝井	302	341	455	610	455	321	
42	芝井南	148	216	408	393	328	324	
43	十四山支所	66	229	223	292	301	322	
44	十四山総合福祉センター	2,187	2,426	2,525	2,664	2,964	2,626	
45	十四山中学校	132	164	129	113	134	122	
46	十四山東部小学校	80	95	138	216	244	210	
47	小笠原クリニック	708	516	749	1,021	939	961	H24.1新設
48	小林医院	218	224	329	229	321	606	
49	松名	214	111	71	149	151	132	
50	新田川平公民館	307	662	689	433	833	926	
備考				H28.12ダイヤ改正			H31.4ダイヤ改正	

上位10バス停
下位10バス停
100人未満バス停

バス停別乗車人員の推移（市内全バス停：人/年）（2/2）

	乗車バス停名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	備考
51	森津の藤	101	159	141	103	74	155	
52	杉本クリニック	1,635	2,233	2,727	2,239	1,464	1,787	
53	西中地公民館	24	35	66	143	146	116	
54	西部保育所	126	137	120	137	142	147	
55	西末広	614	454	198	171	152	230	
56	川崎重工	95	73	268	437	496	1,061	平日のみ
57	前ヶ須	1,004	1,240	830	448	428	435	
58	善太橋西	90	78	62	159	134	125	
59	操出	294	247	209	218	168	260	
60	総合福祉センター	5,909	6,462	6,122	6,574	6,959	6,167	
61	村瀬医院	1,050	1,036	861	1,016	904	669	
62	大谷集会場	156	89	150	83	37	89	
63	大日本木材防腐	20	35	87	40	32	28	平日のみ
64	竹田	166	131	107	95	151	175	
65	中原神社	225	361	446	505	614	460	
66	中川団地	1,233	1,371	1,279	1,154	992	1,179	
67	潮見台霊園	16	10	25	15	16	6	お盆、春分・秋分の日
68	東末広	578	520	789	793	307	131	
69	鍋田	401	322	348	236	425	257	
70	鍋田公民館	1,079	851	919	704	780	692	
71	鍋田支所	869	619	516	541	754	919	
72	南前新田交差点	93	84	200	346	358	307	
73	南部コミュニティセンター	366	389	393	314	205	379	
74	農村多目的センター	109	121	211	481	439	409	
75	馬ヶ地	66	66	329	342	188	194	
76	白鳥コミュニティセンター	263	412	465	415	390	352	
77	白鳥保育所	-	-	-	-	-	108	H31.4新設
78	富島神社	380	357	201	216	213	185	
79	平島中タウンパーク	254	295	356	384	354	139	
80	又八	300	315	365	422	476	397	
81	野村胃腸科	156	152	195	130	238	209	
82	弥富市役所	7,691	7,223	7,496	6,813	6,759	6,810	
83	弥富中学校	243	139	186	282	303	266	
84	弥富野鳥園	112	92	82	53	78	60	
85	竜頭公園	377	471	184	184	139	202	
86	歴史民俗資料館	198	248	349	489	610	839	
87	桴場	130	152	311	182	98	116	
計		69,060	70,297	76,276	78,882	80,708	83,171	
備考				H28.12ダイ ヤ改正			H31.4ダイ ヤ改正	

上位10バス停
下位10バス停
100人未満バス停

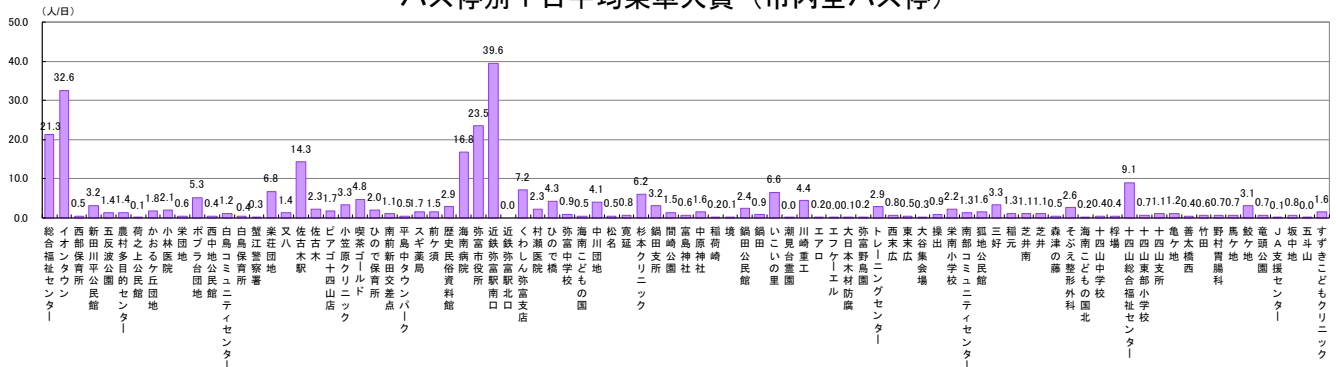
②1日平均乗車人員

※集計期間：令和元年度

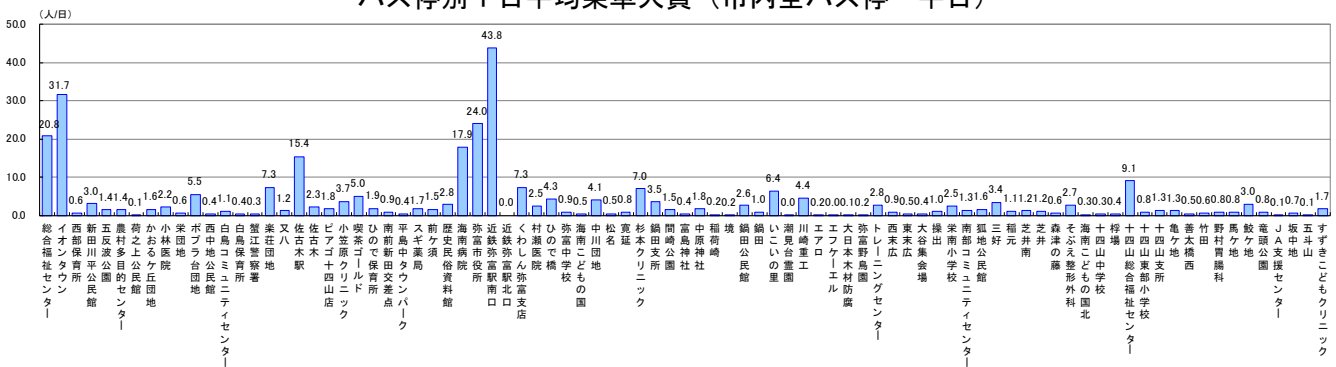
1)市内全バス停

- 市内全 87 箇所のバス停のうち、最も 1 日平均乗車人員が多いバス停は「近鉄弥富駅南口」であり、続いて「イオンタウン」「弥富市役所」「総合福祉センター」「海南病院」の順に多くなっている。
- 平日や土曜日別で見た場合でも、同様の傾向となっている。

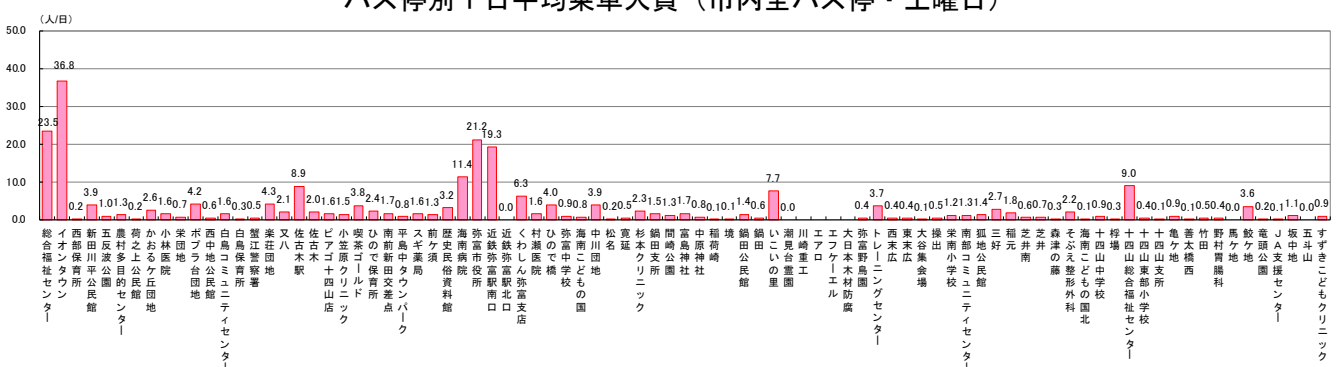
バス停別 1 日平均乗車人員（市内全バス停）



バス停別 1 日平均乗車人員（市内全バス停・平日）

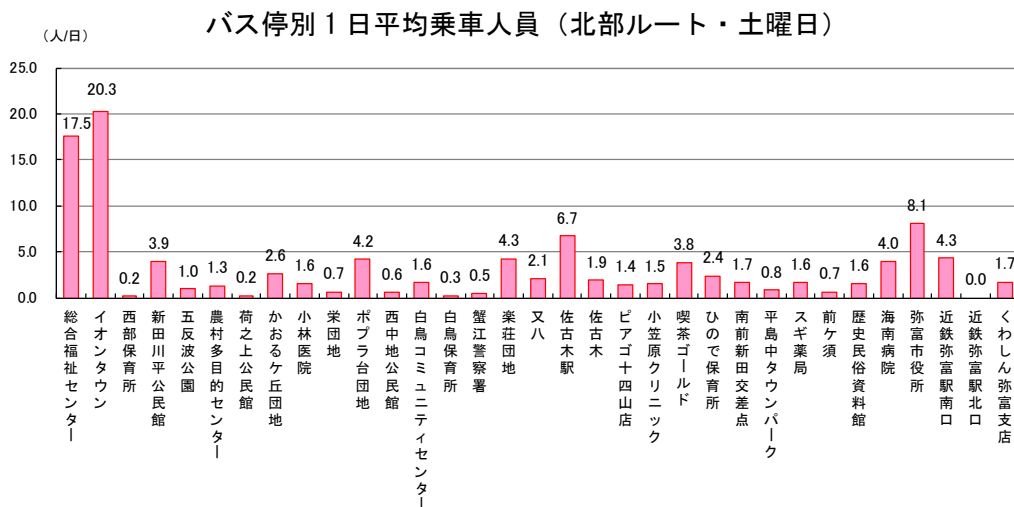
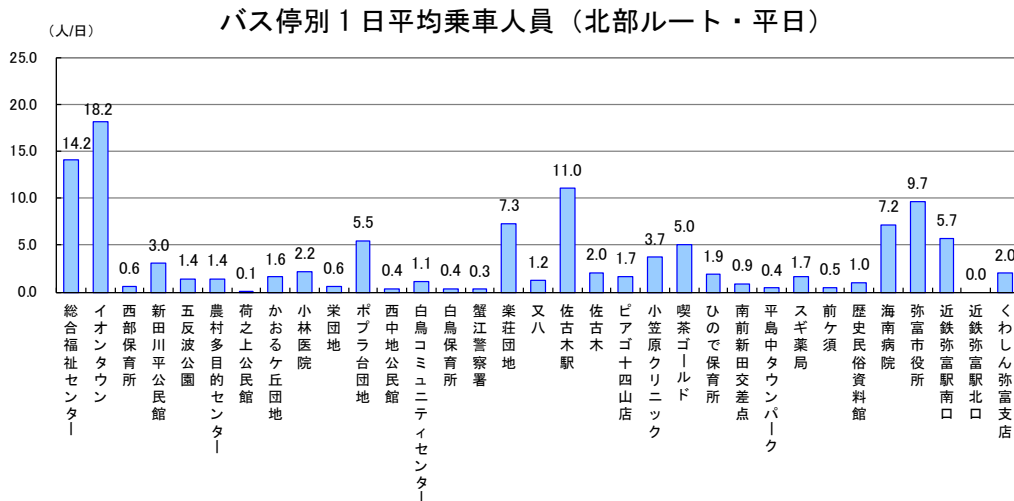
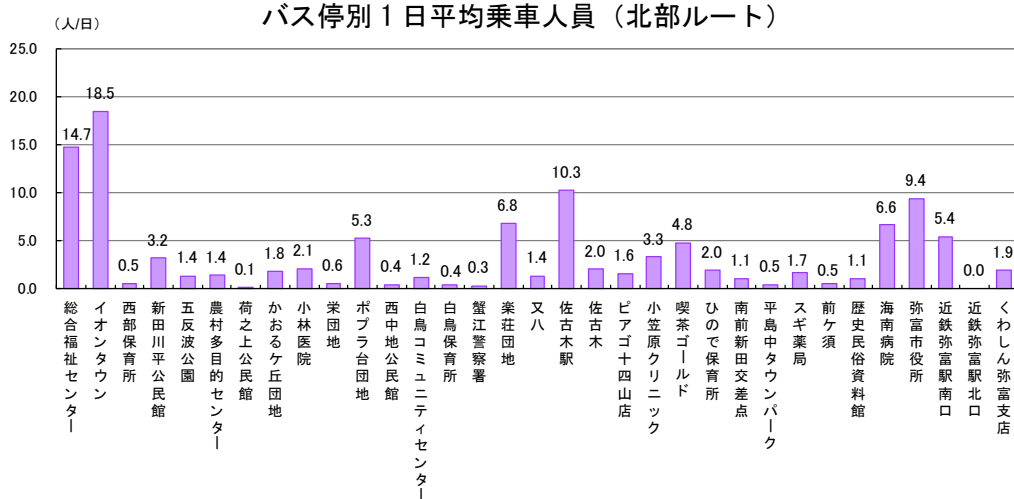


バス停別 1 日平均乗車人員（市内全バス停・土曜日）



2)北部ルート

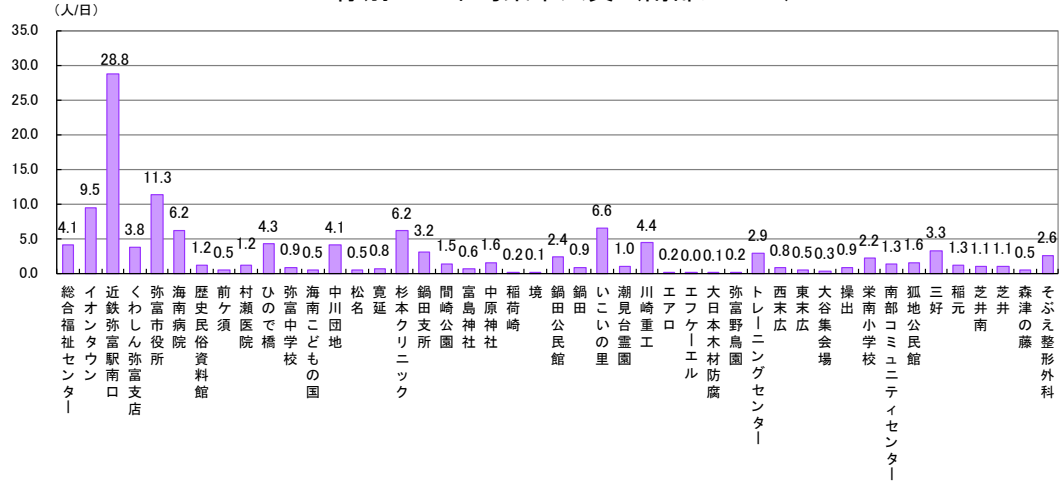
- 北部ルートのバス停のうち、最も1日平均乗車人員が多いバス停は「イオンタウン」であり、続いて「総合福祉センター」「佐古木駅」「弥富市役所」「楽荘団地」の順に多くなっている。



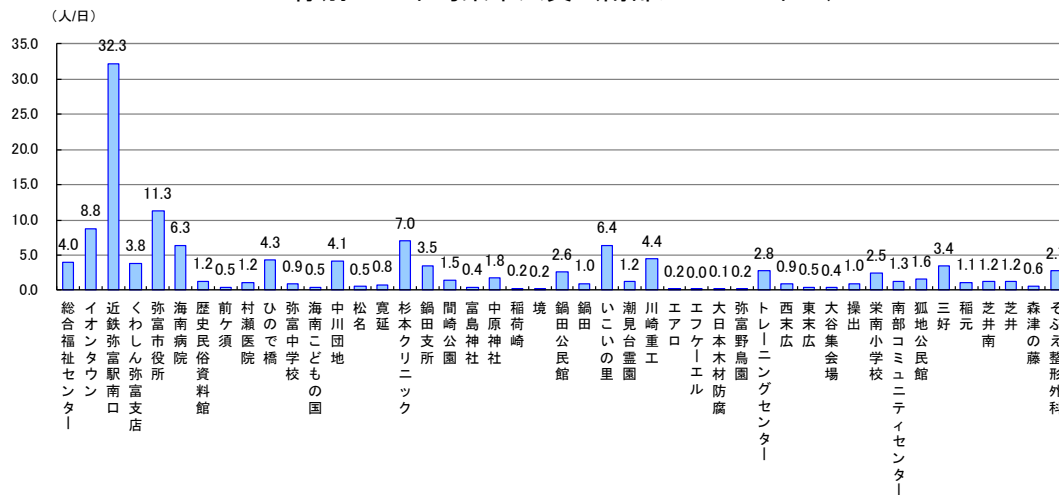
3)南部ルート

- 南部ルートのバス停のうち、最も 1 日平均乗車人員が多いバス停は「近鉄弥富駅南口」であり、続いて「弥富市役所」「イオンタウン」「いこいの里」「海南病院」及び「杉本クリニック」の順に多くなっている。

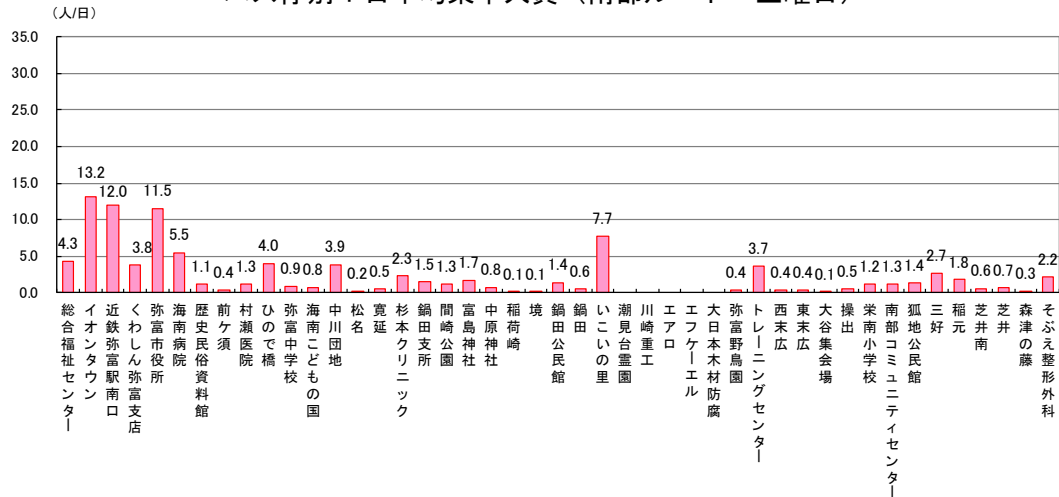
バス停別 1 日平均乗車人員（南部ルート）



バス停別 1 日平均乗車人員（南部ルート・平日）



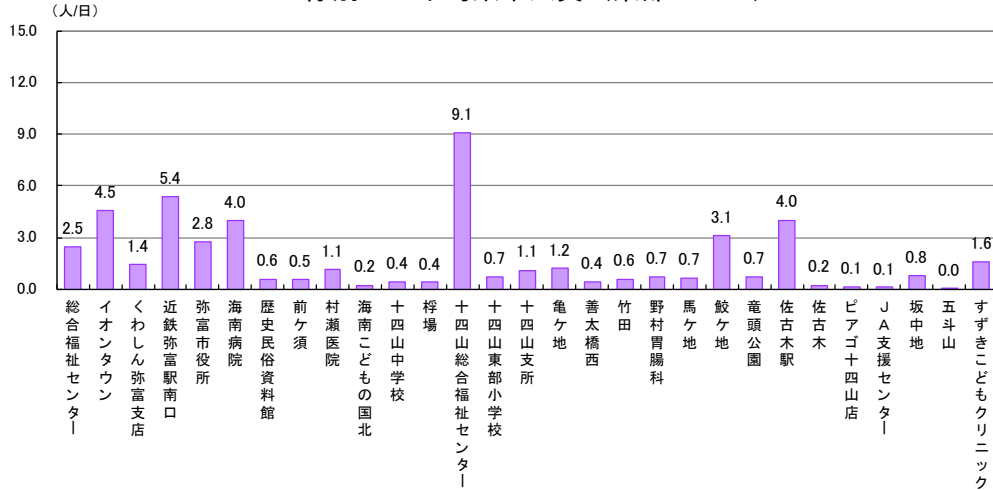
バス停別 1 日平均乗車人員（南部ルート・土曜日）



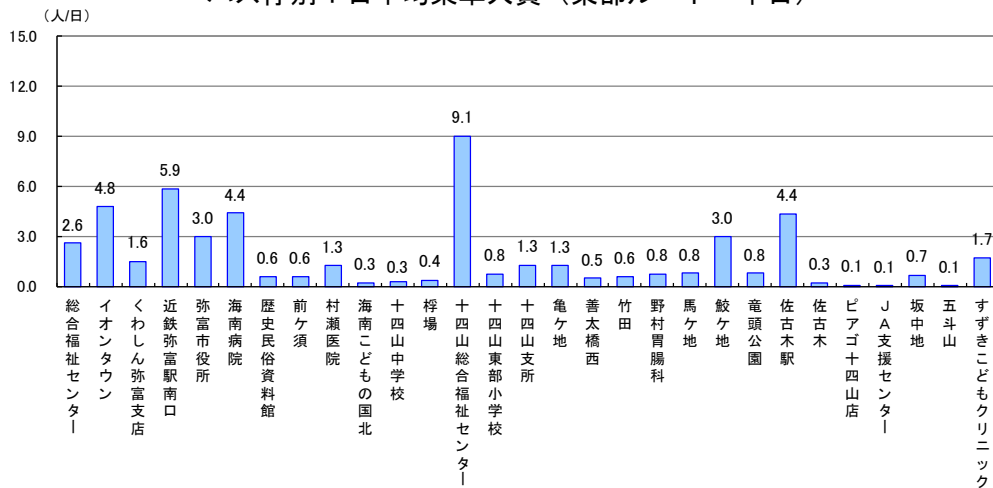
4)東部ルート

- 東部ルートのバス停のうち、最も1日平均乗車人員が多いバス停は「十四山総合福祉センター」であり、続いて「近鉄弥富駅南口」「イオンタウン」「海南病院」「佐古木駅」の順に多くなっている。

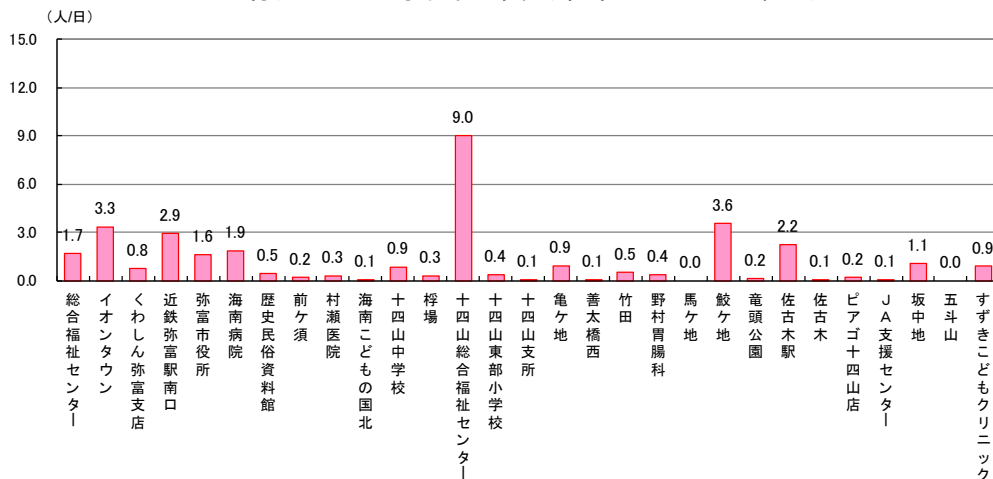
バス停別1日平均乗車人員（東部ルート）



バス停別1日平均乗車人員（東部ルート・平日）



バス停別1日平均乗車人員（東部ルート・土曜日）



(4)便別乗車人員の推移

①北部ルート

- 北部ルートの便別乗車人員は、経年的に同様の傾向が続いており、平日、土曜日共に午前中の9時と11時の便（1便、4便）の利用が多くなっている。
- 一方で、夕方の17時の便（11便）などの夕方の便の利用が少なくなっている。

便別1日平均乗車人員（人/日・北部ルート・平日）

出発時刻	便名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
9:00	北部1	16.8	17.1	18.5	19.7	21.1	21.7
9:30	北部2	6.2	7.2	7.5	7.7	9.6	11.2
10:30	北部3	7.0	7.5	8.7	9.5	9.8	10.3
11:00	北部4	11.7	11.5	12.3	11.7	15.8	15.4
12:00	北部5	6.1	6.3	7.2	10.3	11.3	12.2
12:30	北部6	7.3	7.7	8.1	9.0	9.0	9.2
13:30	北部7	4.4	5.0	5.2	5.7	5.4	6.3
14:00	北部8	6.7	8.1	9.8	11.3	11.2	11.7
15:00	北部9	2.5	3.0	3.6	4.3	5.2	4.6
15:30	北部10	3.9	5.0	6.4	6.5	7.2	7.6
17:00	北部11	3.2	4.1	4.7	4.1	4.2	3.7

便別1日平均乗車人員（人/日・北部ルート・土曜日）

出発時刻	便名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
9:00	北部1	13.8	16.1	17.0	16.6	18.6	18.0
9:30	北部2	7.6	8.0	7.0	6.9	8.1	11.4
10:30	北部3	7.6	7.5	9.2	7.4	8.4	9.3
11:00	北部4	10.9	13.7	13.8	14.3	15.1	14.7
12:00	北部5	6.3	6.7	6.9	8.4	7.9	11.5
12:30	北部6	8.2	7.5	8.4	9.0	9.1	9.5
13:30	北部7	5.0	5.2	5.8	6.1	6.1	6.8
14:00	北部8	5.6	7.0	7.2	7.8	8.1	9.3
15:00	北部9	2.9	4.1	4.8	4.7	4.9	5.9
15:30	北部10	3.5	5.2	5.8	5.3	5.8	5.8
17:00	北部11	2.8	3.3	4.6	3.7	3.0	2.9

②南部ルート

- 南部ルートの便別乗車人員は、経年的に同様の傾向が続いており、平日、土曜日共に午前中の9時以降の便（平日6～8便、土曜日3～5便）と午後の14時台の便（平日10便、土曜日7便）の利用が多くなっている。
- 一方で、平日の18時以降の便（平日13～15便）や、土曜日の17時以降の便（土曜日9～10便）など、夕方の便の利用が少なくなっている。

便別1日平均乗車人員（人/日・南部ルート・平日）

出発時刻	便名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
6:35	南部1	9.7	7.8	6.9	4.6	6.2	5.9
6:45	南部2	6.9	7.1	7.9	5.7	5.2	6.4
7:30	南部3	4.6	3.6	9.3	9.8	7.8	11.3
8:00	南部4	4.8	5.2	5.8	6.0	6.4	7.2
8:30	南部5	10.7	9.8	9.1	9.3	8.7	7.7
9:15	南部6	16.9	15.3	15.2	15.5	14.9	16.5
9:45	南部7	12.8	14.4	16.1	15.6	13.4	14.4
11:55	南部8	15.1	15.1	14.2	13.8	13.7	13.8
12:35	南部9	11.6	8.2	8.3	8.2	8.5	9.2
14:45	南部10	12.6	13.6	14.4	15.8	12.8	13.3
15:25	南部11	8.7	9.5	10.8	9.9	10.4	10.0
17:25	南部12	7.3	7.0	6.4	6.7	6.5	7.4
18:15	南部13	3.7	2.9	3.9	2.9	4.5	3.3
19:20	南部14	2.9	1.9	2.4	2.8	3.3	3.7
19:35	南部15	2.1	1.2	1.2	1.1	1.3	1.0

便別1日平均乗車人員（人/日・南部ルート・土曜日）

出発時刻	便名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
8:00	南部1	4.1	6.0	5.9	6.9	6.3	6.4
8:30	南部2	12.2	11.9	10.6	12.1	13.1	11.4
9:15	南部3	15.2	16.9	19.1	15.5	14.3	15.4
9:45	南部4	12.1	13.0	13.7	13.9	13.1	14.2
11:55	南部5	14.4	13.1	13.7	16.9	13.9	15.5
12:35	南部6	12.8	11.2	10.1	9.8	9.6	8.5
14:45	南部7	13.7	14.6	15.9	17.6	13.7	13.4
15:25	南部8	9.2	9.5	10.2	9.0	9.2	8.7
17:25	南部9	3.9	3.1	3.0	3.6	3.3	3.6
18:15	南部10	3.8	1.7	1.3	1.4	2.1	1.4

③東部ルート

- 東部ルートの便別乗車人員は、経年的に同様の傾向が続いており、平日、土曜日共に午前中の9時以降の便（平日2～3便、土曜日1～2便）の利用が多くなっている。

便別1日平均乗車人員（人/日・東部ルート・平日）

出発時刻	便名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
7:45	東部1	4.2	3.2	4.0	6.8	7.6	7.7
9:20	東部2	9.6	11.4	11.8	11.6	12.4	12.9
12:15	東部3	7.6	10.4	11.7	11.3	13.5	13.9
14:10	東部4	6.0	6.6	7.8	9.3	9.9	9.0
16:20	東部5	7.7	5.9	7.1	7.5	8.2	8.7

便別1日平均乗車人員（人/日・東部ルート・土曜日）

出発時刻	便名	平成 26年度	平成 27年度	平成 28年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度
9:20	東部1	8.6	11.5	11.3	10.5	11.3	9.9
11:10	東部2	8.7	11.6	10.3	10.2	10.7	10.1
13:10	東部3	7.9	8.5	9.3	8.5	9.7	7.6
16:20	東部4	6.6	5.6	7.8	8.4	7.8	6.6

3-4-3 バス乗降者数調査

(1)調査の概要

- 調査票はシールタイプとし、バス車内にて回答していただいた。
- バス乗車時に、調査票を配布し、降車時に回収箱に投函する方式で行った。
- 調査は令和元年9月30日(月)～10月5日(土)の1週間、全てのバス車内にて行った。

【北部ルート調査票】

みんちゃんバス 利用者乗降調査票				北部ルート	
●みんちゃんバス利便性向上を検討するためにご利用状況の調査をおこなっております。誠にお手数ですが、今回のご利用の内容について、 所定の枠内に、各項目にあてはまるシールを1枚ずつお貼り頂き、お降りの際に回収箱に入れてください。				調査日： 月 日 便	
バス停名 近鉄弥富駅北口 かわしん弥富支店 イオンタウン 総合福祉センター 西部保育所 新田川平公民館 五反田公園 農村多目的センター 荷之上公民館 かおるヶ丘団地 小林医院 栄園地 バブコ団地 西中地公民館 白鷺ミナモトセンター 白鷺保育所 蟹江警察署 美荘団地 又ハ 佐古木駅 佐古木 ビアゴ+四山店 小笠原列の 喫茶ゴールド ひので保育所 南前新田交差点 平島中野の すぎ薬局 前ヶ須 歴史民俗資料館 海南病院 弥富市役所 近鉄弥富駅南口				1. 各項目にあてはまるシールを1枚ずつお貼り下さい。 ◆乗車/バス停名 ◆降車/バス停名 枠内にお貼り下さい 枠内にお貼り下さい ◆年齢層 ◆利用目的 枠内にお貼り下さい 枠内にお貼り下さい 2. 乗り換えがある方のみ、あてはまるシールをお貼り下さい。 ◆乗り換え ① 枠内にお貼り下さい から乗り換えた ② 枠内にお貼り下さい へ乗り換える	
年齢層 小学生未満 小・中学生 高校生 64歳以下 65～74歳 75歳以上					
利用目的 〔行先〕買い物 〔行先〕通勤・仕事 〔行先〕通学・習い事 〔行先〕通院 〔行先〕公営施設利用 〔行先〕その他 〔乗り〕買い物 〔乗り〕通勤・仕事 〔乗り〕通学・習い事 〔乗り〕通院 〔乗り〕公営施設利用 〔乗り〕その他					
乗り換え 南部ルート 東部ルート 鉄道 木曽駅直結バス 飛鳥バス				ご協力ありがとうございました。	

【南部ルート調査票】

みんちゃんバス 利用者乗降調査票				南部ルート	
●みんちゃんバス利便性向上を検討するためにご利用状況の調査をおこなっております。誠にお手数ですが、今回のご利用の内容について、 所定の枠内に、各項目にあてはまるシールを1枚ずつお貼り頂き、お降りの際に回収箱に入れてください。				調査日： 月 日 便	
バス停名 総合福祉センター イオンタウン かわしん弥富支店 近鉄弥富駅南口 弥富市役所 海南病院 歴史民俗資料館 前ヶ須 村瀬医院 そふえ整形外科 森津の 芝井 堀元 三好 鍋田支所 杉本クリニック 栄南小学校 堀出 大谷薬会堂 東末広 西末広 トーングセンター 川崎重工 エアロ エフケーエル 大日本木材防霉 弥富野鳥園 いこいの里 瀬見台公園 鍋田 鍋田公民館 堀 堀井崎 中瀬神社 富島神社 寶延 松名 中川園地 海南こどもの国 弥富中学校 ひので橋				1. 各項目にあてはまるシールを1枚ずつお貼り下さい。 ◆乗車/バス停名 ◆降車/バス停名 枠内にお貼り下さい 枠内にお貼り下さい ◆年齢層 ◆利用目的 枠内にお貼り下さい 枠内にお貼り下さい 2. 乗り換えがある方のみ、あてはまるシールをお貼り下さい。 ◆乗り換え ① 枠内にお貼り下さい から乗り換えた ② 枠内にお貼り下さい へ乗り換える	
年齢層 小学生未満 小・中学生 高校生 64歳以下 65～74歳 75歳以上					
利用目的 〔行先〕買い物 〔行先〕通勤・仕事 〔行先〕通学・習い事 〔行先〕通院 〔行先〕公営施設利用 〔行先〕その他 〔乗り〕買い物 〔乗り〕通勤・仕事 〔乗り〕通学・習い事 〔乗り〕通院 〔乗り〕公営施設利用 〔乗り〕その他					
乗り換え 北部ルート 東部ルート 鉄道 木曽駅直結バス 飛鳥バス				ご協力ありがとうございました。	

【東部ルート調査票】

みんちゃんバス 利用者乗降調査票				東部ルート	
●みんちゃんバス利便性向上を検討するためにご利用状況の調査をおこなっております。誠にお手数ですが、今回のご利用の内容について、 所定の枠内に、各項目にあてはまるシールを1枚ずつお貼り頂き、お降りの際に回収箱に入れてください。				調査日： 月 日 便	
バス停名 総合福祉センター イオンタウン かわしん弥富支店 近鉄弥富駅南口 弥富市役所 海南病院 歴史民俗資料館 前ヶ須 村瀬医院 海南こどもの国北 十四山中学校 堀出 十四山総合福祉センター 十四山東部小学校 十四山支所 堀ケ地 善太橋西 竹田 野村胃腸科 馬ヶ地 駈ヶ地 電領公園 佐古木駅 佐古木 ビアゴ+四山店 J.A支援センター 坂中地 五斗山 すずきこどもの国				1. 各項目にあてはまるシールを1枚ずつお貼り下さい。 ◆乗車/バス停名 ◆降車/バス停名 枠内にお貼り下さい 枠内にお貼り下さい ◆年齢層 ◆利用目的 枠内にお貼り下さい 枠内にお貼り下さい 2. 乗り換えがある方のみ、あてはまるシールをお貼り下さい。 ◆乗り換え ① 枠内にお貼り下さい から乗り換えた ② 枠内にお貼り下さい へ乗り換える	
年齢層 小学生未満 小・中学生 高校生 64歳以下 65～74歳 75歳以上					
利用目的 〔行先〕買い物 〔行先〕通勤・仕事 〔行先〕通学・習い事 〔行先〕通院 〔行先〕公営施設利用 〔行先〕その他 〔乗り〕買い物 〔乗り〕通勤・仕事 〔乗り〕通学・習い事 〔乗り〕通院 〔乗り〕公営施設利用 〔乗り〕その他					
乗り換え 南部ルート 北部ルート 鉄道 木曽駅直結バス 飛鳥バス				ご協力ありがとうございました。	

(2)回収結果

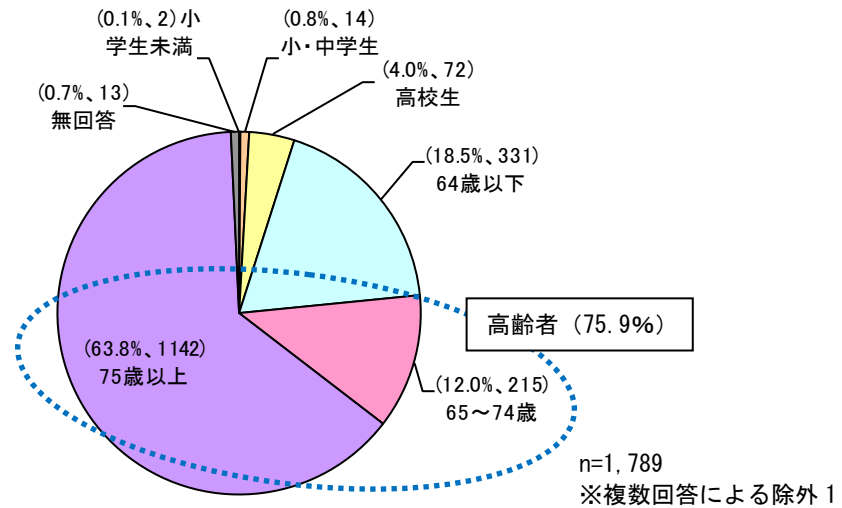
- 調査期間中の乗車実績に対する、調査票の回収数は下表の通りであり、ほぼ全数の乗降を把握できている。

バス停乗降者数調査回収結果

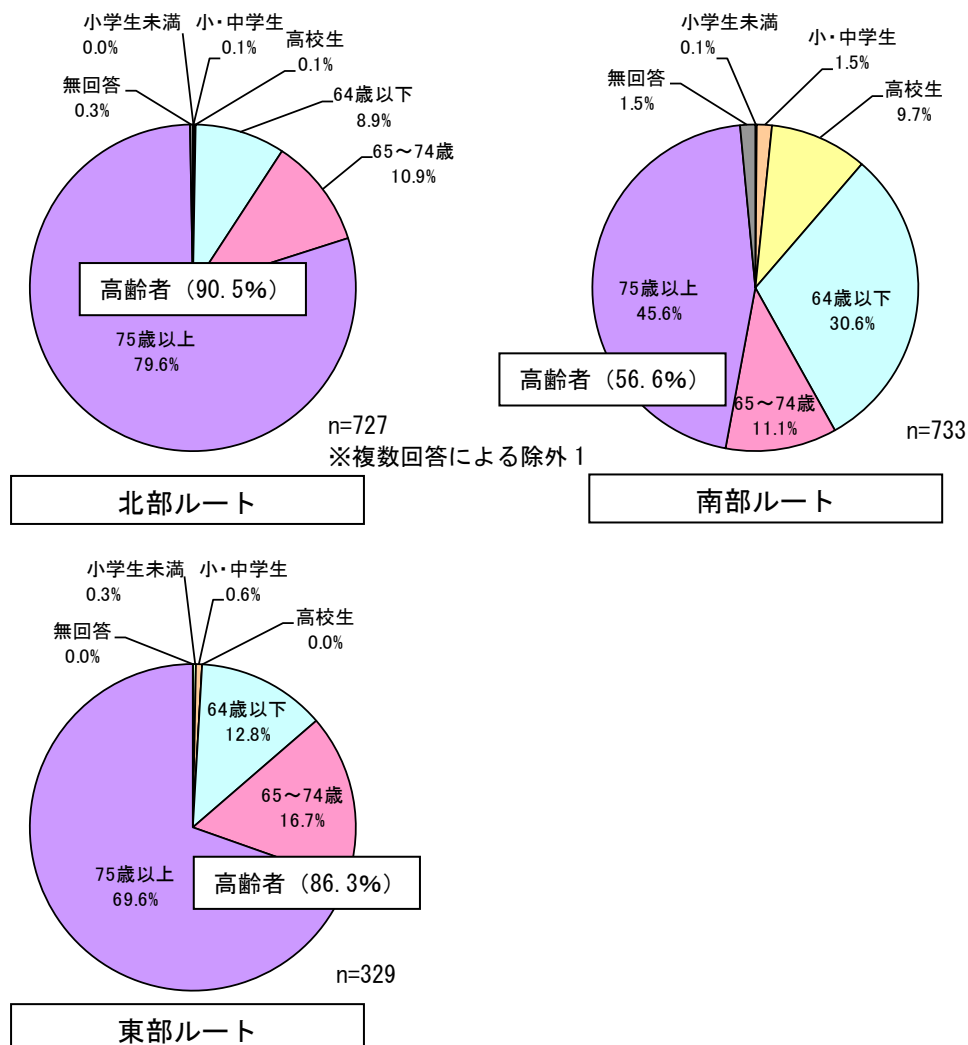
	乗車実績 (人)	回収枚数	回収率
北部ルート	728	728	100.0%
南部ルート	779	733	94.1%
東部ルート	329	329	100.0%
計	1,836	1,790	97.5%

(3)利用者属性

- 利用者の約 6 割は 75 歳以上となっており、65 歳以上の高齢者は約 8 割となっている。
- ルート別にみると、北部ルート及び東部ルートで 65 歳以上の高齢者が約 9 割と多くとなっており、南部ルートは約 6 割と他ルートと比較すると少なくなっている。
- 高校生以下の利用はほとんどが南部ルートとなっている。

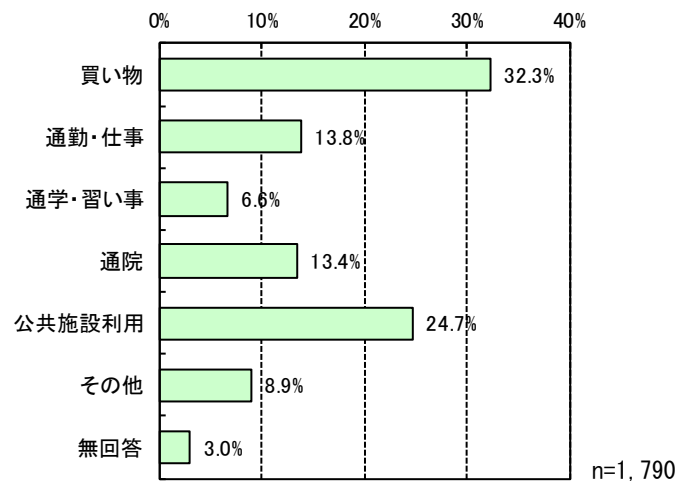


◆ルート別集計

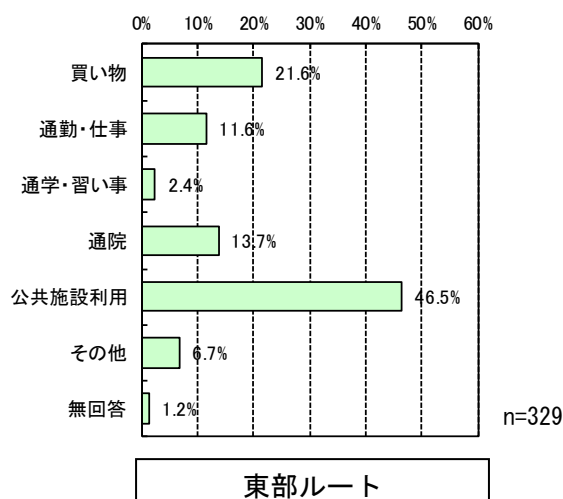
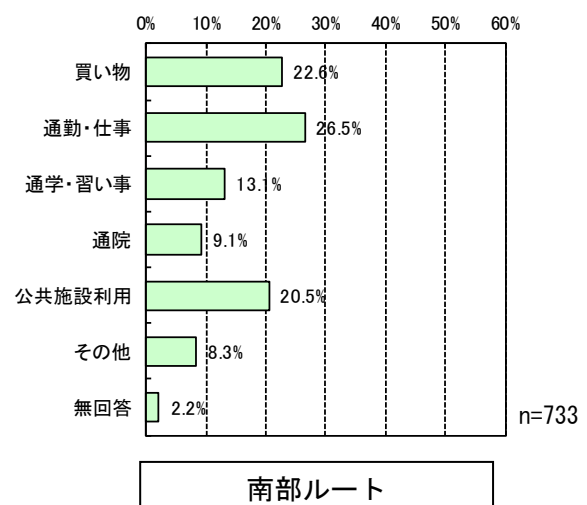
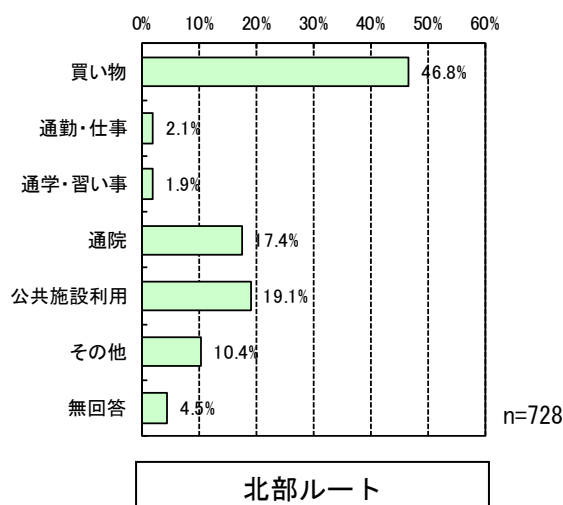


(4)利用目的

- 利用目的は、「買い物」が最も多く、「公共施設利用」も多くなっている。
- ルート別にみると、北部ルートでは「買い物」、東部ルートでは「公共施設利用」が多いなど特定の目的に偏りがあるが、南部ルートでは「通勤・仕事」や「買い物」など様々な目的での利用が見られる。



◆ルート別集計



(5)バス相互の乗り継ぎ

- 各鉄道間の乗り継ぎが多くなっており、他ルート間の乗り継ぎも少数ある。
- 木曽岬町自主運行バスとの乗り継ぎはないが、飛島公共交通バスとの乗り継ぎは2件ある。

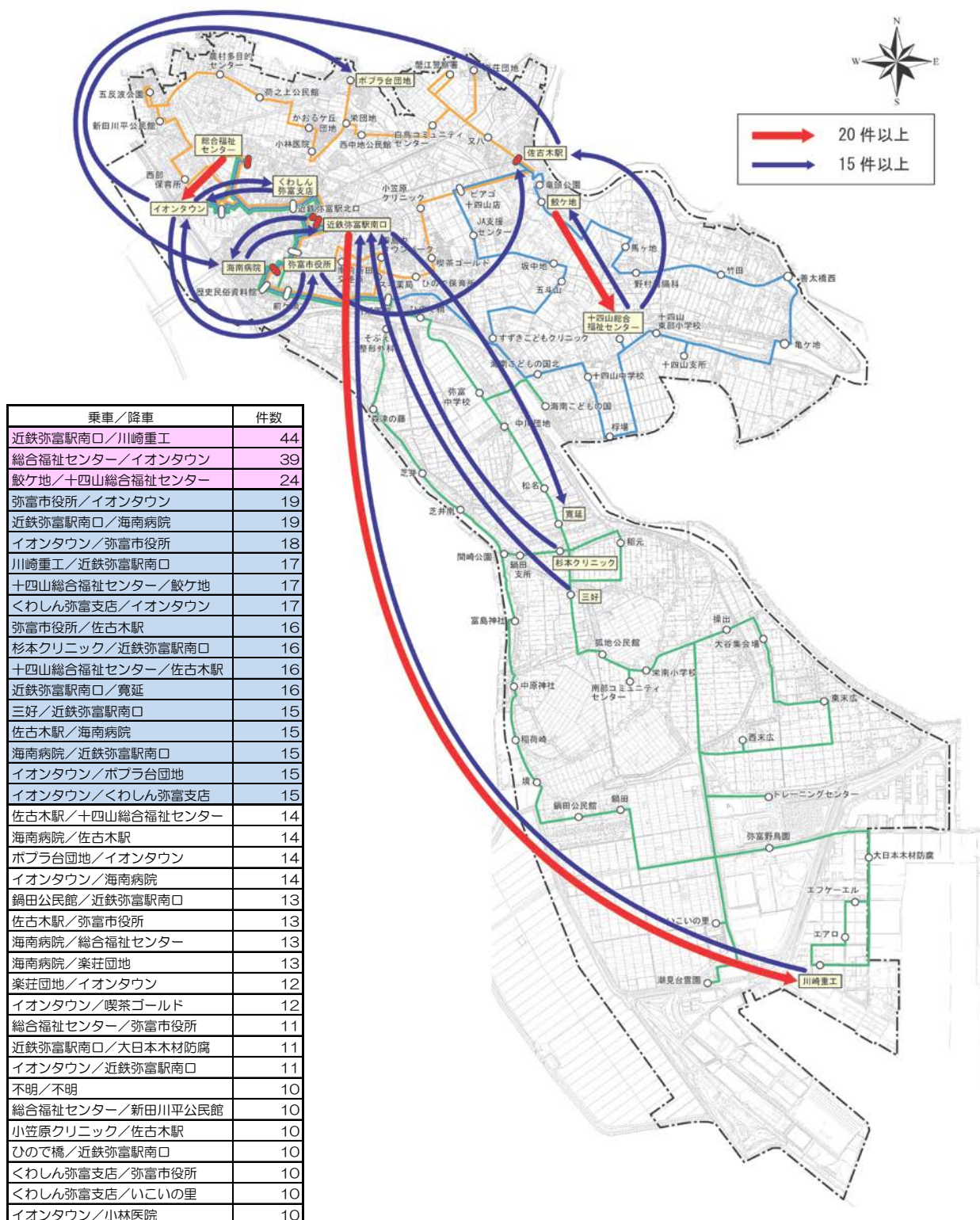
乗り継ぎの状況 (人/週)

	乗り継ぎ先						計
	北部ルート	南部ルート	東部ルート	鉄道	木曽岬 自主運行 バス	飛島公共 交通バス	
北部ルート		2		9		1	12
南部ルート	1			35		1	37
東部ルート	1			6			7
鉄道	7	16	2				25
木曽岬町 自主運行バス			1				1
飛島公共 交通バス							0
計	9	18	3	50	0	2	82

(6)バス停間移動

- 最も移動件数が多いのは、「近鉄弥富駅南口」から「川崎重工」への移動で 44 件となっている。
- 北部ルートや南部ルートでは、「近鉄弥富駅南口」や「イオンタウン」、「弥富市役所」、「海南病院」、「総合福祉センター」を中心とした移動が多く、東部ルートでは「鮫ヶ地」「十四山総合福祉センター」間や、「佐古木駅」を中心とした移動が多くなっている。

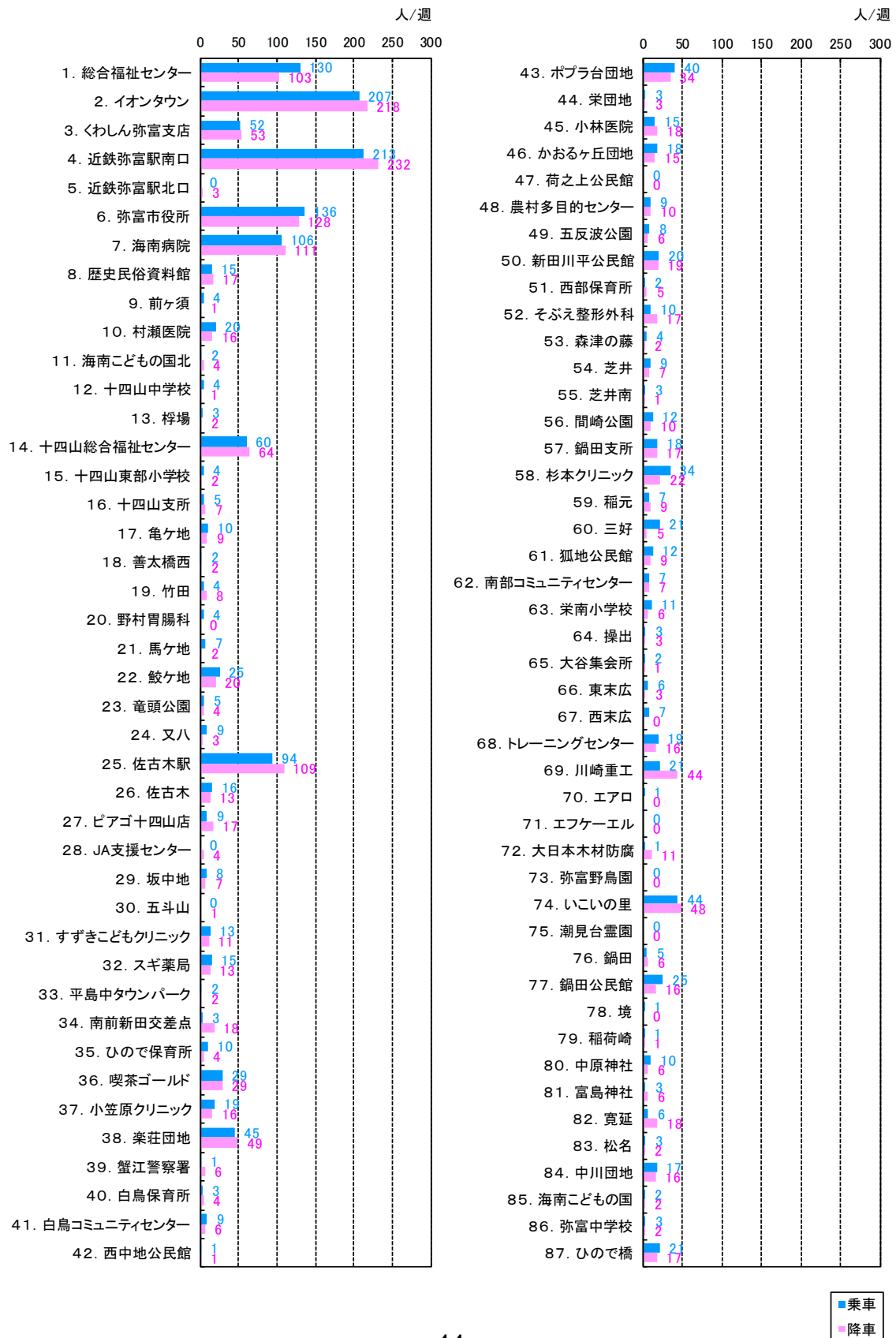
バス停間移動の状況



(7)バス停別乗降者数

- 「近鉄弥富駅南口」の乗降者数が最も多くなっており、以下「イオンタウン」「弥富市役所」「総合福祉センター」「海南病院」の順で多くなっている。また、「佐古木駅」や「十四山総合福祉センター」の乗降者数も多くなっている。

バス停別乗降者数（全ルート）



3-4-4 収支

- 本市においては、75歳以上の方に対し無料パスカードを配布しており、きんちゃんバスを無料で利用できる。
- 令和元年度の運行経費は平成26年度から減少し、収入は増加している。
- 収支率は、令和元年度で5.3%となっており、平成26年度から0.5%改善している。
- 利用者1人当たりの運行経費は令和元年度で1,109円となっており、平成26年度から288円減少している。
- 市の実質負担額は、平成27年度以降増加しており、令和元年度で約7.9千万円となっている。
- 収入の内訳を見ると、車内運賃（現金）が約6割と最も多くなっている。

収入の推移

年度	運行経費 (千円) A	運賃収入 (千円) B	収支率 B/A	年間利用者数 (人) C	利用者 1人当たり 運行経費 (円) A/C	補助金 (千円) D	市実負担額 (千円) A-B-D
平成26年度	96,477	4,650	4.8%	69,060	1,397	10,270	81,557
平成27年度	83,386	4,561	5.5%	70,297	1,186	9,335	69,490
平成28年度	84,875	4,986	5.9%	76,276	1,113	7,432	72,457
平成29年度	86,233	5,050	5.9%	78,882	1,093	6,145	75,038
平成30年度	88,540	4,690	5.3%	80,708	1,097	5,423	78,427
令和元年度	92,219	4,883	5.3%	83,171	1,109	8,623	78,712
H26⇒R元増減	-4,258	+233	+0.5%	+14,111	-288	-1,647	-2,845

収入の内訳

収入 (千円)	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		H26⇒R元増減	
車内	2,598	55.9%	2,791	61.2%	3,120	62.6%	3,108	61.5%	2,863	61.0%	2,743	56.2%	+145	+0.3%
回数券	1,379	29.7%	1,058	23.2%	1,065	21.4%	1,135	22.5%	1,112	23.7%	1,088	22.3%	-291	-7.4%
定期券	417	9.0%	499	10.9%	606	12.2%	635	12.6%	546	11.6%	852	17.4%	+435	+8.5%
広告	256	5.5%	213	4.7%	195	3.9%	172	3.4%	169	3.6%	200	4.1%	-55	-1.4%
収入計	4,650	100.0%	4,561	100.0%	4,986	100.0%	5,050	100.0%	4,690	100.0%	4,883	100.0%	+233	+0.0%
利用者数 (人)	69,060		70,297		76,276		78,882		80,708		83,171		+14,111	

3-4-5 周知・利用促進策

(1) 無料パスカード

- 75 歳以上に配布される無料パスカードは、実証運行を開始した平成 22 年度に多くが発行され、平成 23 年度以降は新たに 75 歳以上となった方々に配布されている。

無料パスカード



(2) 定期券・回数券・シルバーパス・乗継券

- 料金負担の軽減を図り、利用を促進するために、通勤・通学など利用頻度の多い方に対応した定期券や回数券、65 歳以上の方を対象としたシルバーパスを発行している。
- また、きんちゃんバスの各ルート相互の乗り継ぎ利用の利便性を向上させるため、無料で乗り継ぎのできる乗継券を、所定のバス停で降車の際に希望者に配布している。

回数券・定期券・シルバーパス料金

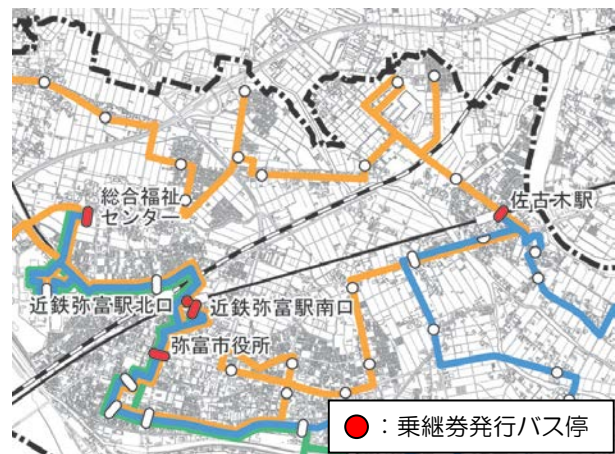
回 数 券		
券 種	料 金 等	
大 人	12 枚	2,000 円
高校生以下・障がい者	12 枚	1,000 円

定 期 券		
1) 定期乗車券		
券 種	料 金 等	
大 人	1ヶ月	6,000 円
	3ヶ月	17,100 円
	6ヶ月	32,400 円
高校生以下・障がい者	1ヶ月	3,000 円
	3ヶ月	8,600 円
	6ヶ月	16,200 円

2) シルバーパス (65 歳以上)

券 種	料 金 等	
シルバーパス	1ヶ月	3,000 円
	3ヶ月	8,600 円
	6ヶ月	16,200 円

乗継券発行バス停



(3) サイクル&バスライド駐輪場

- バス利用者の利便性の向上と新たな需要の掘り起こしを目的に、サイクル&バスライド駐輪場を市内の主要な公共施設 6 箇所に設置している。



サイクル&バスライド駐輪場

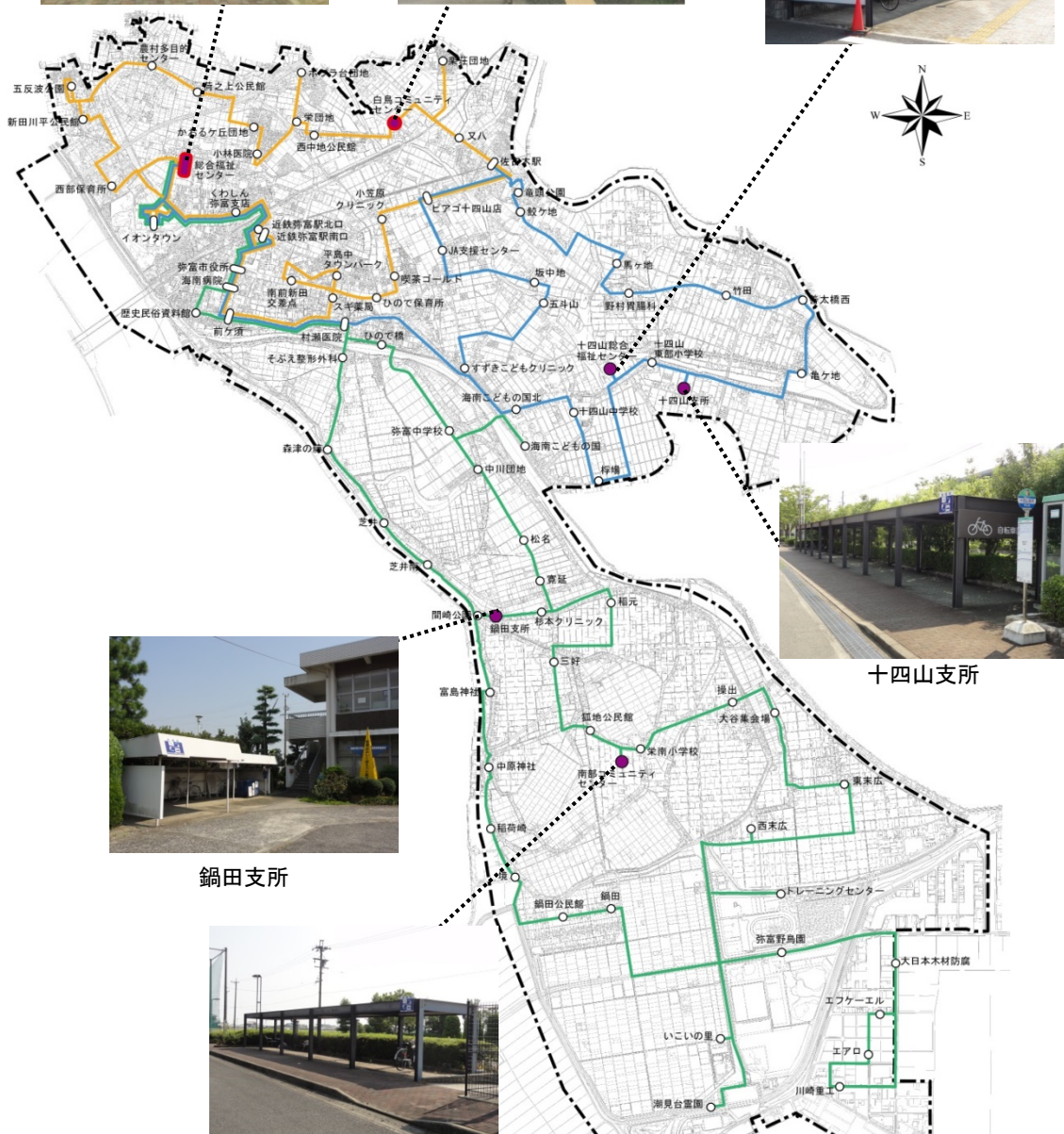
総合福祉センター



白鳥コミュニティセンター



十四山総合福祉センター



鍋田支所



南部コミュニティセンター

十四山支所

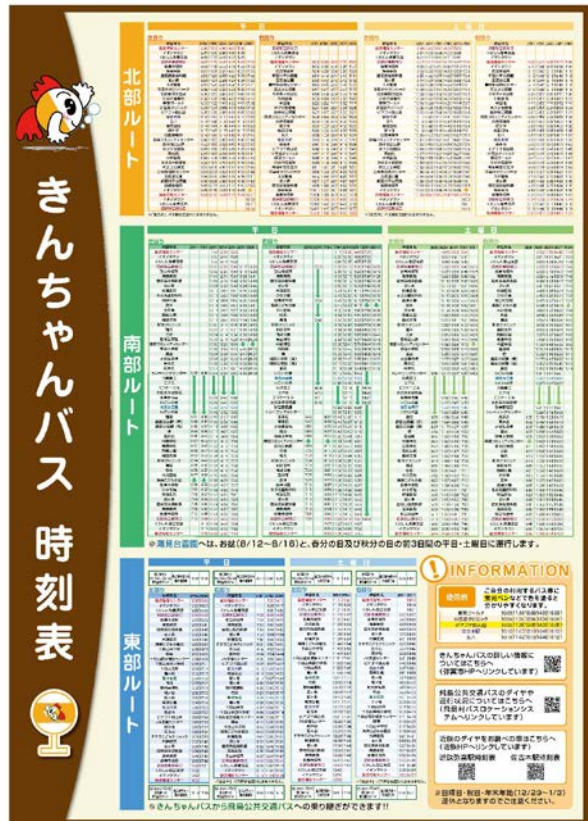
(4)時刻表

- ダイヤ改正の際には、新しい時刻表を全戸配布している。
- ダイヤ変更のポイントや、定期券や回数券、シルバーパスの販売情報、幹線系統である飛島公共交通バス蟹江線への乗り継ぎダイヤや QR コードなどを掲載し、分かりやすく、利便性の高い時刻表を目指して作成している。
- 観光の取組みとして本市で展開している「やとみスイートハートプロジェクト」とも連携し、参加店舗の位置なども路線図上に掲載している。

時刻表

【路線図面】

【時刻表面】



(5)イベント時の周知活動

- 市民への周知を目的とし、市内で開催されるお祭り等のイベントにおいて、バス車両展示、啓発品の配布等の周知活動を実施している。

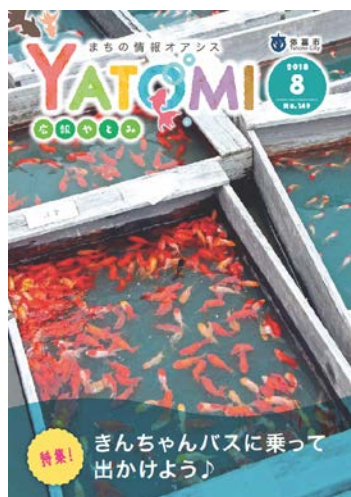
イベント時の周知活動の様子



- 弥富市観光マップにきんちゃんバスの情報を掲載し、市外から訪れる観光客への情報提供を実施している。

[illegible]

- 本市 HP へのきんちゃんバスの情報の掲載のほか、本市広報誌において観光と連携したきんちゃんバス特集を実施するなど、情報提供や周知活動を実施している。

[illegible]

(8)無料お試し乗車券の配布

①無料お試し乗車券の概要

- 新たな利用者を掘り起こすことを主な目的とし、きんちゃんバスに乗ったことのない人が、一度の利用経験を通じて、きんちゃんバスを持続的に利用するきっかけとなることを期待し、平成23年度以降、毎年無料お試し乗車券を全戸配布している。
- 無料お試し乗車券には、きんちゃんバスの必要性や回数券等の販売情報を記載するとともに、アンケートへの回答を条件として利用可能としている。
- 平成26年度以降は小学生も対象に加えるとともに夏休み期間を利用期間に設定しており、新規利用者は毎年80人前後となっている。

これまでの無料お試し乗車券配布の実施状況と効果

	平成23年度【第1回】	平成24年度【第2回】	平成25年度【第3回】	平成26年度【第4回】
配布対象	市内全世帯	市内全世帯	市内全世帯	市内全世帯+小学生
利用可能期間	2月1日～2月29日(1ヶ月)	7月30日～9月29日(2ヶ月間)	10月1日～10月30日(1ヶ月)	8月1日～8月30日(1ヶ月)
利用枚数	1,327枚	1,155枚	809枚	1,033枚
新規利用者数	141人	170人	43人	98名
おもて面イメージ				
	平成27年度【第5回】	平成28年度【第6回】	平成29年度【第7回】	平成30年度【第8回】
配布対象	市内全世帯+小学生	市内全世帯+小学生	市内全世帯+小学生	市内全世帯+小学生
利用可能期間	8月1日～8月31日(1ヶ月)	8月1日～8月31日(1ヶ月)	8月1日～8月31日(1ヶ月)	8月1日～8月31日(1ヶ月)
利用枚数	1,012枚	995枚	956枚	962枚
新規利用者数	85人	84人	72人	84人
おもて面イメージ				

②令和元年度配布結果

1)配布結果

- 令和元年度の無料お試し乗車券の利用枚数は1,140枚となっているが、昨年度と同じ8月の利用枚数は減少している。

無料お試し乗車券配布結果

	平成30年度	令和元年度
対象	弥富市内に居住する全世帯及び小学生	
利用可能期間	8/1(水)～8/31(金) 1ヶ月間	8/1(木)～9/30(月) 2ヶ月間
利用枚数	962枚	1,140枚 内訳:8月:719枚 9月:421枚
新規利用者	84人	66人

無料お試し乗車券（令和元年度）

【おもて面】

この機会に1人1回きんちゃんバスを使ってみよう!

- 少しでも利用して、きんちゃんバスを支えていってください!
- 夏休みの親子やご家族でのお出かけにも利用してみてください!
- ご利用の際は、裏面のアンケートにも必ず答えてください。

※ 小学生のみなさんで回答が難しい場合は、お母さんやお父さんと一緒に答えてね!

第9回 弥富市 きんちゃんバス 無料お試し乗車券

【有効期限】令和元年8月1日(木)～令和元年9月30日(月)

親子やご家族でもご利用ください!

- 福祉センターなどへお出かけの際に!
- お買い物の際に!
- 友達を誘ったとき!

ご乗車の際に運転手にお渡しください

- ※ 本書1枚で、大人・子供を問わず、1乗車1名様のみに有効です。
- ※ 裏面のアンケートにお答えいただき、切り取ってご利用ください。
- ※ コピー・複製したものはご利用になれません。
- ※ コピー・複製したものはご利用になれません。

～本書がなくても無料でご利用できる方～
75歳以上・未就学児の方

【うら面】

きんちゃんバスのお得なきっぷがあります!

● 12枚つづりで2枚お得な回数券を販売しています。
● 割安な定期券やシルバーパス(65歳以上)も販売しています。
● きんちゃんバスの運賃等については、右の料金表をご覧ください。

※キリトリ線に沿って切り取って頂き、下記のアンケートに必ずお答えいただくうえに1枚ずつご利用ください。

大 人	小 学 生	定 額 券
200円	100円	1ヶ月 5,000円
100円	50円	3ヶ月 17,100円
100円	50円	6ヶ月 32,400円
100円	50円	1ヶ月 3,000円
100円	50円	3ヶ月 8,600円
100円	50円	6ヶ月 18,200円
100円	50円	1ヶ月 3,000円
100円	50円	3ヶ月 8,600円
100円	50円	6ヶ月 18,200円

～無料お試し乗車券、アンケートについてのお問い合わせ先～
弥富市地域公共交通活性化協議会事務局(弥富市役所危機管理課)
TEL:(0567)85-1111 内線363 FAX:(0567)52-3276

きんちゃんバスアンケート

当てはまる番号1つに○を付けてください

Q1 お年を教えてください。

①小学生 ②中学生 ③高校生
④15～64歳(高校生を除く) ⑤65～74歳

Q2 今回の無料お試し乗車券を使うのは何回目ですか。

()回目

Q3 今回の無料お試し乗車券が配布される以前に、きんちゃんバスを利用したことがありますか。

①ある ②ない

Q4 クルマの運転免許はお持ちですか。

①持っている ②返納した ③持っていない

Q5 今回のきんちゃんバスご利用の目的をお答えください。

①学校・塾・習い事などの通学・通勤 ②病院への通院
③市役所などの公共施設への用事・利用 ④買い物・外食・旅行・遊びなどのお出かけ
⑤その他()

Q6 今後もきんちゃんバスを利用したいと思いますか。

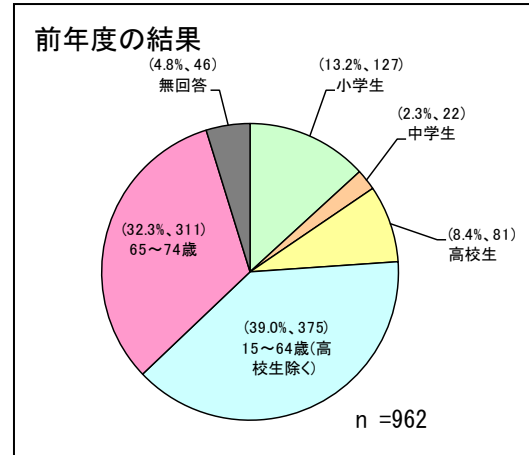
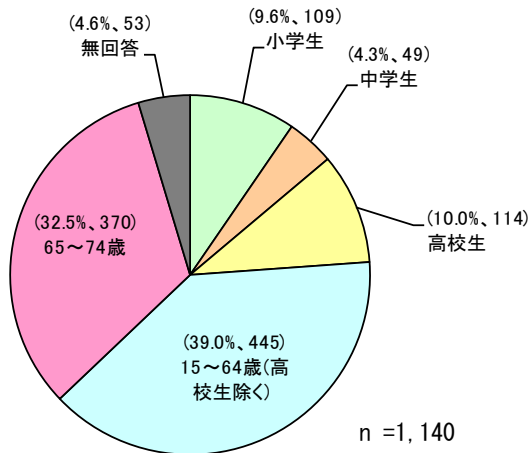
①利用したいと思う ②利用したいと思わない

ご協力ありがとうございました。

2)アンケート結果

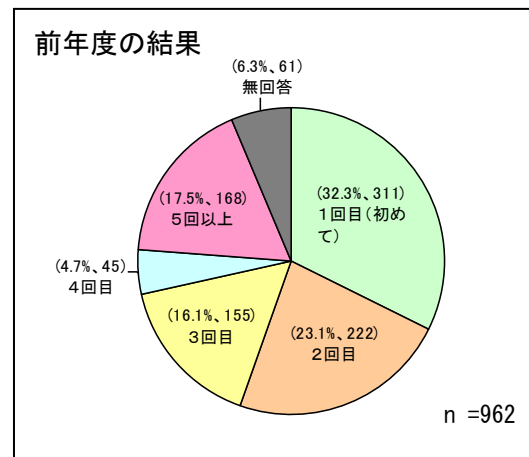
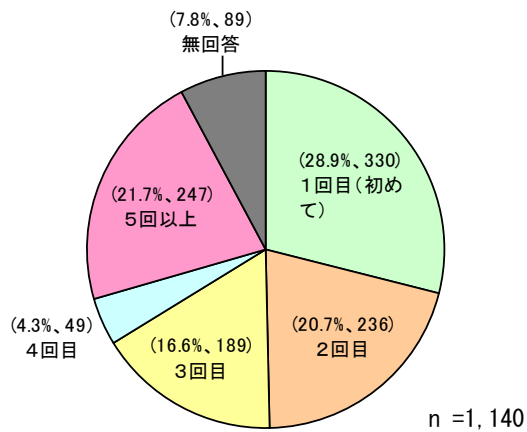
ア)年齢層

- 「15～64 歳（高校生除く）」が 39.0%と最も多く、「高校生」も 10.0%となっている。
- 昨年度と比較すると「高校生」「中学生」の利用が増加している。



イ)今回の無料お試し乗車券の利用回数

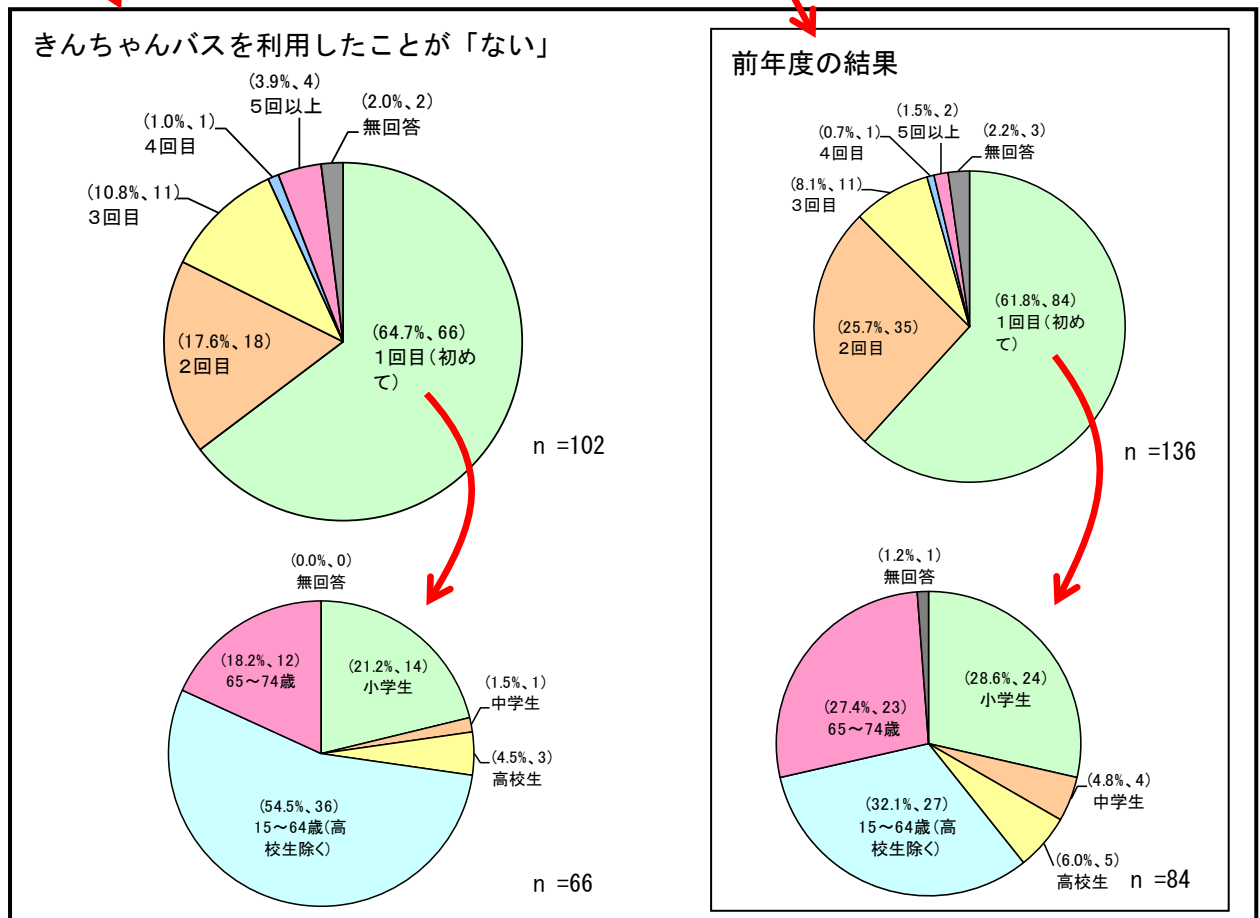
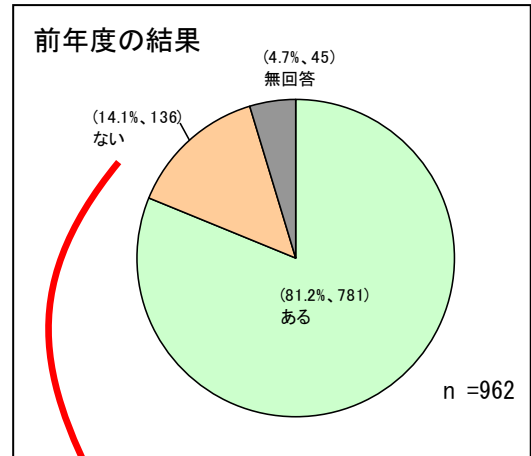
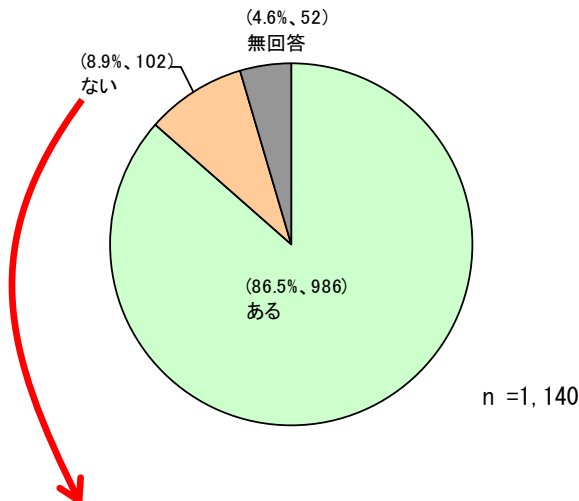
- 「1 回目（初めて）」が 28.9%と最も多くなっている。
- 昨年度と比較すると「1 回目（初めて）」は減少している。



ウ)無料お試し乗車券配布以前のきんちゃんバス利用の有無

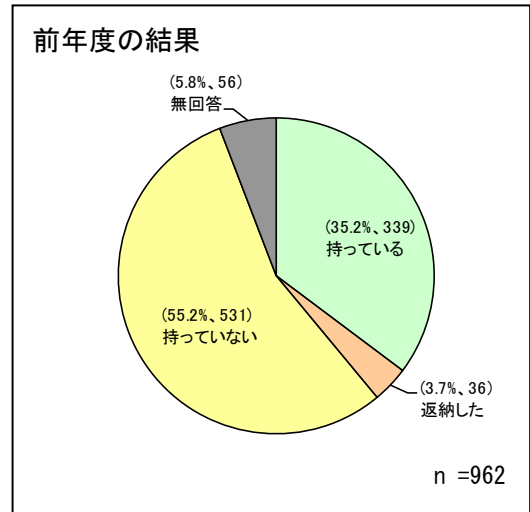
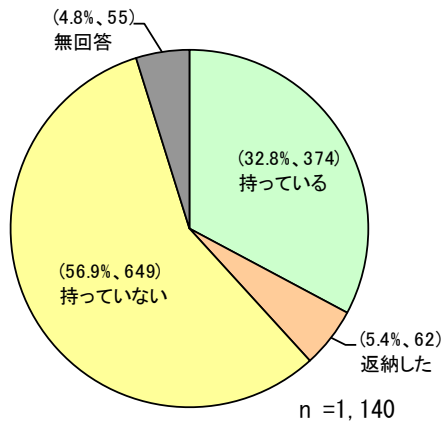
- これまでにきんちゃんバスを利用したことが「ない」は 8.9%となっており、昨年度よりも減少している。
- これまでにきんちゃんバスを利用したことが「ない」人のうち、今回の無料お試し乗車券により、初めてきんちゃんバスを利用した人（新規利用者）は 66 名となっており、昨年度（84 名）よりも減少している。

※新規利用者：無料お試し乗車券配布以前にきんちゃんバスを利用したことがなく、
お試し乗車券を初めて使った人



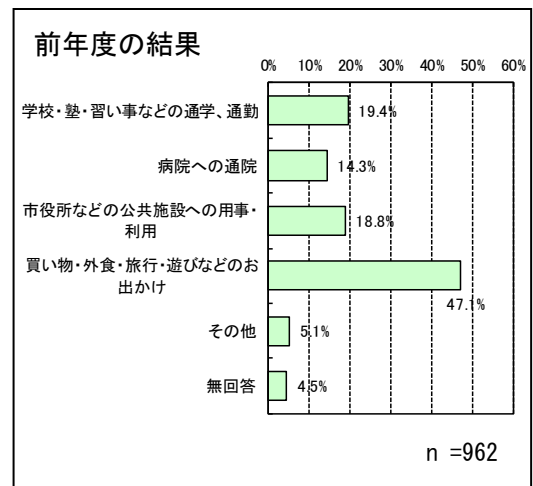
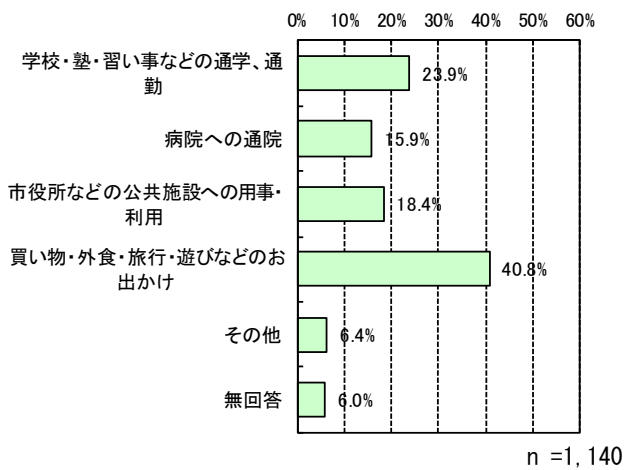
エ)クルマの運転免許の保有状況

- 「免許を持っていない」が56.9%と最も多くなっており、昨年度と同様の傾向となっている。



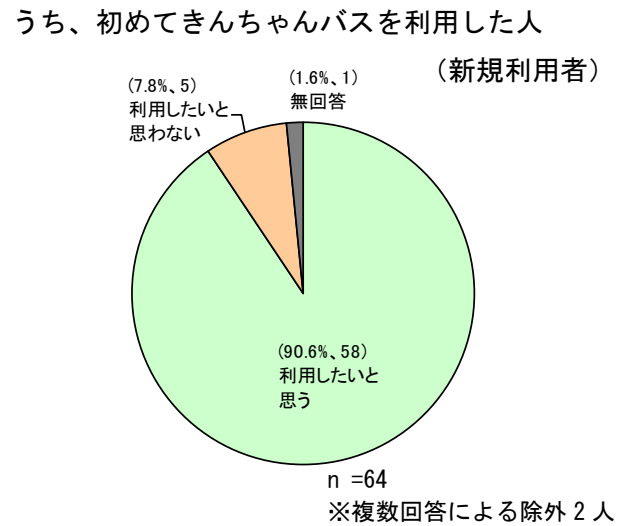
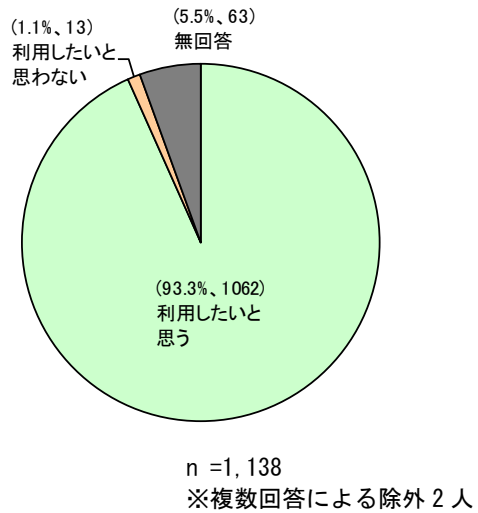
オ)利用目的

- 「買い物・外食・旅行・遊びなどのお出かけ」が40.8%と最も多くなっており、昨年度と同様の傾向となっている。



カ)今後の利用意向

- 「利用したいと思う」が93.3%と最も多くなっており、初めてきんちゃんバスを利用した人（新規利用者）においても「利用したいと思う」が90.6%と最も多くなっている。



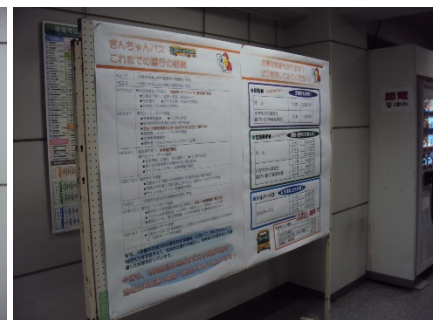
(9)地域公共交通講演会

- 公共交通の置かれた現状を認識し、今後の弥富市地域公共交通網形成計画見直しに向けた啓発を図ることを目的に、「きんちゃんバスのこれまでとこれから」と題し、講演会を開催した。
- 「きんちゃんバスのこれまで」では、巡回福祉バス運行開始当初～現在までの運行の経緯や現在の利用状況、収支状況などを説明し、「きんちゃんバスのこれから」では、学識（弥富市地域公共活性化協議会座長）により、コミュニティバスの置かれている現状や先進事例などを交えながら講演していただいた。

地域公共交通講演会開催概要

対象	弥富市民
開催時期	令和元年 11 月 9 日(土)
開催場所	弥富市十四山スポーツセンター 第2アリーナ
内容	1. きんちゃんバスのこれまで 2. きんちゃんバスのこれから
参加者数	100 名

講演会の様子



3-4-6 その他公共交通と乗り継ぎ

(1) 周辺自治体が運行するバスとの乗り継ぎ

① 周辺自治体のバス運行状況

- 本市周辺で運行されているコミュニティバス（自治体が運行するバス）は、木曽岬町の自主運行バスと飛島村の飛島公共交通バス・乗合タクシー、愛西市の巡回バスがある。
- 木曽岬町自主運行バスは、木曽岬町と近鉄弥富駅とを結ぶ路線として運行している。
- 飛島公共交通バスは、幹線系統である蟹江線が近鉄蟹江駅と、名港線が名古屋港とを結んでおり、乗合タクシーは海南病院通院支援タクシーとして予約制で運行されている。
- 愛西市の巡回バスは無料で運行されており、佐屋西ルートと海南病院ルートが運行されている。

きんちゃんバス及び周辺自治体のバス運行状況

路線名・運行便数	運行時刻	運賃	本市内のバス停
きんちゃんバス(日曜・祝日及び年末年始運休)			
北部ルート 平日:1日11便 土曜:1日11便	平日始発:9時00分 終発:17時00分 土曜始発:9時00分 終発:17時00分	大人200円 小学生から高校生100円 障がい者(手帳所持者)及び同伴の介護者100円 75歳以上・未就学児無料	
南部ルート 平日:1日15便 土曜:1日10便	平日始発:6時40分 終発:19時35分 土曜始発:8時00分 終発:18時15分		
東部ルート 平日:1日5便 土曜:1日4便	平日始発:7時45分 終発:16時20分 土曜始発:9時20分 終発:16時20分		
木曽岬町自主運行バス(毎日運行)			
中央線 1日32便	始発:6時15分 終発:20時24分	大人200円 高校生以下100円 65歳以上及び障がい者100円	前ヶ須 海南病院前 弥富市役所 近鉄弥富駅
源緑見入線 1日14便	始発:7時01分 終発:19時54分		
飛島公共交通バス・乗合タクシー			
蟹江線 (毎日運行) 平日:1日59便 休日:1日30便	平日始発:5時25分 終発:23時00分 休日始発:6時30分 終発:22時00分	200円 身体障がい者100円	善太橋西 亀ヶ地 神戸新田
名港線 (年末年始運休) 平日:1日27便 休日:1日17便	平日始発:6時57分 終発:20時23分 休日始発:7時15分 終発:18時35分	500円(飛島ふ頭内乗降200円) 身体障がい者250円 (飛島ふ頭内乗降100円)	なし
飛島乗合タクシー (日曜・祝日及び 年末年始は運休) 1日14便	始発:7時30分 終発:17時00分	500円 小学生未満同乗者無料	海南病院
愛西市巡回バス(日曜・祝祭日、年末年始運休)			
佐屋西ルート 1日7便	始発:8時30分 終発:17時00分	無料	五ノ三 ※市境界
海南病院ルート 1日2便	始発:7時30分 終発:13時00分		海南病院前

②飛島公共交通バスとの乗り継ぎ

- 現在のきんちゃんバスと飛島公共交通バスにおいて接続を行っているのは、東部ルート「善太橋西」及び「亀ヶ地」バス停であり、これは本市が飛島村地域公共交通活性化再生法定協議会に要望を行い、飛島公共交通バス（蟹江線）に新たに加わったバス停である。
- 東部ルートから「善太橋西」バス停にて蟹江線に乗り継いだ場合、近鉄蟹江駅までは 11 分であり、名古屋駅方面への利便性が向上する。

飛島公共交通バスとの乗り継ぎバス停



③木曽岬町自主運行バスとの乗り継ぎ

- きんちゃんバスと木曽岬町自主運行バスの乗り継ぎは、「歴史民俗資料館」、「海南病院」、「弥富市役所」で可能である。また、近鉄弥富駅では、きんちゃんバスが「近鉄弥富駅南口」、木曽岬町自主運行バスが「近鉄弥富駅北口」に停車するため、乗り継ぎには駅舎内を通り抜ける必要がある。
- 現在、乗り継ぎを考慮したダイヤ編成等はされていない。



④愛西市巡回バスとの乗り継ぎ

- 愛西市巡回バスのバス停は市境界部に1箇所設置されており、近くに五反波公園バス停があるものの、乗り継ぎは可能なバス停はない。



(2) 鉄道との乗り継ぎ

- 本市には、近鉄名古屋線の近鉄弥富駅及び佐古木駅、JR 関西本線及び名鉄尾西線の弥富駅、名鉄尾西線の五ノ三駅の 4 駅がある。
- 現在のきんちゃんバスでは、利用者の多い近鉄名古屋線の近鉄弥富駅及び佐古木駅のほか、近鉄弥富駅と近接している弥富駅での乗り継ぎが可能となっている。
- きんちゃんバスで JR 関西本線及び名鉄尾西線の弥富駅を利用する場合は、近鉄弥富駅南口バス停から駅舎内を通り抜ける必要がある。
- JR 関西本線及び名鉄尾西線の弥富駅では、自由通路・橋上駅舎化事業にあわせた北口駅前広場の整備検討が進められている。

鉄道との乗り継ぎバス停



3-4-7 モニタリング調査(利用者)

(1)調査概要

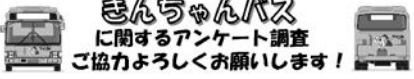
- モニタリング調査は毎年実施しており、確保維持改善事業等の評価等に活用している。
- 調査は、バス利用者に対し、降車時に調査票を配布し、郵送回収する方式で行った。
- 回収状況は下表の通りである。

モニタリング調査概要

対象	きんちゃんバス利用者
配布期間	令和元年 10 月 7 日(月)～10 月 19 日(土)
回収数	100 通(回収率 34.0%(配布 294 通))

- なお、案内文のうら面には、きんちゃんバスの利用促進を図るために、定期券等の情報も掲載した。

案内文(左:おもて面、右:うら面)



令和元年 10 月
弥富市地域公共交通活性化協議会
会長 安藤正明

平成22年6月から実施運行を開始した「きんちゃんバス」は、これまでに実施したアンケート調査の結果や利用状況を踏まえ、平成24年4月から本格運行に移行し、平成31年(2019年)4月1日のダイヤ改正では、白鳥保壽所や佐古木バス停を新設するなど、より身近で使いやすいコミュニティバスへと成長しつつあります。

そこで、さらに効果的な運行を模索し、利用者の利便性向上を考慮した改善を行うための基礎資料とするためにアンケート調査を実施させていただきます。

つきましては、皆様には、お忙しいところを誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますようお願いいたします。

なお、回収していただいた事項については、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されるような内容は一切公表いたしません。また、ご回答いただいた調査票は、この目的以外には使用いたしません。

1. 調査対象者 きんちゃんバス利用者 500人(バス車内配布)

2. アンケート回収 **11月2日(土)**までに随時の送付用封筒に入れ、ご郵送いただくか、下記の問い合わせ先までご持参ください。

■ 記入上のご注意

- ご記入にあたっては、本人のほか家族・知人による代筆でも結構です。
- 回答は、該当する番号に○印をつけてください。例題によっては一つだけ選ぶものや複数を選ぶものがありますので、指示に従ってください。
- () には、数字や文字をご記入ください。

アンケート調査についての問い合わせ先
弥富市地域公共交通活性化協議会事務局
(弥富市役所 危機管理課)
TEL : (0567) 65-1111 内線 363
FAX : (0567) 67-4011

お得な回数券・定期券・シルバーバスを販売しています！

● 回数券や定期券、シルバーバスを活用して、お得にきんちゃんバスを利用してみませんか！

● 詳しい内容や発券手続きについて知りたい方は、おもて面の問い合わせ先までご連絡ください。

券 種	枚 数	料 金 等
大 人	12枚	2,000円
高校生以下・障がい者	12枚	1,000円

券 種	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	料 金 等
大 人	6,000円	17,100円	32,400円	
高校生以下・障がい者	3,000円	8,600円	16,200円	

1) 定期乗車券

券 種	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	料 金 等
大 人	6,000円	17,100円	32,400円	
高校生以下・障がい者	3,000円	8,600円	16,200円	

2) シルバーバス(65歳以上)

券 種	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	料 金 等
シルバーバス	3,000円	8,600円	16,200円	

きんちゃんバスをご利用の際にも下記6施設の駐輪場を利用することができます！



①	総合福祉センター
②	白鳥コミュニティセンター
③	十四山総合福祉センター
④	十四山支所
⑤	鍋田支所
⑥	南部コミュニティセンター

モニタリング調査アンケート票

利用者アンケート

Ⅰ ご自身についてお尋ねします。

問1 下記について、それぞれ当てはまる番号に**1つずつに○**

問1-1	性別	1. 男性	2. 女性
問1-2	年齢	1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代 5. 50代 6. 60～64歳 7. 65～74歳 8. 75歳以上	
問1-3	職業	1. 会社員・公務員 2. 自営業 3. パート・アルバイト 4. 学生 5. 専業主婦 6. 無職 7. その他()	
問1-4	お住まい	1. 弥生小学校区 2. 桜小学校区 3. 日の出小学校区 4. 白鳥小学校区 5. 大藤小学校区 6. 栄南小学校区 7. 十四山東部小学校区 8. 十四山西部小学校区 9. 弥富市外	
問1-5	車・バイクの運転免許	1. 持っている 2. 返納した 3. 持っていない	
問1-6	自分で自由に使える車・バイク	1. 持っている 2. 持っていない	

Ⅱ 現在のバスの利用状況についてお尋ねします。

問2 現在の利用バスルート (すべてに○)

1. 北部ルート (きんちゃんバス)	2. 南部ルート (きんちゃんバス)
3. 東部ルート (きんちゃんバス)	4. 木曾町自主運行バス
5. 飛鳥公共交通バス藍江線	

問3 バスの利用頻度 (1つだけに○)

1. 週に5日以上	2. 週に3～4日	3. 週に1～2日	4. 月に数回程度
-----------	-----------	-----------	-----------

問4 バスの主な利用目的 (すべてに○)

1. 買い物	3. 通学・習い事
2. 通勤・仕事	4. 通院
5. 公共施設への用事・利用	6. 外食やスポーツなどの余暇
7. 家族や友人宅への訪問	8. その他 ()

Ⅲ きんちゃんバスについてお尋ねします。

問5 お得な「回数券」や「定期券」、「シルバーバス」の利用状況（1つだけ○）

1. 回数券を利用している	2. 定期券を利用している
3. シルバーバスを利用している	4. 無料で乗車できる（75歳以上）
5. いずれも利用していない（現金で支払い）	

問6 現在のきんちゃんバスの満足度（1つだけ○）

また、「やや不満」「とても不満」と答えた方は、その理由を箇条書きでお書きください。

1. とても満足	2. やや満足	3. ふつう	4. やや不満	5. とても不満
----------	---------	--------	---------	----------

「やや不満」「とても不満」な理由

・
・

問7 きんちゃんバスを利用する際に、図に示す6施設の経路検索の利用状況（1つだけ○）

1. 利用したことがある
2. 利用できることを知っていたが、利用したことはない
3. 利用できることを知らなかった

白鳥コミュニティセンター
総合福祉センター
十四山総合福祉センター
十四山支所
岡田支所
南部コミュニティセンター

主 車前 3期

白鳥コミュニティセンター

総合福祉センター

十四山総合福祉センター

十四山支所

岡田支所

南部コミュニティセンター

問8 昨年と比べた場合のきんちゃんバスの利用頻度の変化（1つだけに○）
 また、増えたり減ったりした方は、その理由を箇条書きでお書きください。

1. とても増えた	2. やや増えた	3. 変わらない
4. やや減った	5. とても減った	

増えたり、減ったりした理由

・

・

問9 東部ルートの「菟太橋西」と「亀ヶ地」バス停においては、飛島公共交通バス
 蟹江線との乗り継ぎができます。また、乗り継ぎダイヤを時刻表にも掲載しています。

問9-1 飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ利用状況（1つだけに○）

1. 乗り継ぎをしたことがある	
2. 乗り継ぎができることを知っているが、乗り継ぎをしたことがない	
3. 乗り継ぎができることを知らない	

問9-2 飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎの評価（1つだけに○）
 また、「やや不便」「とても不便」と答えた方は、その理由を箇条書きでお書きください。

1. とても便利	2. やや便利	3. ふつう
4. やや不便	5. とても不便	6. 利用していないのでわからない

「やや不便」「とても不便」な理由

・

・

問 10 ご自宅の最寄りきんちゃんバス停留所までの概ねの距離（１つだけに○）

1. 徒歩約 3 分以内（100m 以内）	2. 徒歩約 5 分以内（100～300m）
3. 徒歩約 10 分以内（300～500m）	4. 徒歩約 10 分以上（500m 以上）

Ⅳ 今後のきんちゃんバスについてお尋ねします。

きんちゃんバスを運行するのに多くの費用を市が負担しています。

問 11 今後のきんちゃんバスの運行について（１つだけに○）

- 市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき
- 現状の費用負担で運行を維持すべき
- 市の費用負担を減らし、運行本数等のサービスを縮小すべき
- 費用が減っても増えてもどちらでもいい（よくわからない）

V ご意見・ご要望などありましたら、ご自由に記入ください。

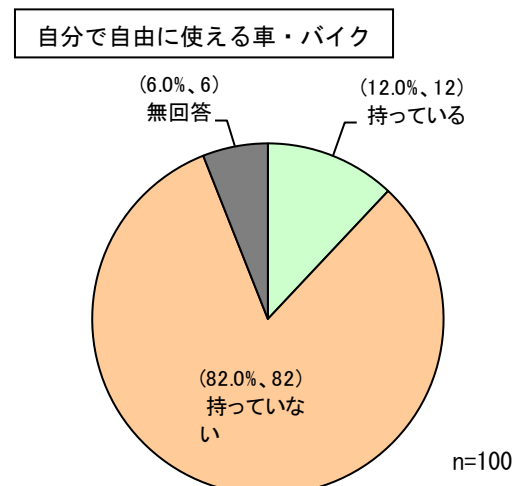
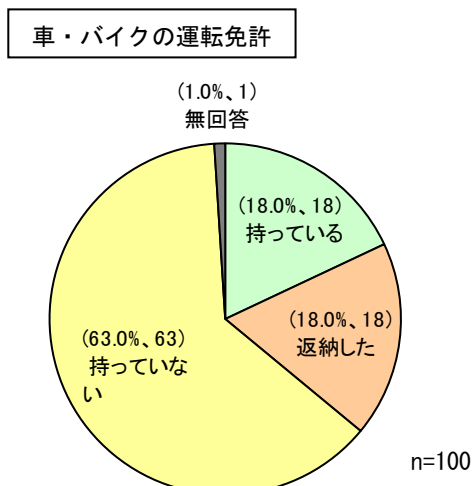
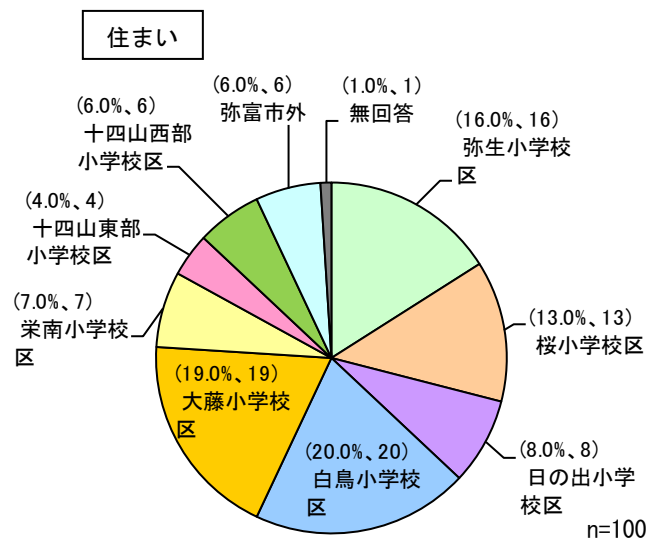
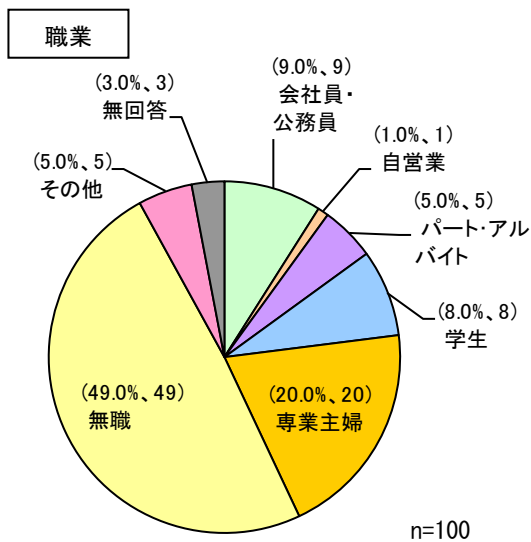
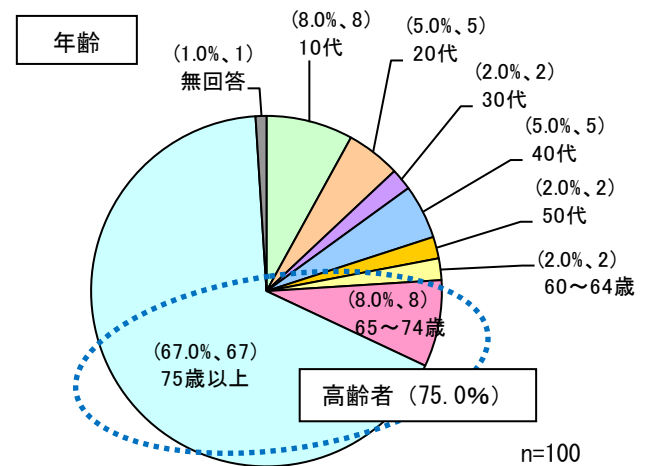
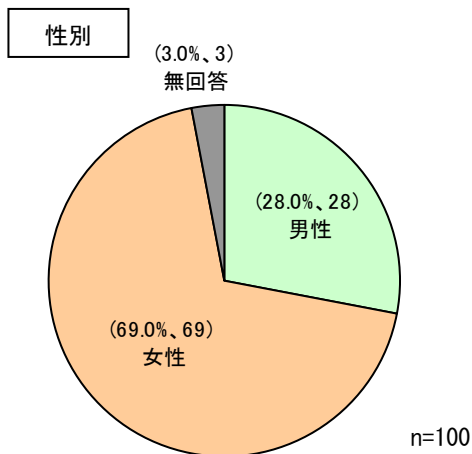
アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

11月2日（土）までにご返函ください。

(2)調査結果

①属性

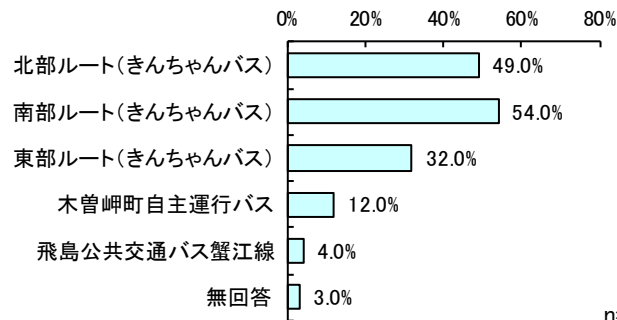
- 「女性」が69.0%と多くなっている。
- 「75歳以上」が67.0%と最も多く、「65歳以上」をあわせると75.0%が高齢者となっている。
- 「無職」が49.0%と最も多くなっている。
- 「白鳥小学校区」や「大藤小学校区」にお住まいの方の利用が多くなっている。
- 車・バイクの運転免許は、「持っていない」が63.0%と最も多くなっている。
- 自分で自由に使える車・バイクは、「持っていない」が82.0%と最も多くなっている。



②きんちゃんバスの利用状況

1)利用ルート

- 「南部ルート」が54.0%と最も多く、33.0%の人は複数ルートを利用している。



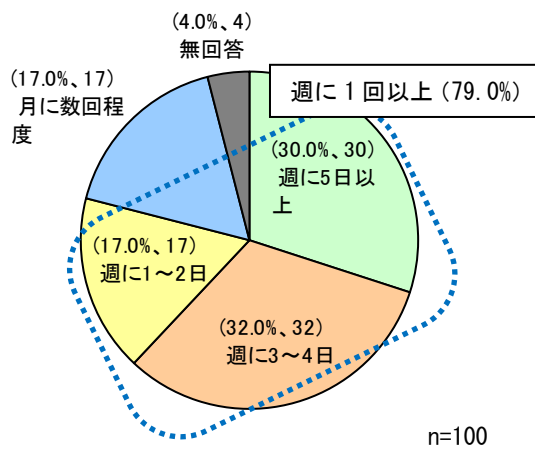
n=100

※複数回答あり

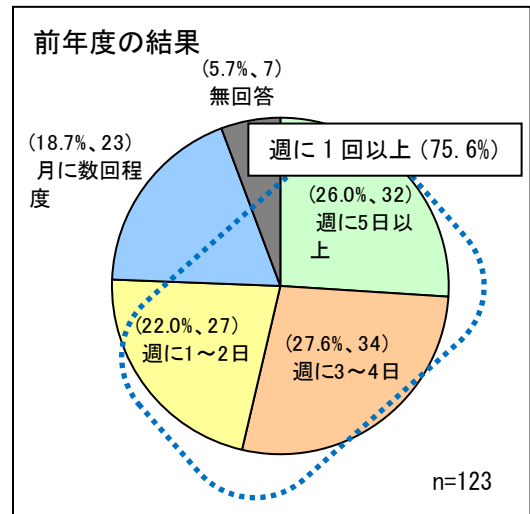
2 ルート : 16 名 (16.0%) 3 ルート : 14 名 (14.0%) 4 ルート : 2 名 (2.0%)
5 ルート : 1 名 (1.0%) 計 33.0%

2)利用頻度

- 「週に3～4日」が32.0%と最も多くなっており、比較的使用頻度の高い「週に1回以上」の利用は79.0%となっている。
- 昨年度と比較すると利用頻度の高い方が増加している。



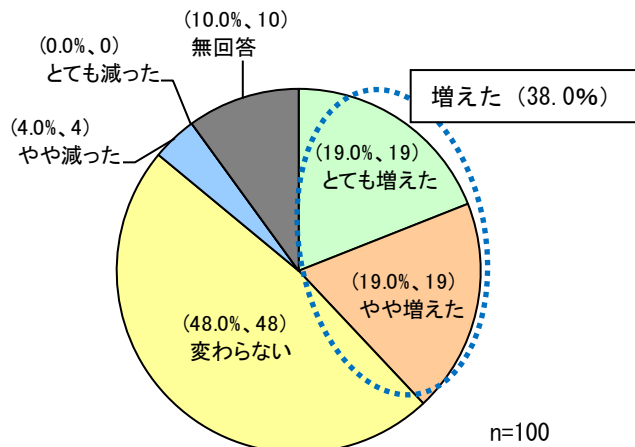
n=100



n=123

3)昨年と比べた場合の利用頻度

- 「変わらない」が48.0%と最も多く、「とても増えた」「やや増えた」をあわせた「増えた」も38.0%と多くなっている。
- 一方で、「やや減った」や「とても減った」は少なくなっている。

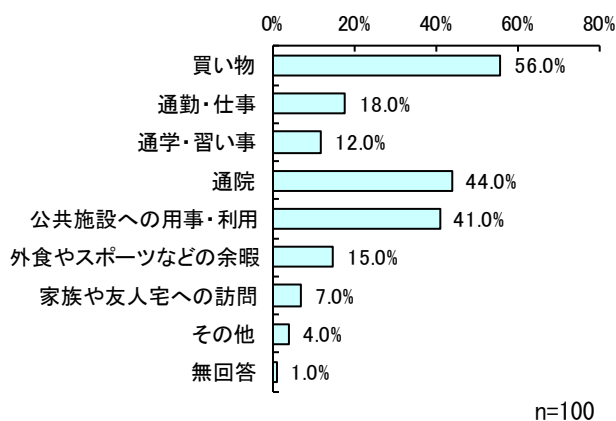


減った理由	人数
足、腰が悪くなった	2
家で介護しなければいけない	1
通院しなくなった	1
計	4

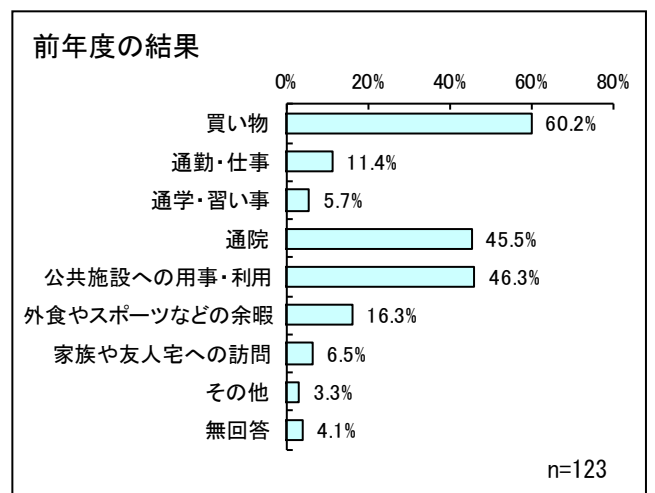
n=4

4)利用目的

- 「買い物」が56.0%と最も多く、「通院」や「公共施設への用事・利用」も多くなっている。



n=100



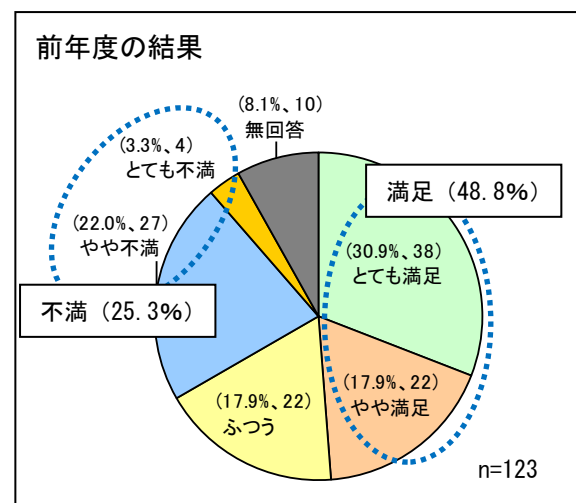
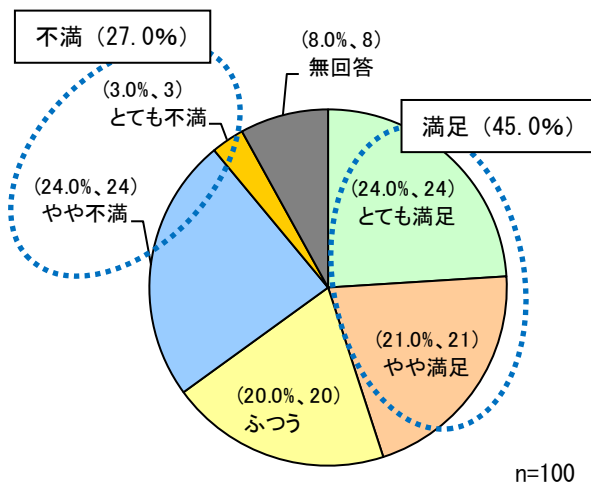
n=123

5)満足度

- ・「とても満足」「やや不満」が共に 24.0%と最も多くなっている。
- ・「とても満足」と「やや満足」をあわせた「満足」が 45.0%となっており、「とても不満」と「やや不満」をあわせた「不満」の 27.0%よりも多くなっている。
- ・不満な理由は、「本数が少ない」が多くなっている。
- ・昨年度と比較すると「満足」が減少している。
- ・無回答を除いた場合の「満足」は 48.9%となっており、網形成計画における目標（平成 32 年 50.0%※）より少なくなっている。

網形成計画における目標：利用者満足度の向上（平成 32 年 50.0%）

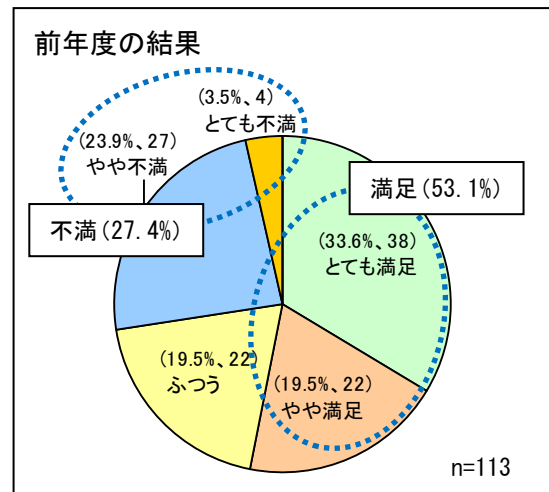
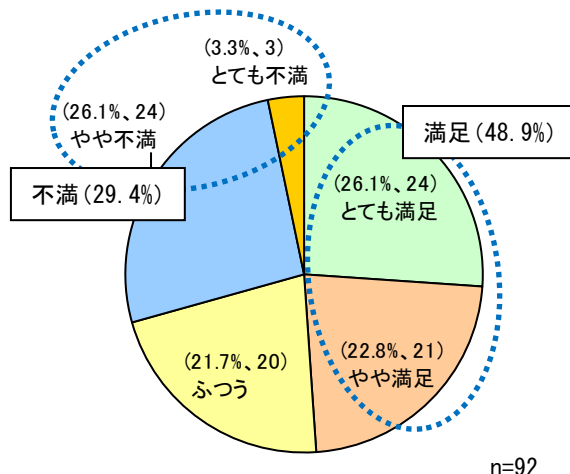
※無回答を除いた値



不満な理由	人数	不満な理由	人数
本数が少ない	14	バス停に屋根やベンチがほしい	2
朝便がない	5	車両への不満	1
時間が合わない	4	日・祝日の運行がない	1
タ方便がない	3	バス停が少ない	1
		計	31

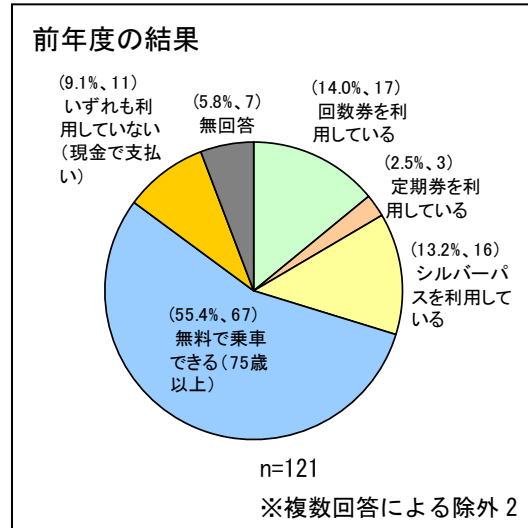
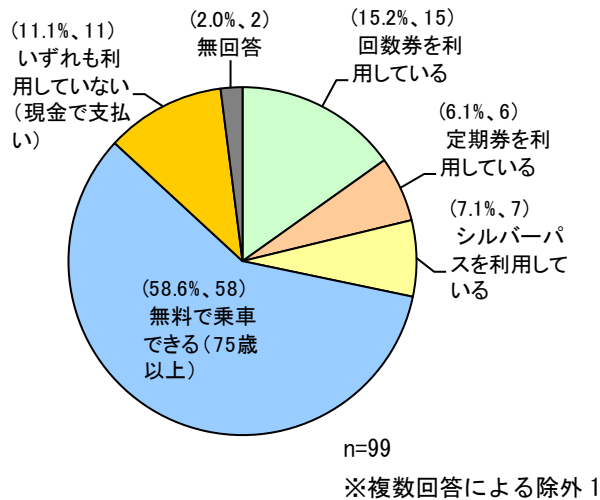
n=27

※無回答を除いた場合



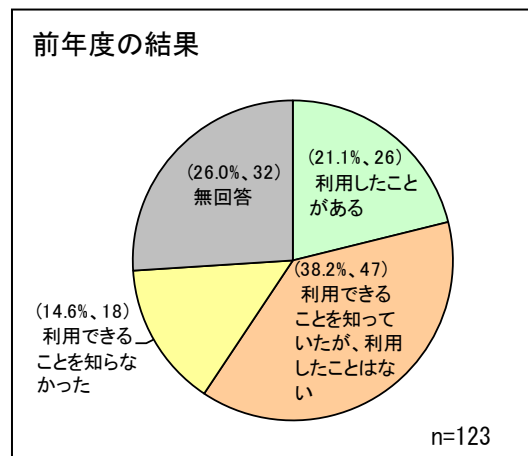
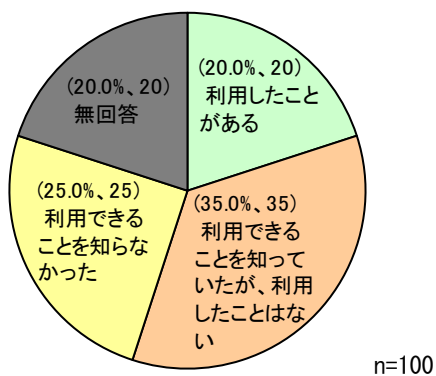
6)回数券、定期券、シルバーパスの利用状況

- 「無料で乗車できる（75歳以上）」が58.6%と最も多くなっている。
- 昨年度と比較すると「シルバーパスを利用している」が減少し、「無回答」を除くその他の項目が増加している。



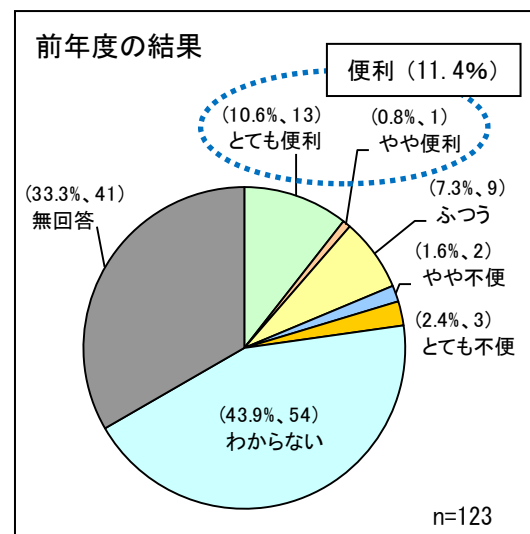
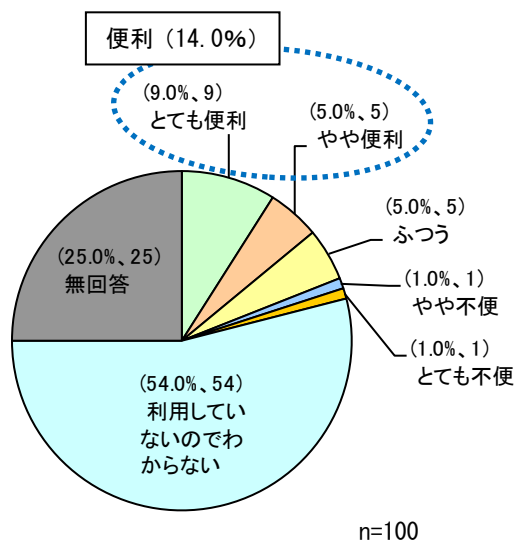
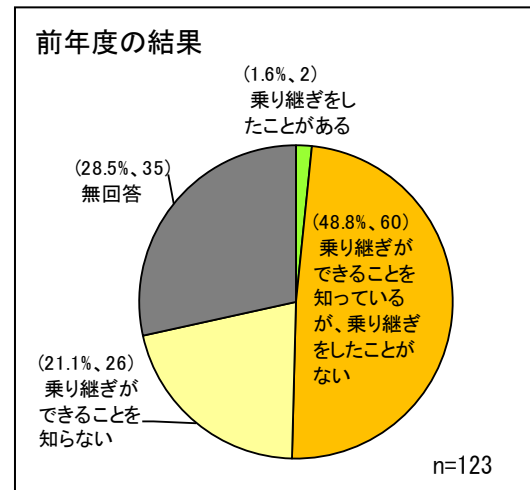
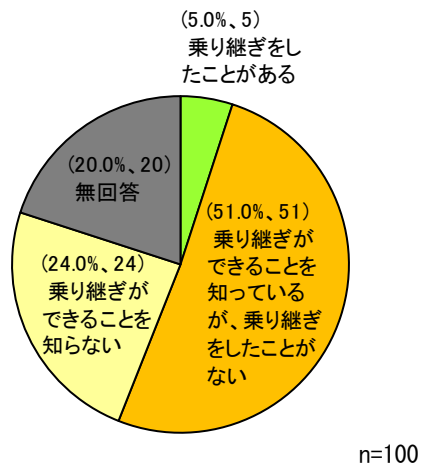
7)サイクル&バスライド駐輪場利用状況

- 「利用できることを知っていたが、利用したことはない」が35.0%と最も多くなっている。
- 昨年度と比較すると「利用できることを知らなかった」が増加している。



8) 東部ルート・の飛島公共交通バス蟹江線との乗り継ぎ

- 「乗り継ぎができることを知っているが、乗り継ぎをしたことがない」が 51.0%と最も多く、「乗り継ぎをしたことがある」は 5.0%となっている。
- 昨年度と比較すると「とても便利」と「やや便利」をあわせた「便利」が増加している。

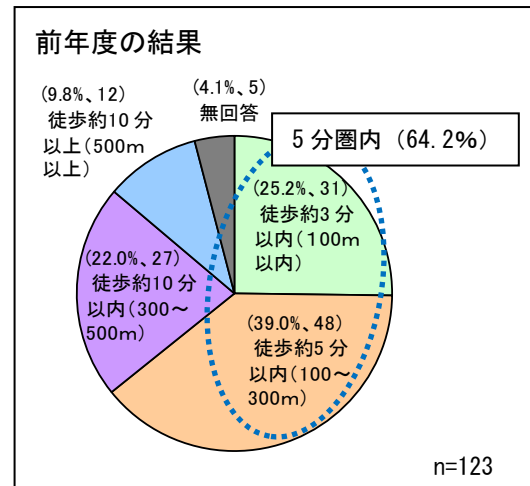
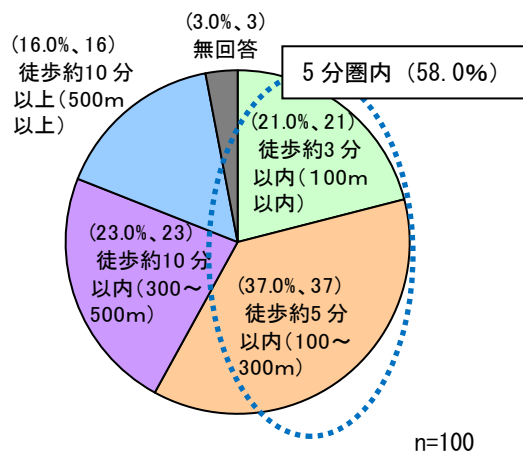


不便な理由	人数
乗り継ぎの方法が分からない	1
栄南学区から亀ヶ池まで乗って行くバスがない	1
計	2

n=2

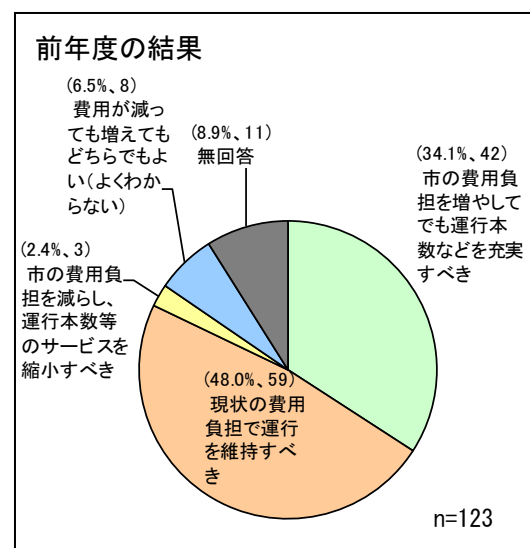
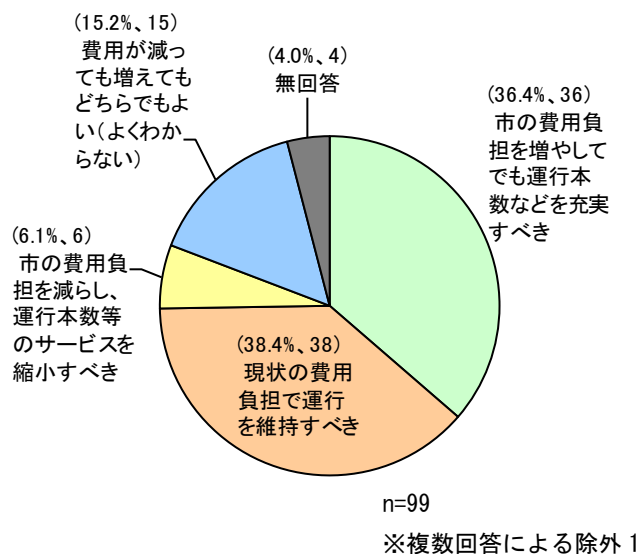
9)バス停までの距離

- 「徒歩約5分以内」が37.0%と最も多くなっており、「徒歩約3分以内」と「徒歩約5分以内」をあわせた「5分圏内」が58.0%と半数以上の方が比較的バス停に近い位置に居住している。
- 昨年度と比較すると「5分圏内」が減少し、それ以上の距離の方が増加している。



③今後のきんちゃんバスの運行維持について

- 運行費用と利便性のバランスは、「現状の費用負担で運行を維持すべき」が38.4%と最も多く、「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」も多くなっている。



3-5 タクシーの状況

3-5-1 タクシー事業者の状況

- 本市内には、シバタタクシーや名古屋近鉄タクシーのほか、介護タクシー事業者としてしんご福祉タクシーと弥栄福祉輸送が市中心部にあり、東部や南部地域にはタクシー事業者の営業所等はない。
- 愛知県全体の輸送実績は、車両数や実働率、実車 km など、すべての項目で減少傾向となっている。

弥富市内タクシー事業者



愛知県輸送実績

	車両数 (台)	実働率	実車km (千km)	延輸送回数 (千回)	旅客運賃収入 (千円)
平成26年度	2,358	77.5%	44,274	11,637	19,119,019
平成27年度	2,350	75.8%	43,353	11,358	18,939,460
平成28年度	2,337	74.1%	41,838	11,039	19,035,694
平成29年度	2,317	73.0%	41,236	10,859	18,728,381
平成30年度	2,305	71.3%	40,254	10,635	18,361,142

※資料：愛知県タクシー協会 HP

名古屋タクシー協会（西地区事業所）等加盟事業者

事業者名	所在地	車両			対応サービス						
		普通	大型	特大	身体	知的	高齢者	免返	幼児	プリカ	敬老
あんしんネット21	名古屋市 中村区、中川区	90	3	-	○	○	○	○	○	x	○
太陽交通	名古屋市 中村区	33	-	1	○	○	○	x	○	x	x
中央交通	名古屋市 中村区	66	-	-	○	○	○	○	○	x	○
名古屋近鉄タクシー	名古屋市 中村区	61	-	-	○	○	○	x	○	○	x
	蟹江町	47	-	-							
キリンタクシー	名古屋市 中川区	32	-	-	○	○	○	x	○	x	x
すみれタクシー	名古屋市 中川区	30	-	-	○	○	○	x	○	○	x
宝タクシー第三	名古屋市 中川区	71	-	-	○	○	○	x	○	x	x
東海交通	名古屋市 中川区	58	-	-	○	○	○	x	○	○	x
中川タクシー	名古屋市 中川区	44	-	-	○	○	○	x	○	○	x
	蟹江町	6									
あんしんネットあいち	名古屋市 中川区	42	-	-	○	○	○	○	○	x	○
名鉄交通第三	名古屋市 中川区	138	-	-	○	○	○	x	○	○	○
	名古屋市 中川区										
名鉄名古屋タクシー	名古屋市 中川区	82	-	-	○	○	○	x	○	○	○
日の丸タクシ	津島市	27	-	-	○	○	○	x	x	x	x
名鉄西部交通西部	津島市	24	-	-	○	○	○	○	○	○	x
玉利タクシー	愛西市	7	-	-	○	○	○	x	x	x	x
シバタタクシー	弥富市	28	-	-	○	○	○	x	○	○	x
いづみタクシー	あま市	17	-	-	○	○	○	x	○	x	x
太平交通	あま市	16	-	-	○	○	x	x	x	x	x
東海タクシー	あま市	6	-	-	○	○	x	x	○	x	x
第一フジタクシー	大治町	63	-	-	○	○	○	x	x	○	x
やすいタクシー	大治町	15	-	-	○	○	○	x	○	x	x
しんご福祉タクシー	弥富市				介護タクシー						
合同会社弥栄福祉輸送	弥富市				介護タクシー						

※資料：名古屋タクシー協会、日本福祉タクシー協会 HP 等

3-5-2 福祉タクシー料金助成事業

- 本市では障がい者や高齢者など1人で移動できないなどで移動に制約のある方を対象にタクシー料金助成事業を行っている。
- 介護が必要な高齢者や障がい者の自分で買い物に行きたいというニーズが多くあり、このようなニーズまでカバーするには現在の利用券交付枚数では不足するなど、日常の生活の移動を支え切れていない。
- 心身障がい者福祉タクシー料金助成事業の扶助額は減少傾向であるが、高齢者等福祉タクシー料金助成事業は増加傾向となっており、全体でも増加している。

心身障がい者福祉タクシー料金助成事業の概要

目的	・心身障がい者(児)が日常生活を容易に行うためにタクシーを利用する場合、その料金の一部を助成し、福祉の増進を図る。				
対象者	・1級から3級までの身体障がい者手帳を有する者(児) ・A判定又はB判定の療育手帳を有する者(児) ・1級又は2級の精神障がい者保健福祉手帳を有する者(児) ※平成24年より自動車税・軽自動車税の減免を受けている者については交付対象外				
利用券交付枚数	年間 48 枚				
	区分		利用可能枚数	助成額	
助成額	一般タクシー		1回の乗車につき2枚まで	1枚目:基本料金(障がい者割引分を控除した額)及び迎車回送料金 2枚目:基本料金(障がい者割引分を控除した額)相当分以内	
	リフト付き タクシー等	車いす ストレッチャー	1回の乗車につき1枚	1,500 円 2,000 円	ただし、実際に要した額がそれぞれに満たないときは、実際に要した額

高齢者等福祉タクシー料金助成事業の概要

目的	・要介護高齢者等が医療機関に通院するためにタクシーを利用する場合、利用券1枚につき基本料金及び迎車回送料金を助成し、福祉の増進を図る。
対象者	・市内に住所を有し、介護保険法の要介護認定・要支援認定を受けた在宅の方または基本チェックリストでサービスが必要と認められた方 ・75歳以上の運転経歴証明書などの交付を受けた方(交付を受けた日の属する年度から翌々年度の末日まで対象)
利用券交付枚数	・年間 36 枚
助成額	・要介護高齢者などが外出の際にタクシーを利用する場合、利用券1枚につき基本料金及びお迎え料金を助成

料金助成事業の利用状況

	心身障がい者福祉タクシー助成事業		高齢者福祉タクシー料金助成事業		計	
	利用枚数	扶助費(千円)	利用枚数	扶助費(千円)	利用枚数	扶助費(千円)
平成26年度	9,448	6,440	6,431	4,372	15,879	10,813
平成27年度	9,528	6,335	6,516	4,427	16,044	10,762
平成28年度	9,504	6,187	7,350	4,946	16,854	11,133
平成29年度	8,975	5,626	7,570	4,712	16,545	10,338
平成30年度	9,325	5,601	10,347	6,404	19,672	12,005

4. 住民意向等の把握

4-1 住民アンケート

4-1-1 調査概要

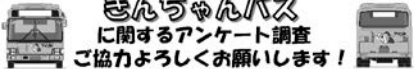
- 住民の日常的な移動特性や公共交通に対する利用意向、評価を把握し、弥富市地域公共交通網形成計画見直しの基礎資料とするため、住民アンケートを実施した。
- 調査は、市内在住 15 歳以上から 2,000 名を無作為抽出し、郵送発送、回収する方式で行った。
- 回収状況は下表の通りである。

住民アンケート概要

対象	市内在住 15 歳以上:2,000 名
配布期間	令和元年 8 月 9 日(金)発送 ~ 8 月 30 日(金)投函期限
回収数	828 通(回収率:41.4%)

- なお、案内文のうら面には、きんちゃんバスの利用促進を図るために、定期券等の情報のほか、同時期に実施していた無料お試し乗車券の情報も掲載した。

案内文（左：おもて面、右：うら面）



**きんちゃんバス
に関するアンケート調査
ご協力よろしくお願いします！**

令和元年 8 月
弥富市地域公共交通活性化協議会
会長 安藤正明

平成 22 年 6 月から実施運行を開始した「きんちゃんバス」は、これまでに実施したアンケート調査の結果や利用状況を踏まえた改善を繰り返して、利用者も増加傾向になるなど、より身近で使いやすいコミュニティバスへと成長しつつあります。そのような中、平成 28 年 3 月に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」の目標年が令和 2 年度となっており、次のステップへと向けて動き出す必要があります。

そこで、この「弥富市地域公共交通網形成計画」の見直し検討を行うための基礎資料とするためにアンケート調査を実施させていただきます。

つきましては、皆様には、おにしいところを誠に恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、是非ともご協力いただきますようお願いいたします。

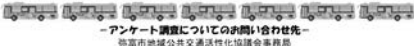
なお、回答していただいた事項については、すべて統計的に処理しますので、個人が特定されるような内容は一切公表いたしません。また、ご回答いただいた調査票は、この目的以外には使用いたしません。

1. 調査対象者 弥富市在住の 15 歳以上の方 2. 〇〇〇人（無作為抽出）

2. アンケート回収 **8 月 30 日(金)**までに宛封の返送用封筒に入れ、ご郵送いただくか、下記の問い合わせ先までご持参ください。

■ 記入上のご注意

- 記入にあたっては、本人のほか家族・知人による代筆でも結構です。
- 回答は、該当する番号に〇印をつけてください。質問によっては一つだけ選ぶものや複数を選ぶものがありますので、指示に従ってください。
- () には、数字や文字をご記入ください。



— アンケート調査についてのお願い —
弥富市地域公共交通活性化協議会事務局
(弥富市役所 危機管理課)
TEL: (0567) 65-1111 内線 363
FAX: (0567) 67-4011

**令和元年 8 月～9 月の 2 ヶ月間
無料お試し乗車券が利用できます！**

● 広報やとみ 7 月号と一緒に、全世帯に無料お試し乗車券を配布しています。

● うら面のアンケートにお答えいただいた無料お試し乗車券を、降車時に運転手にお渡しください。無料できんちゃんバスをご利用になります。

● この機会にきんちゃんバスをお試しください！

おもて面 うら面

かならずうら面のアンケートに答えてね！

お得な回数券・定期券・シルバーバスを販売しています！

回数券		
乗 車 人 数	枚 数	料 金 等
大 人	12 枚	2,000 円
高校生以下・障がい者	12 枚	1,000 円

● 回数券や定期券、シルバーバスを活用して、お得にきんちゃんバスを利用してみませんか！

● 詳しい内容や発券手続きについて知りたい方は、おもて面の問い合わせ先までご連絡ください。

1) 定期乗車券

乗 車 人 数	枚 数	料 金 等
大 人	1ヶ月	6,000 円
	3ヶ月	17,100 円
	6ヶ月	32,400 円
高校生以下・障がい者	1ヶ月	3,000 円
	3ヶ月	8,600 円
	6ヶ月	16,200 円

2) シルバーバス (65 歳以上)

乗 車 人 数	枚 数	料 金 等
シルバーバス	1ヶ月	3,000 円
	3ヶ月	8,400 円
	6ヶ月	16,200 円

きんちゃんバスをご利用の際にも市内 6 施設の駐輪場を利用することができます！

① 総合福祉センター
② 白鳥コミュニティセンター
③ 十四山総合福祉センター
④ 十四山支所
⑤ 鍋田支所
⑥ 南部コミュニティセンター

この標識が目印



きんちゃんバスをご利用の際は、この標識が目印です。

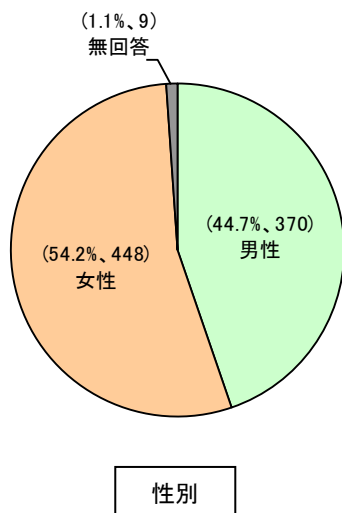
75

[illegible]

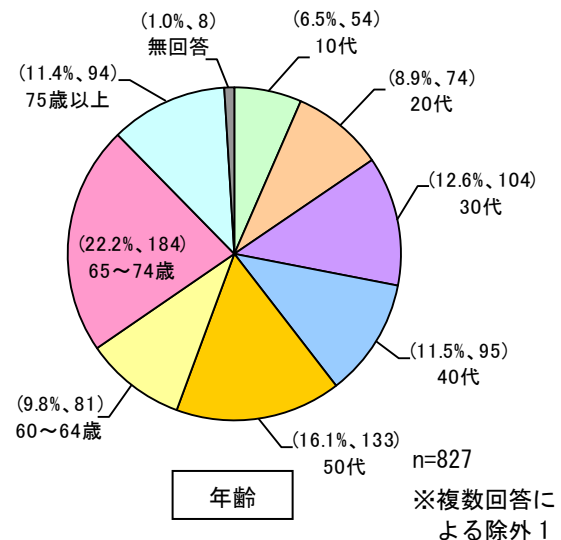
4-1-2 調査結果

(1)属性

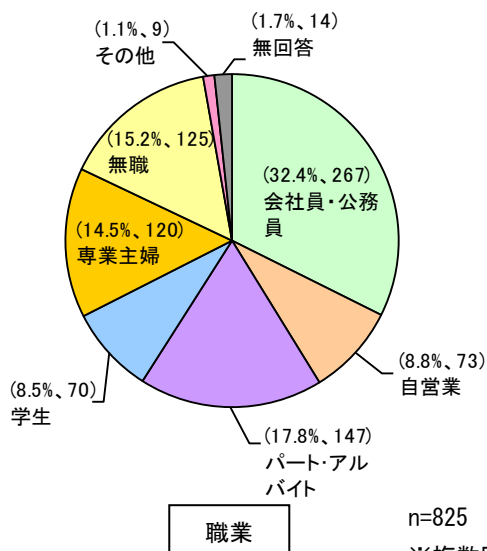
- 「女性」が54.2%と最も多くなっている。
- 「65～74歳」が22.2%と最も多く、次いで「50代」が多くなっている。
- 「会社員・公務員」が32.4%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」が多くなっている。
- 「弥生小学校区」が15.7%と最も多く、次いで「日の出小学校区」が多くなっている。



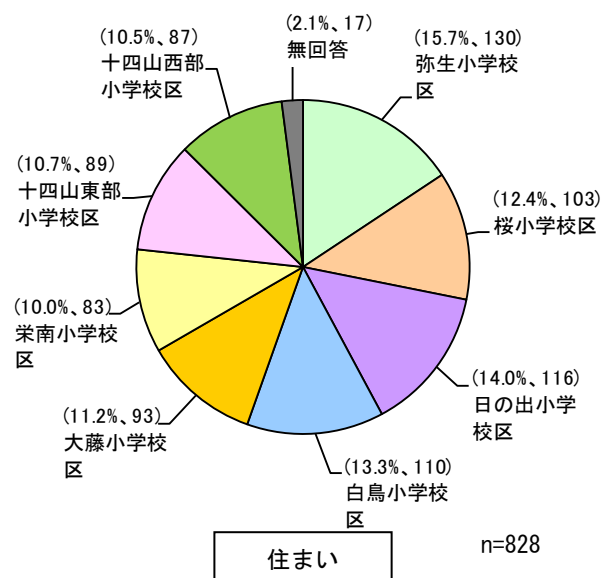
n=827
※複数回答による除外1



n=827
※複数回答による除外1



n=825
※複数回答による除外3

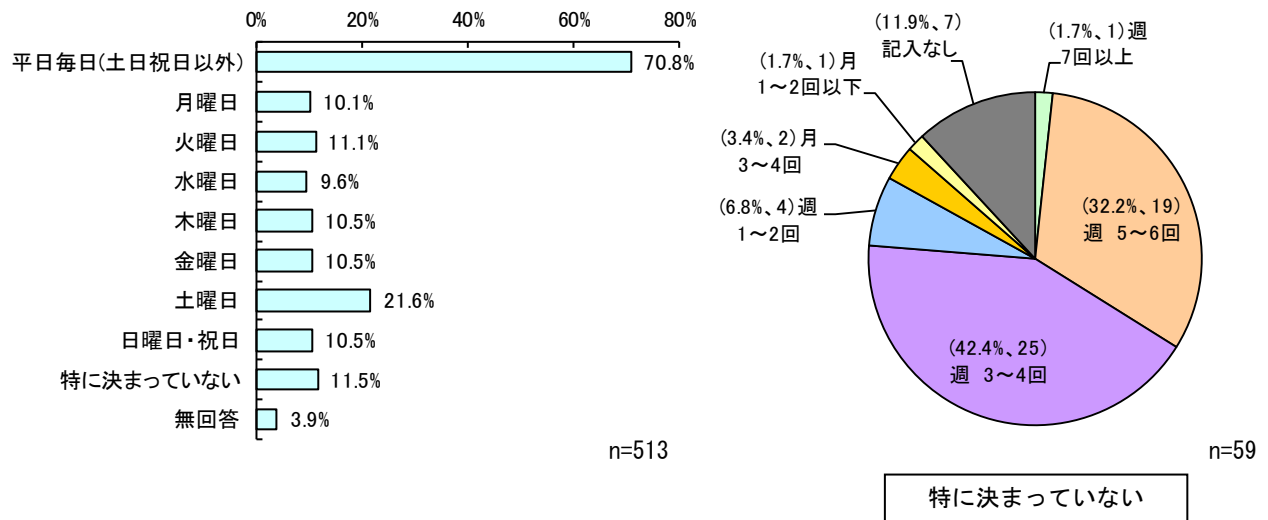


n=828

(2)通勤・通学する場合の外出について(習い事も含む)

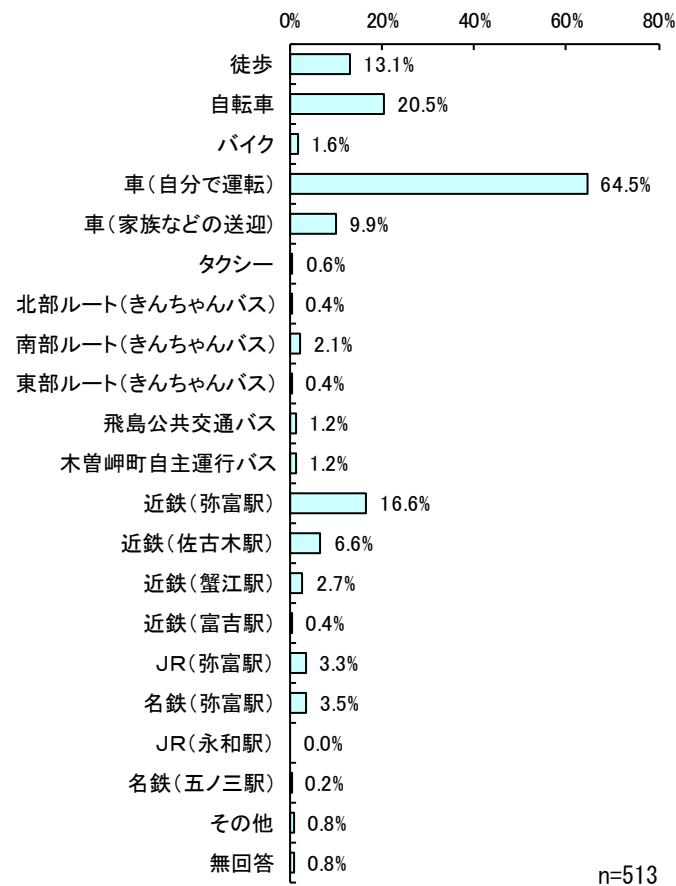
①通勤・通学する場合の曜日

- 「平日毎日」が70.8%と最も多く、次いで「土曜日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「週3～4回」が42.4%と最も多く、次いで「週5～6回」が多くなっている。



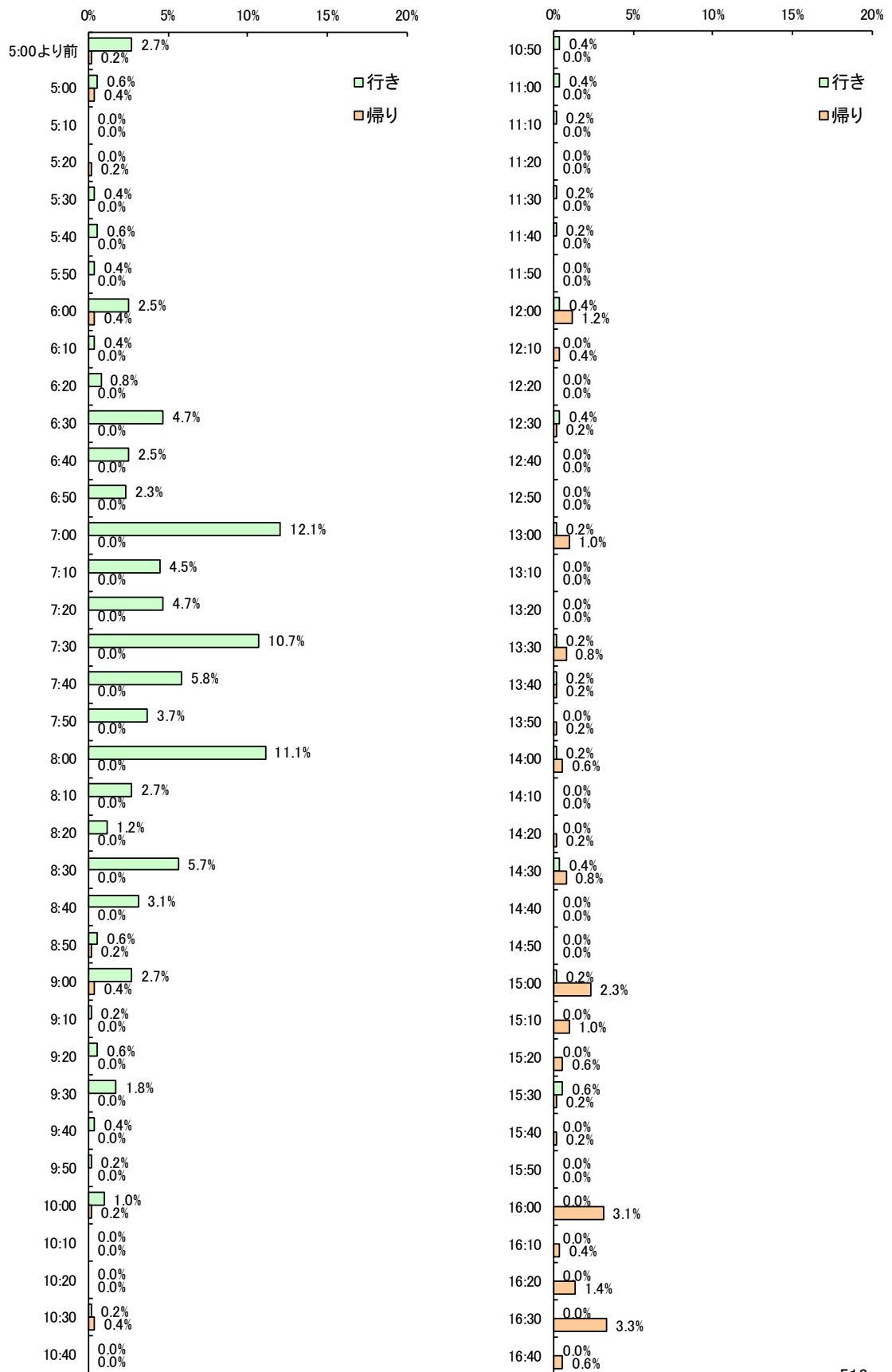
②通勤・通学する場合の主な交通機関

- 「車(自分で運転)」が64.5%と最も多く、次いで「自転車」が多くなっている。

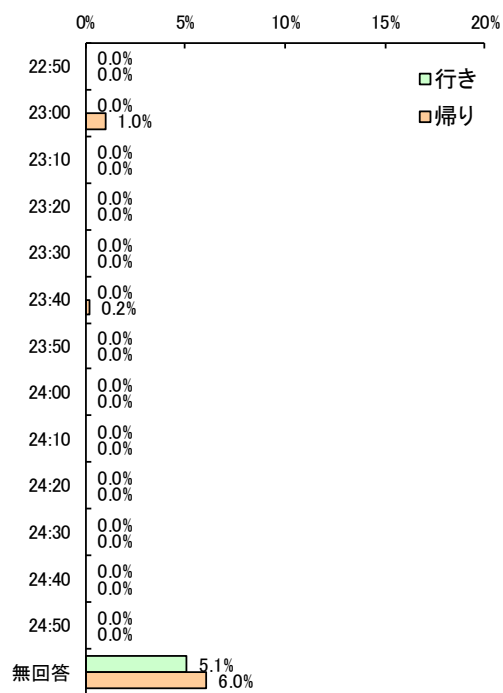
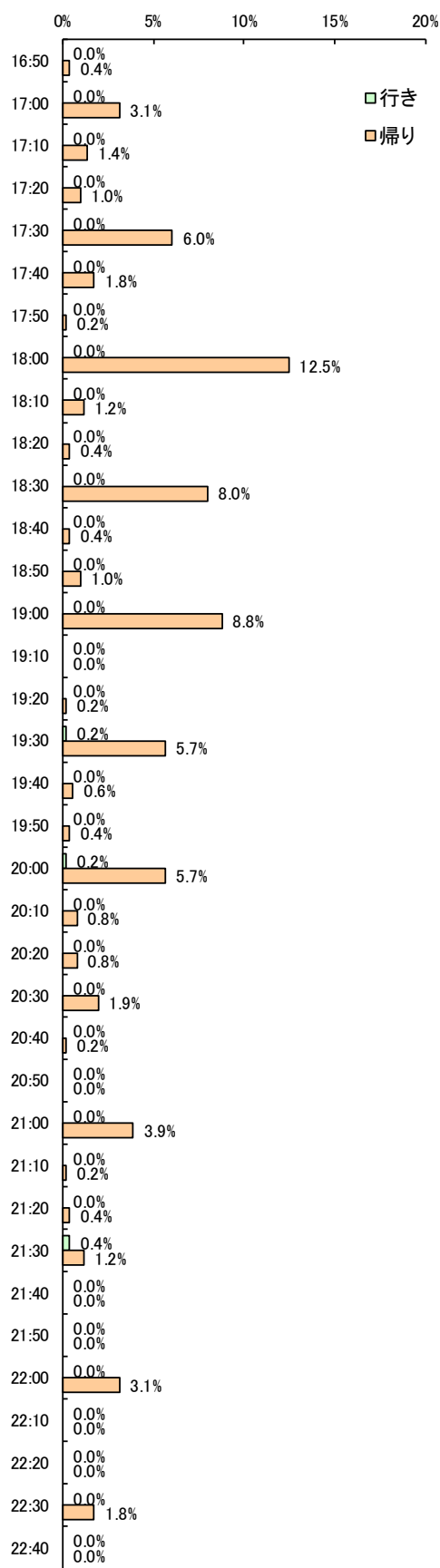


③通勤・通学する場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「7:00」が12.1%と最も多く、次いで「8:00」が多くなっている。
- 帰りは「18:00」が12.5%と最も多く、次いで「19:00」が多くなっている。



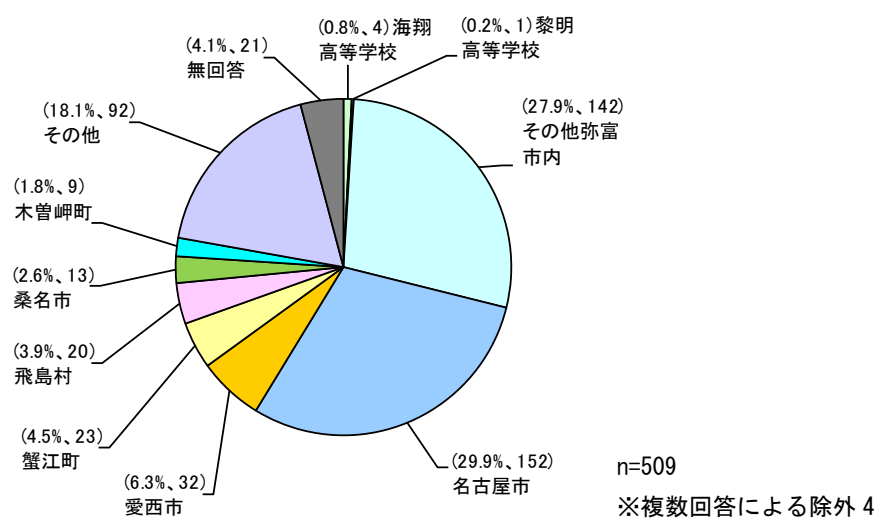
n=513



n=513

④通勤・通学先の場所・住所

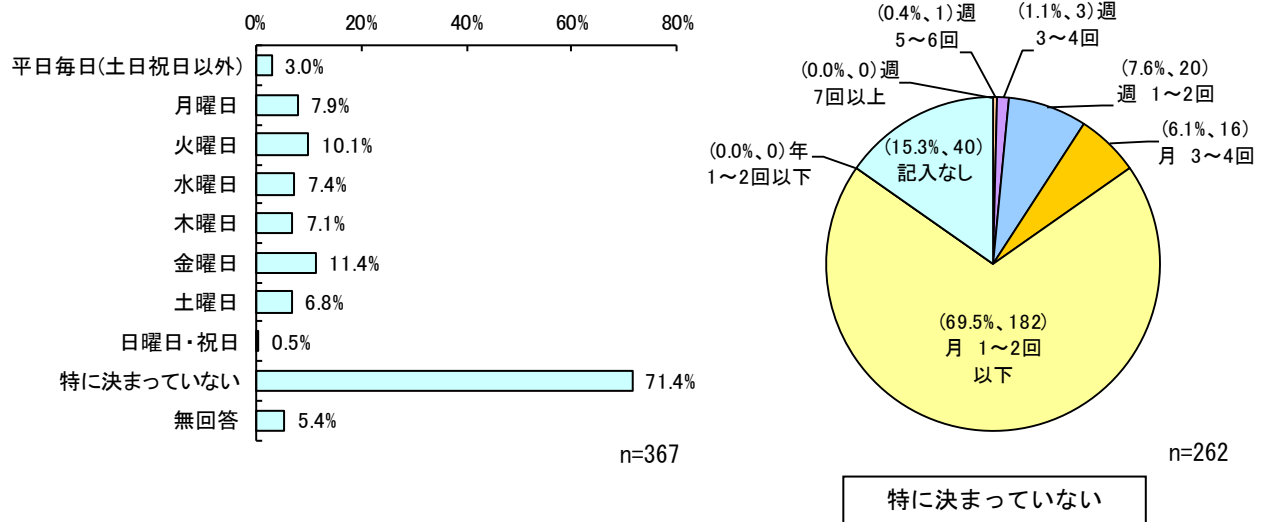
- 「名古屋市」が 29.9%と最も多く、次いで「その他弥富市内」が多くなっている。



(3)通院する場合の外出について

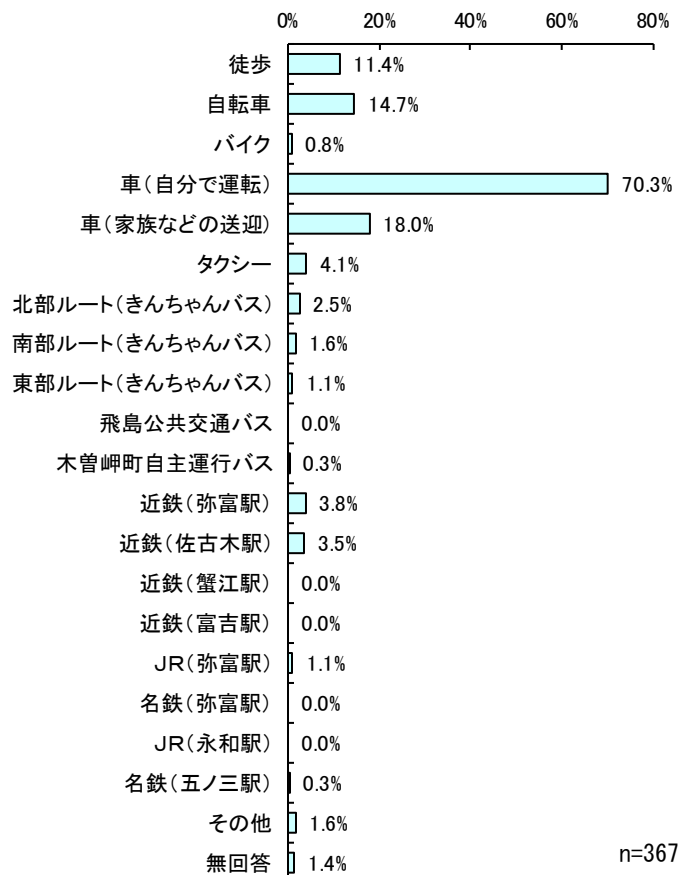
①通院する場合の主な曜日

- 「特に決まっていない」が71.4%と最も多く、次いで「金曜日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「月1～2回以下」が最も多く、次いで「週1～2回」が多くなっている。



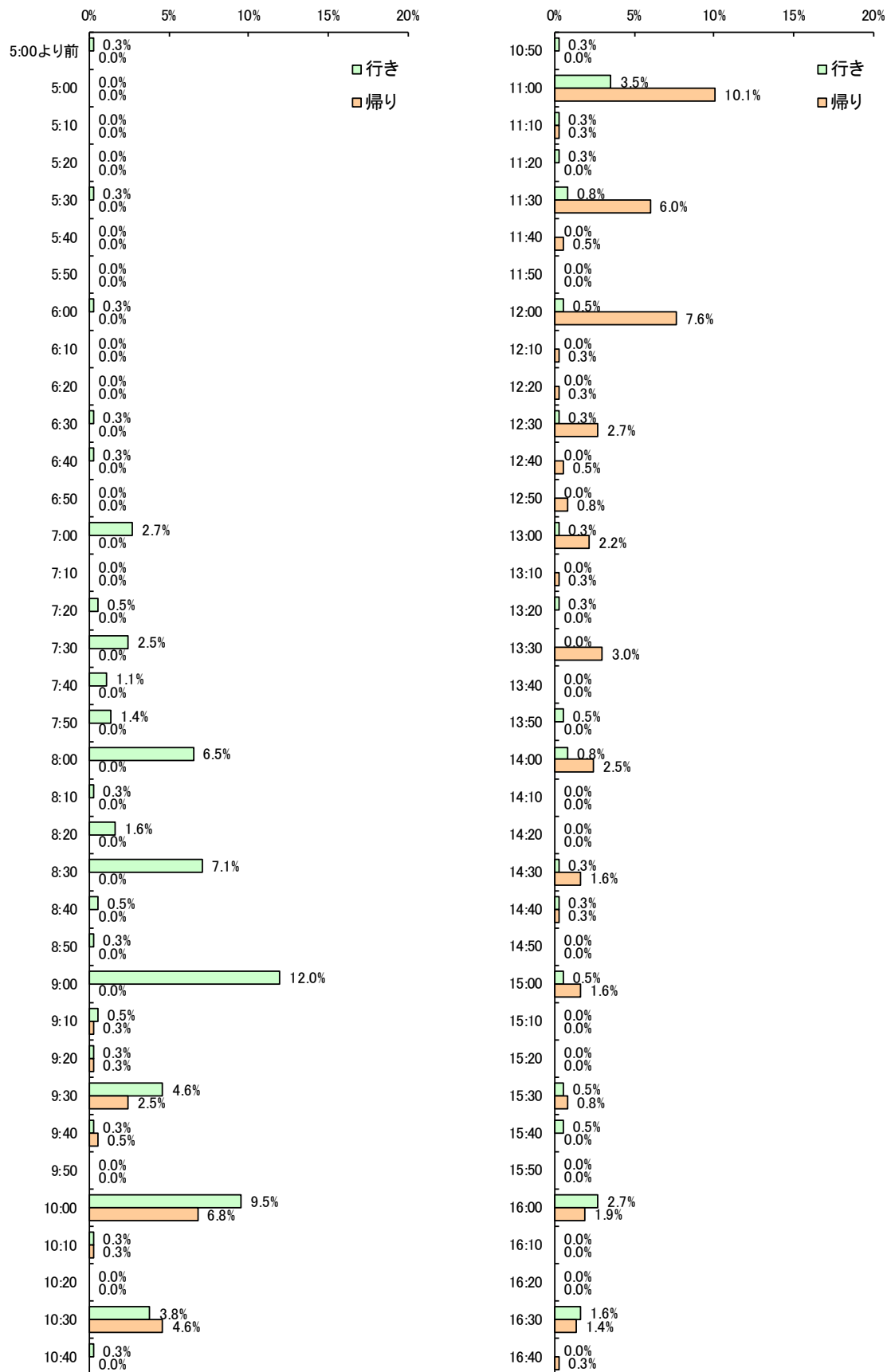
②通院する場合の主な交通機関

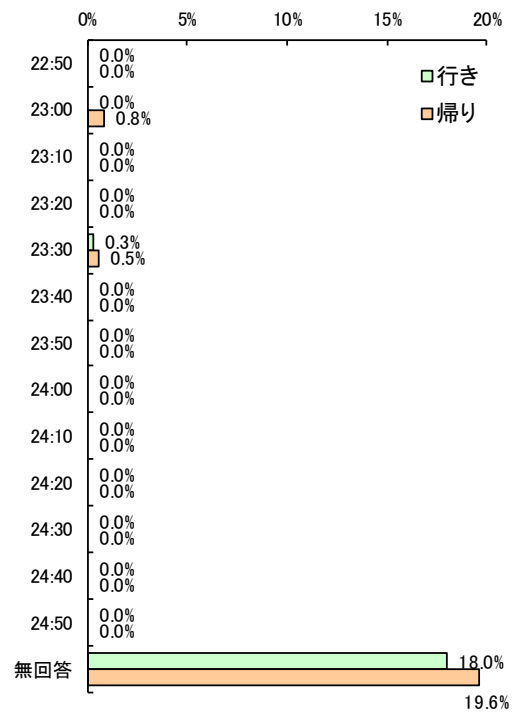
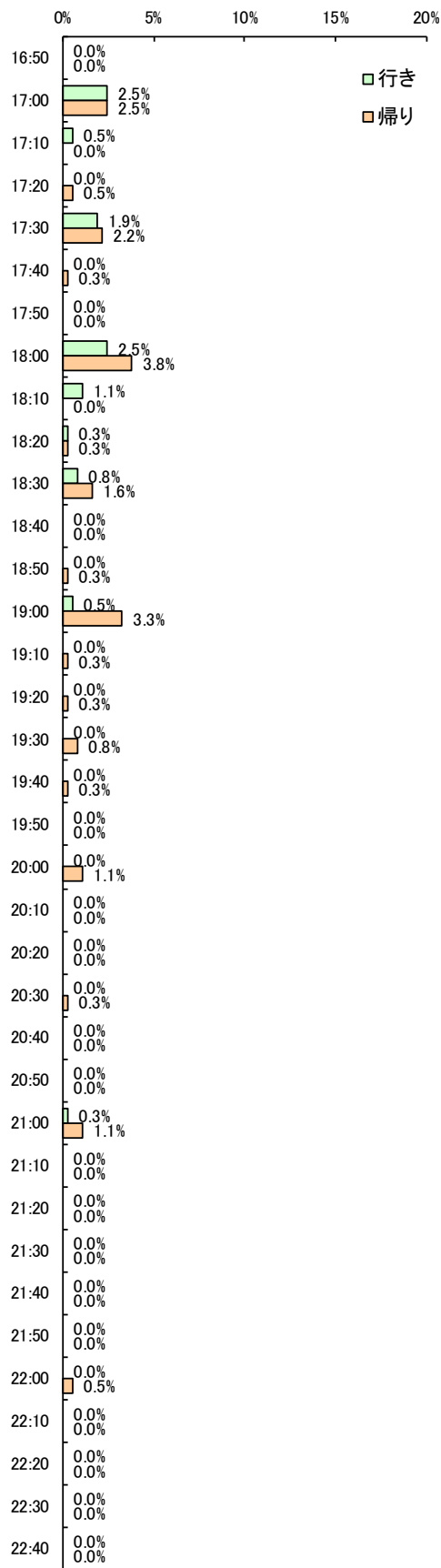
- 「車(自分で運転)」が70.3%と最も多く、次いで「車(家族などの送迎)」が多くなっている。



③通院する場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「9:00」が12.0%と最も多く、次いで「10:00」が多くなっている。
- 帰りは「11:00」が10.1%と最も多く、次いで「12:00」が多くなっている。

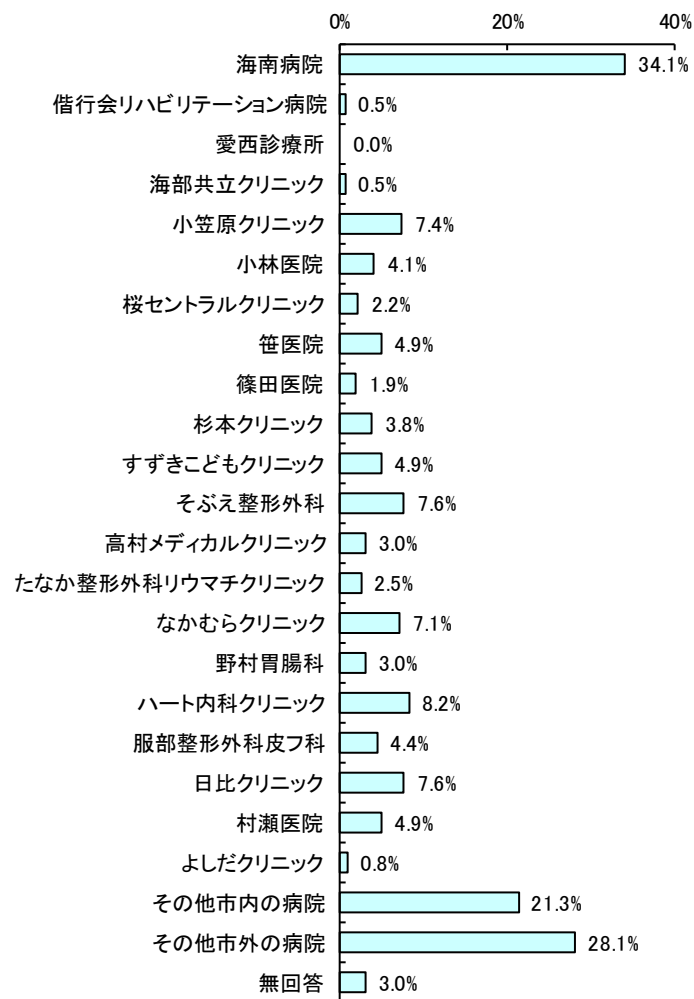




n=367

④通院する場合の主な目的地

- 「海南病院」が 34.1%と最も多く、次いで「その他市外の病院」が多くなっている。

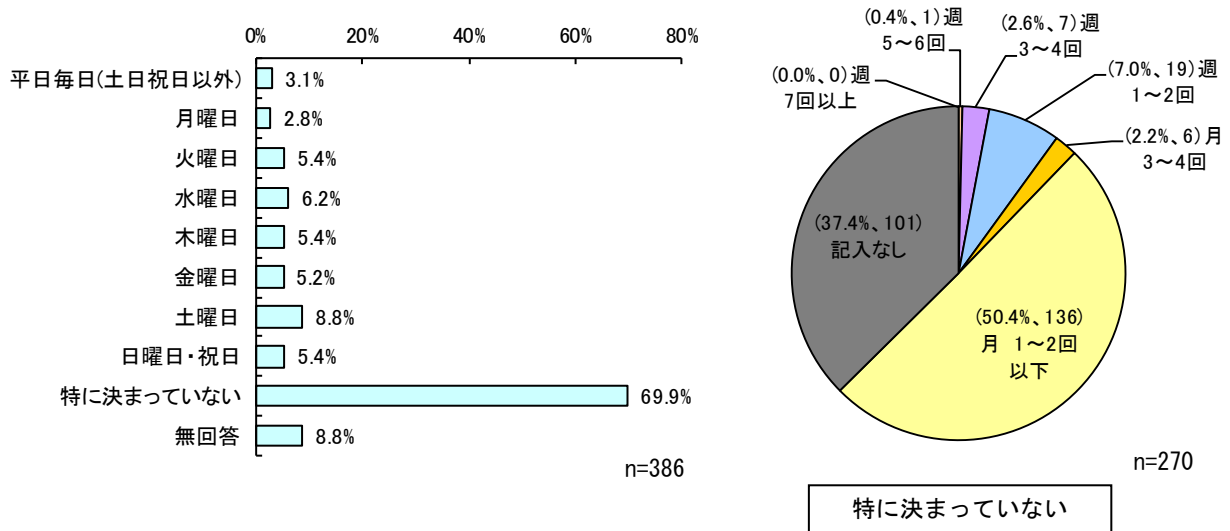


n=367

(4) 公共施設に行く場合の外出について(市役所、総合福祉センターなど)

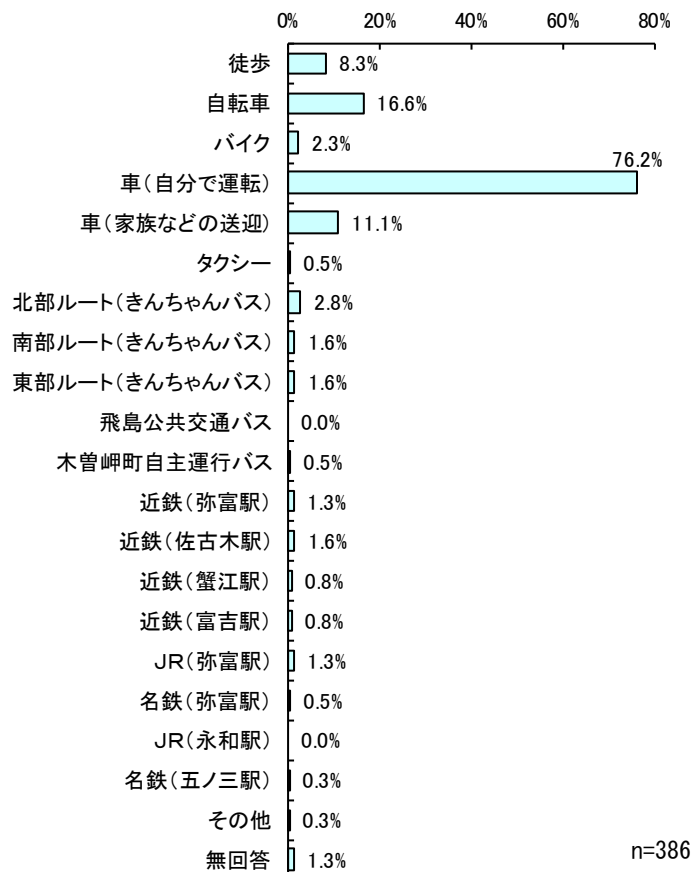
① 公共施設に行く場合の主な曜日

- 「特に決まっていない」が69.9%と最も多く、次いで「土曜日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「月1～2回以下」が50.4%と最も多く、次いで「週1～2回」が多くなっている。



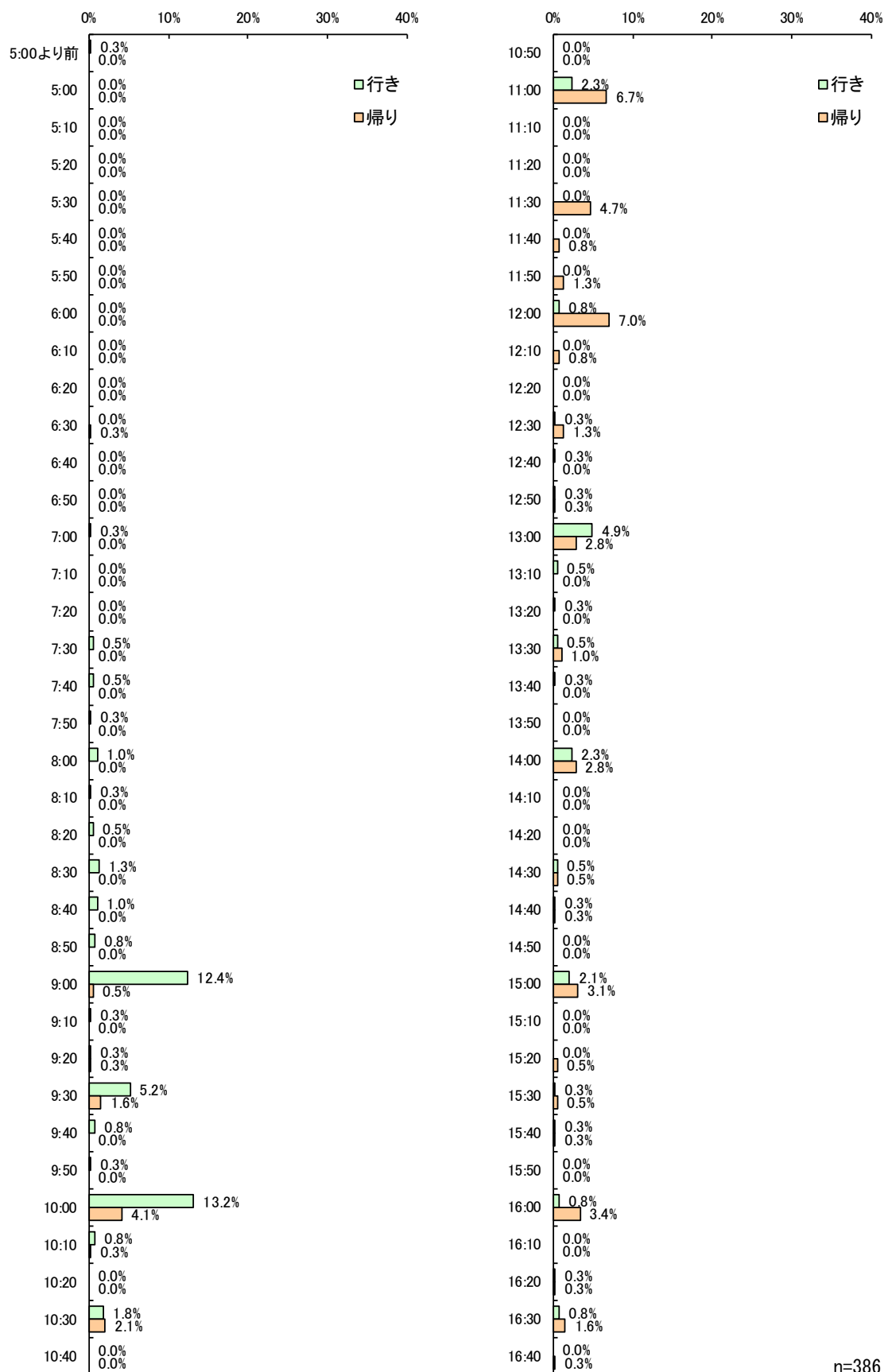
② 公共施設に行く場合の主な交通機関

- 「車(自分で運転)」が76.2%と最も多く、次いで「自転車」が多くなっている。

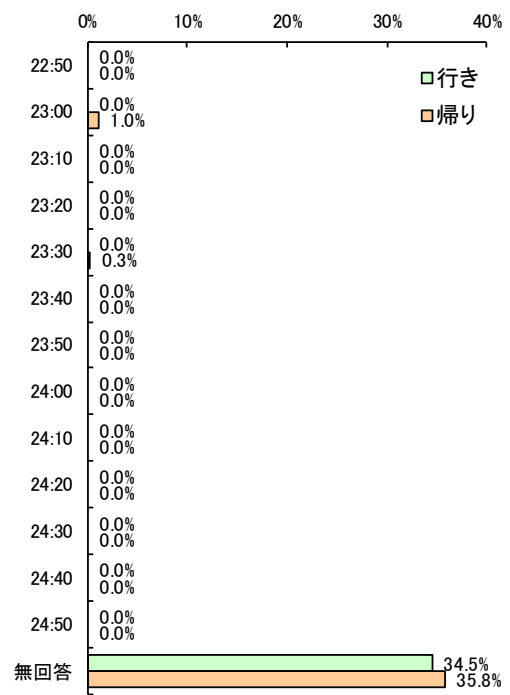
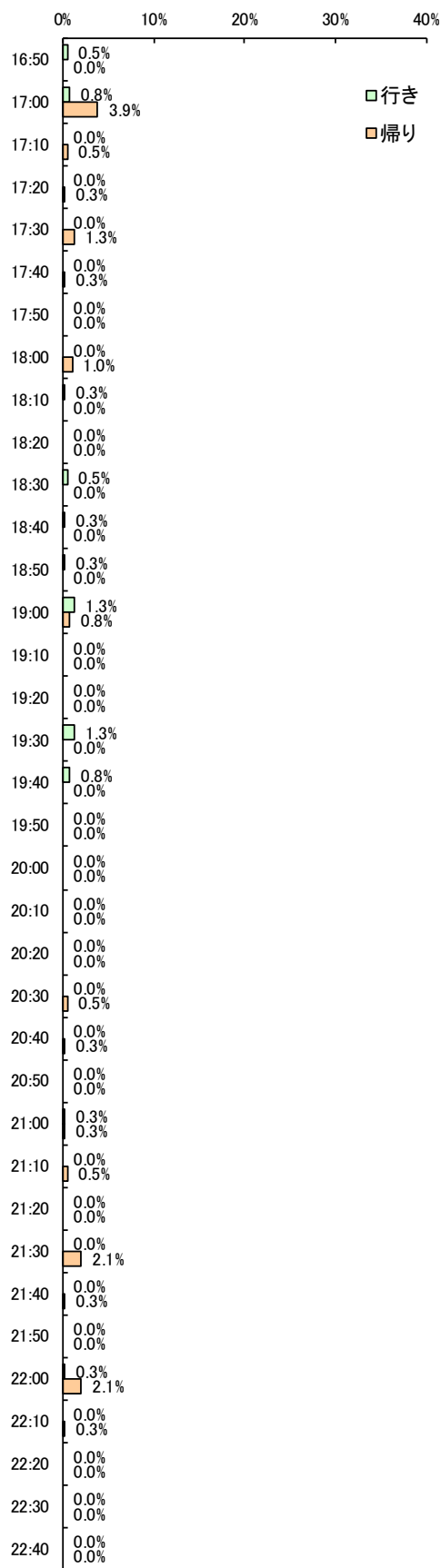


③公共施設に行く場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「10:00」が13.2%と最も多く、次いで「9:00」が多くなっている。
- 帰りは「12:00」が7.0%と最も多く、次いで「11:00」が多くなっている。



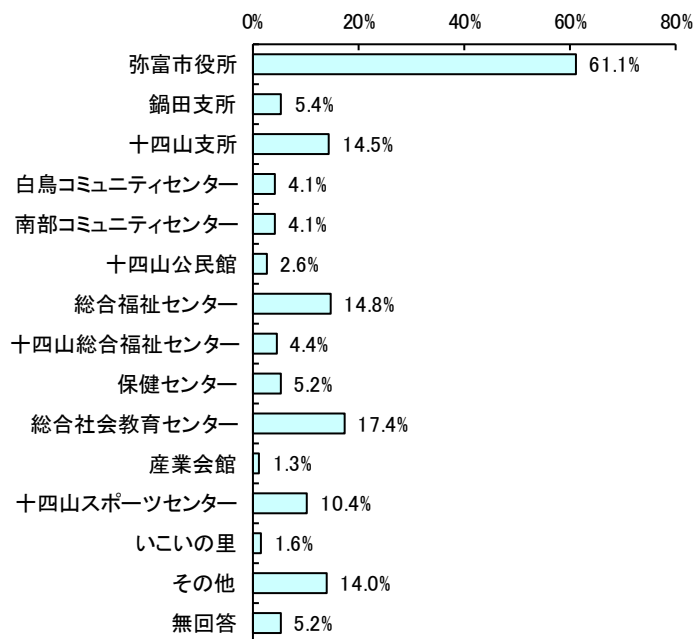
n=386



n=386

④公共施設に行く場合の主な目的地

- 「弥富市役所」が 61.1%と最も多く、次いで「総合社会教育センター」が多くなっている。

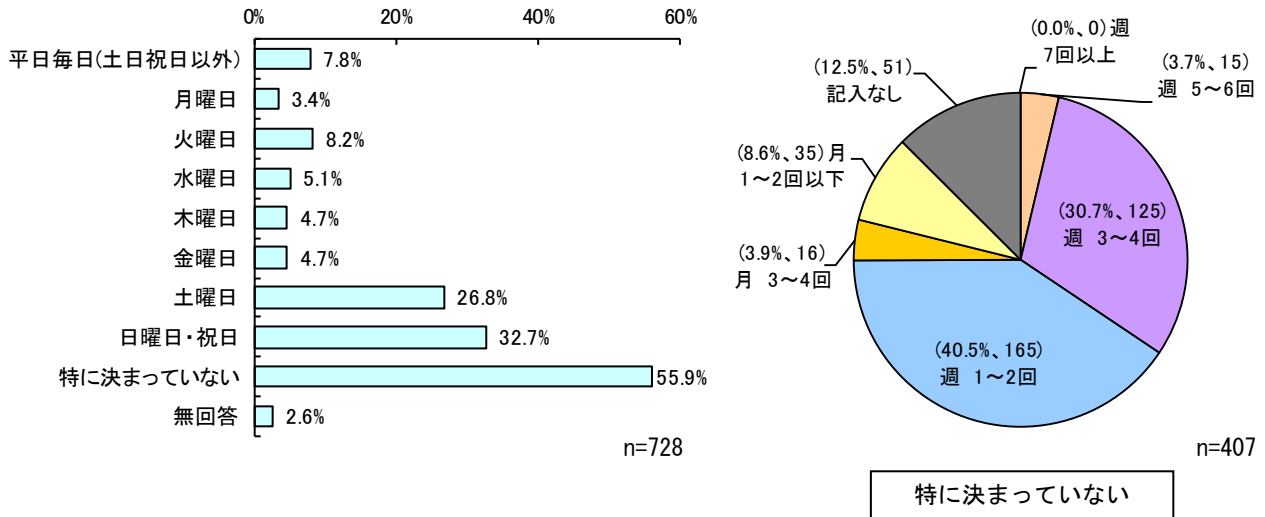


n=386

(5) 買い物する場合の外出について(外出など余暇や娯楽目的の外出も含む)

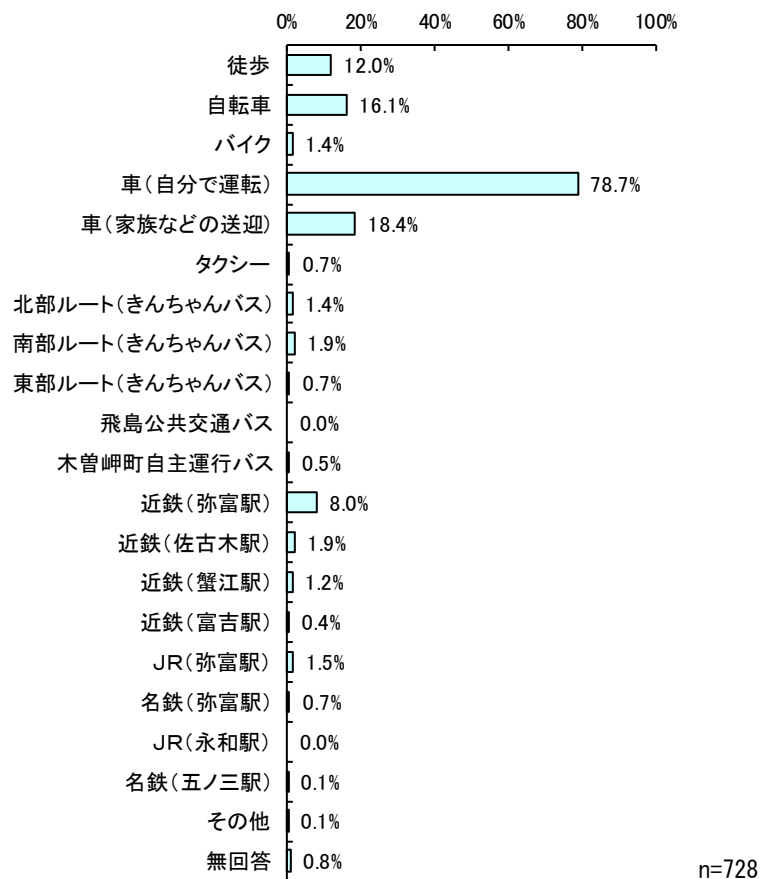
① 買い物する場合の主な曜日

- 「特に決まっていない」が55.9%と最も多く、次いで「日曜日・祝日」が多くなっている。
- 「特に決まっていない」では、「週1～2回」が40.5%と最も多く、次いで「週3～4回」が多くなっている。



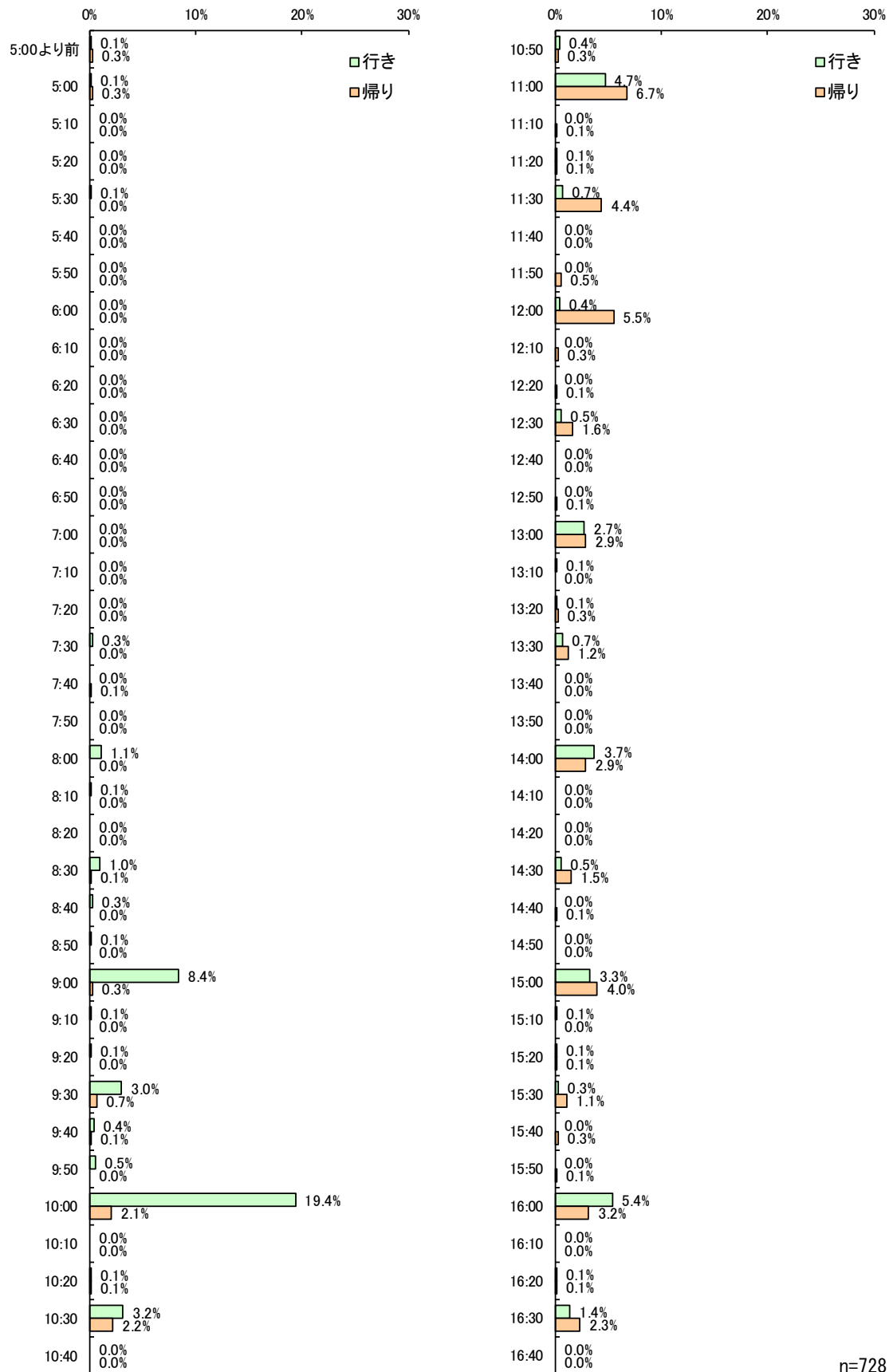
② 買い物する場合の主な交通機関

- 「車(自分で運転)」が78.7%と最も多く、次いで「車(家族などの送迎)」が多くなっている。

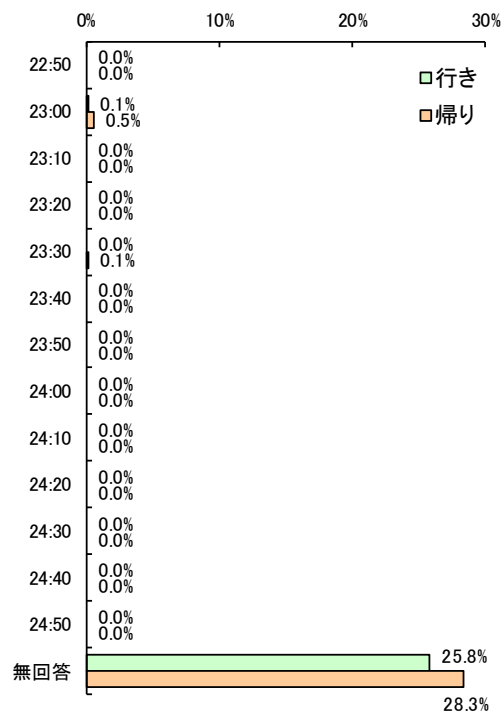
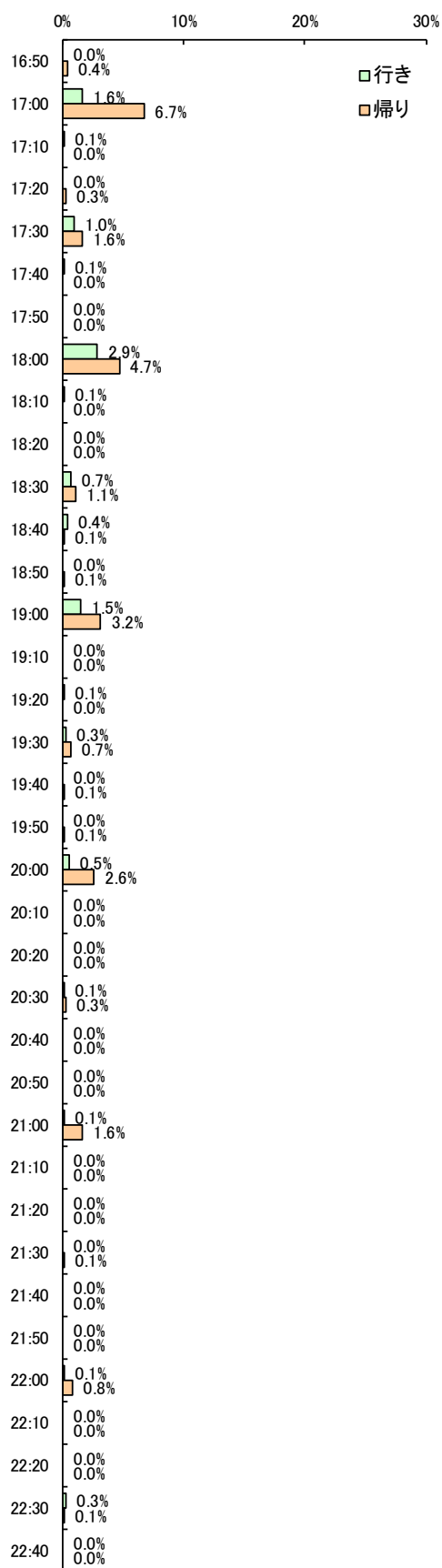


③買い物する場合の主な出発・帰宅時刻

- 行きは「10:00」が19.4%と最も多く、次いで「9:00」が多くなっている。
- 帰りは「11:00」「17:00」が6.7%と最も多く、次いで「12:00」が多くなっている。



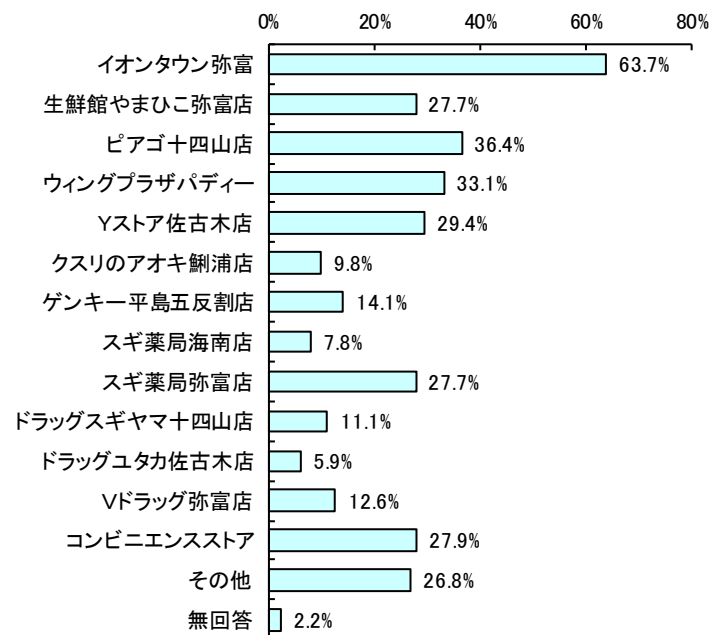
n=728



n=728

④ 買い物する場合の主な目的地

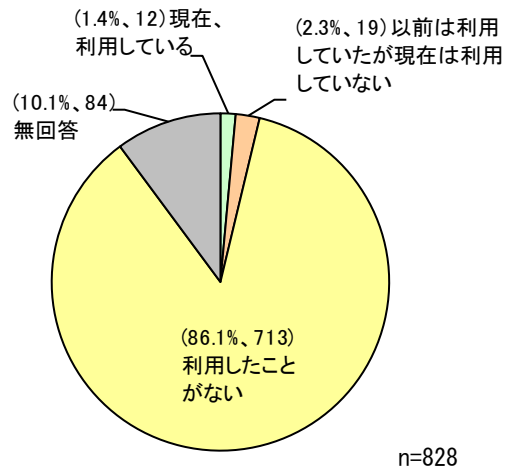
- 「イオンタウン弥富」が 63.7%と最も多く、次いで「ピアゴ十四山店」が多くなっている。



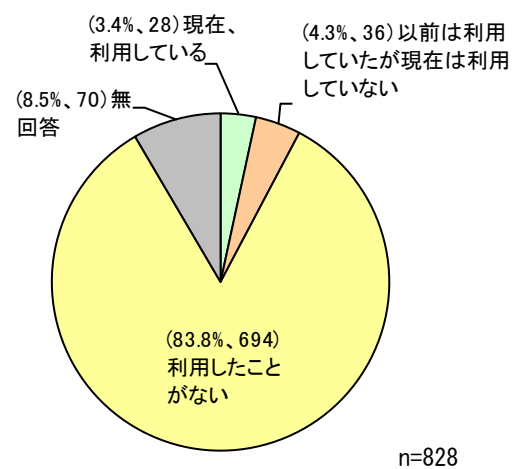
n=728

(6)現在のきんちゃんバスの利用状況

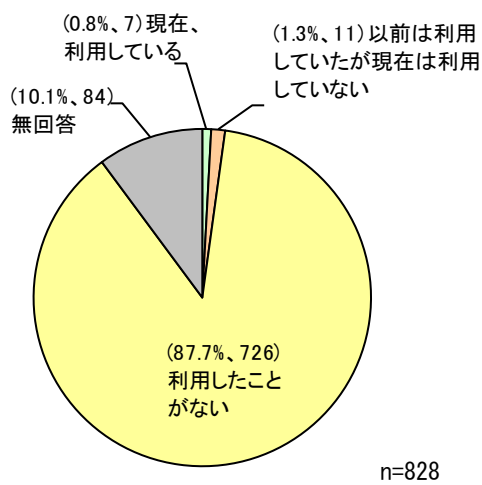
- 各ルート共に「利用したことがない」が最も多く、次いで「以前は利用していたが現在は利用していない」が多くなっている。



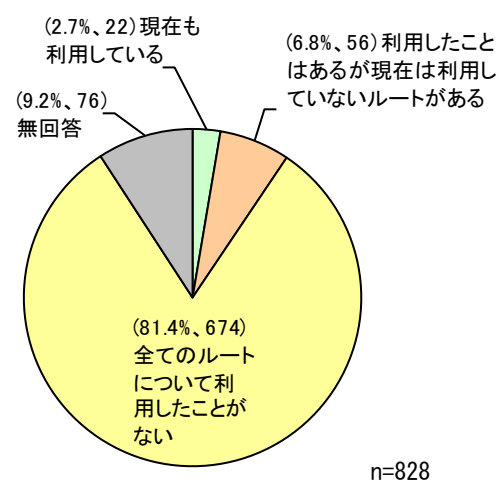
北部ルート



南部ルート



東部ルート

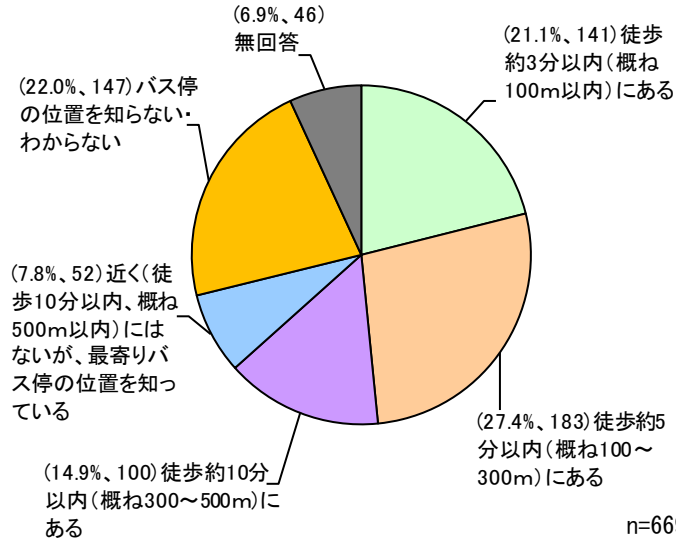


3ルート全体

(7)すべてのルートについて、利用したことがない方

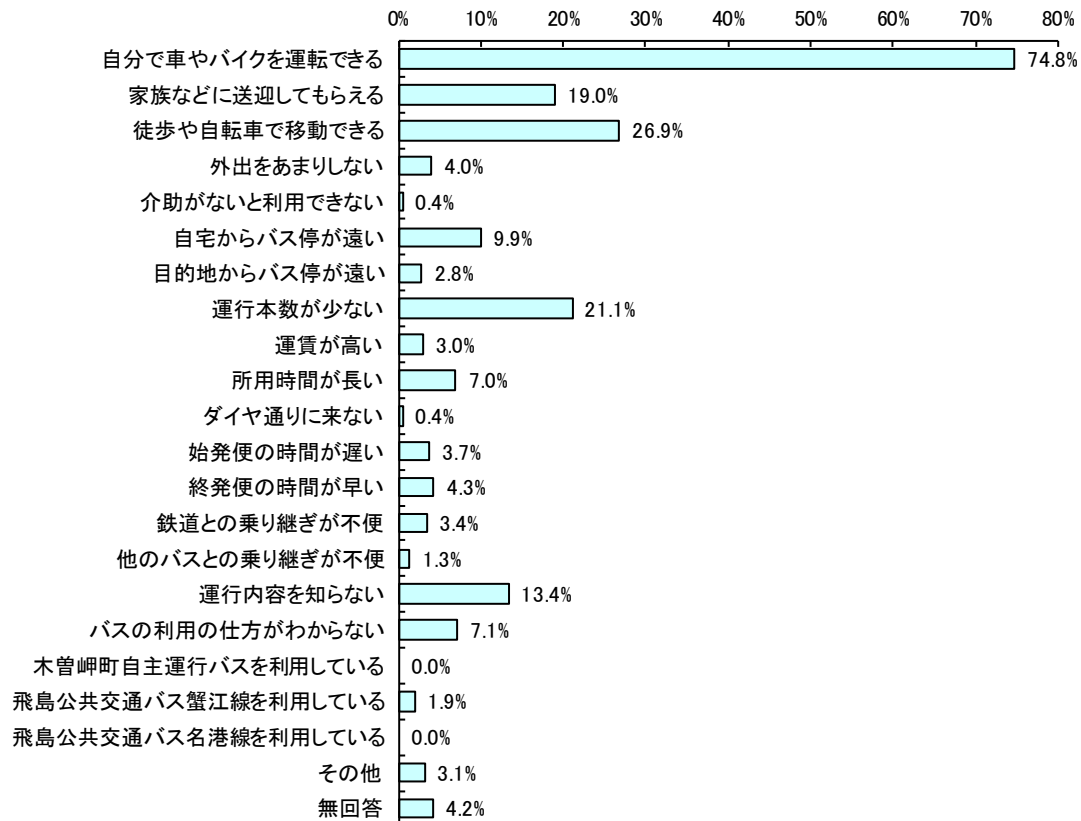
①きんちゃんバスの自宅最寄りバス停の位置

- 「徒歩約 5 分以内（概ね 100～300m）にある」が 27.4%と最も多く、次いで「バス停の位置を知らない・わからない」が多くなっている。



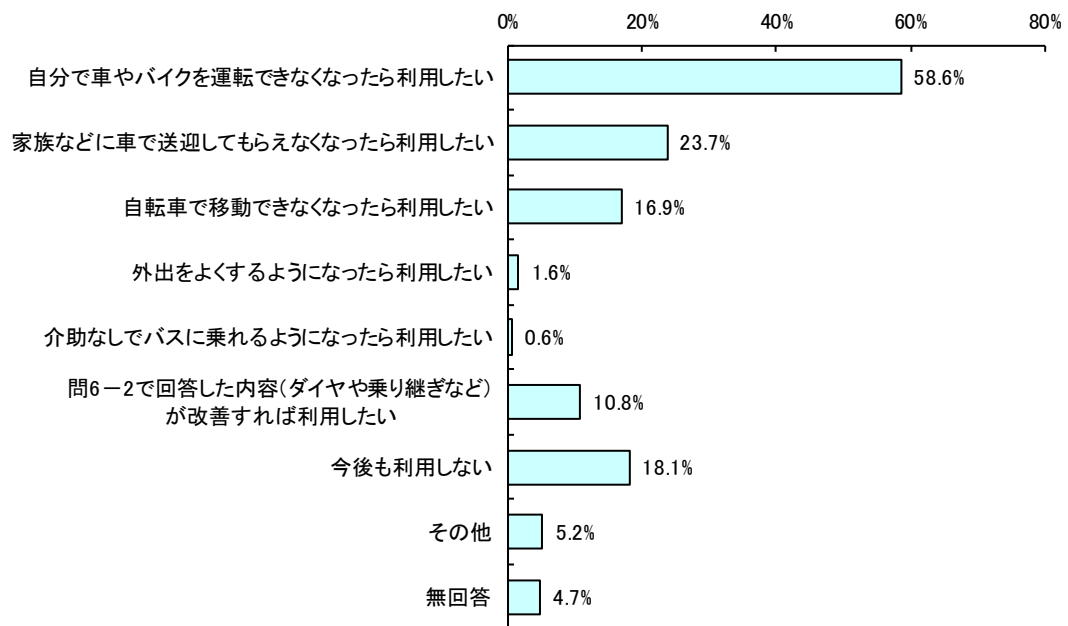
②きんちゃんバスを利用しない理由

- 「自分で車やバイクを運転できる」が 74.8%と最も多く、次いで「徒歩や自転車で移動できる」が多くなっている。



③今後の利用意向

- 「自分で車やバイクを運転できなくなったら利用したい」が 58.6%と最も多く、次いで「家族などに車で送迎してもらえなくなったら利用したい」が多くなっている。

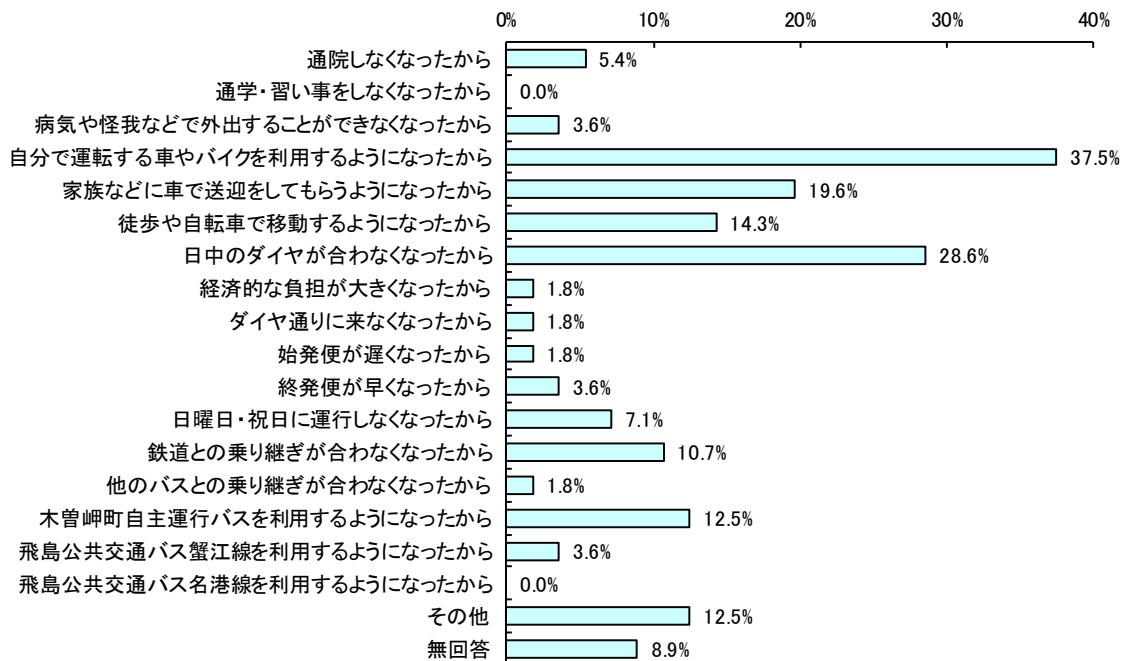


n=674

(8)過去に利用したことはあるが、1年以内に利用していないルートがある方

①利用しなくなった理由

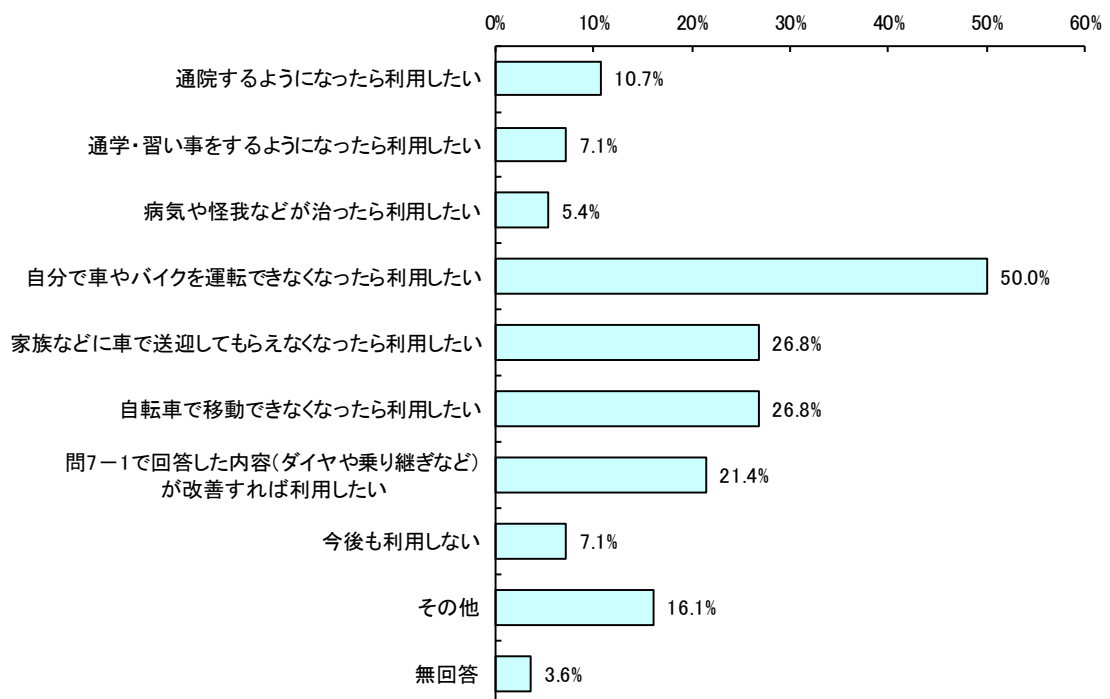
- 「自分で運転する車やバイクを利用するようになったから」が37.5%と最も多く、次いで「日中のダイヤが合わなくなったから」が多くなっている。



n=56

②今後の利用意向

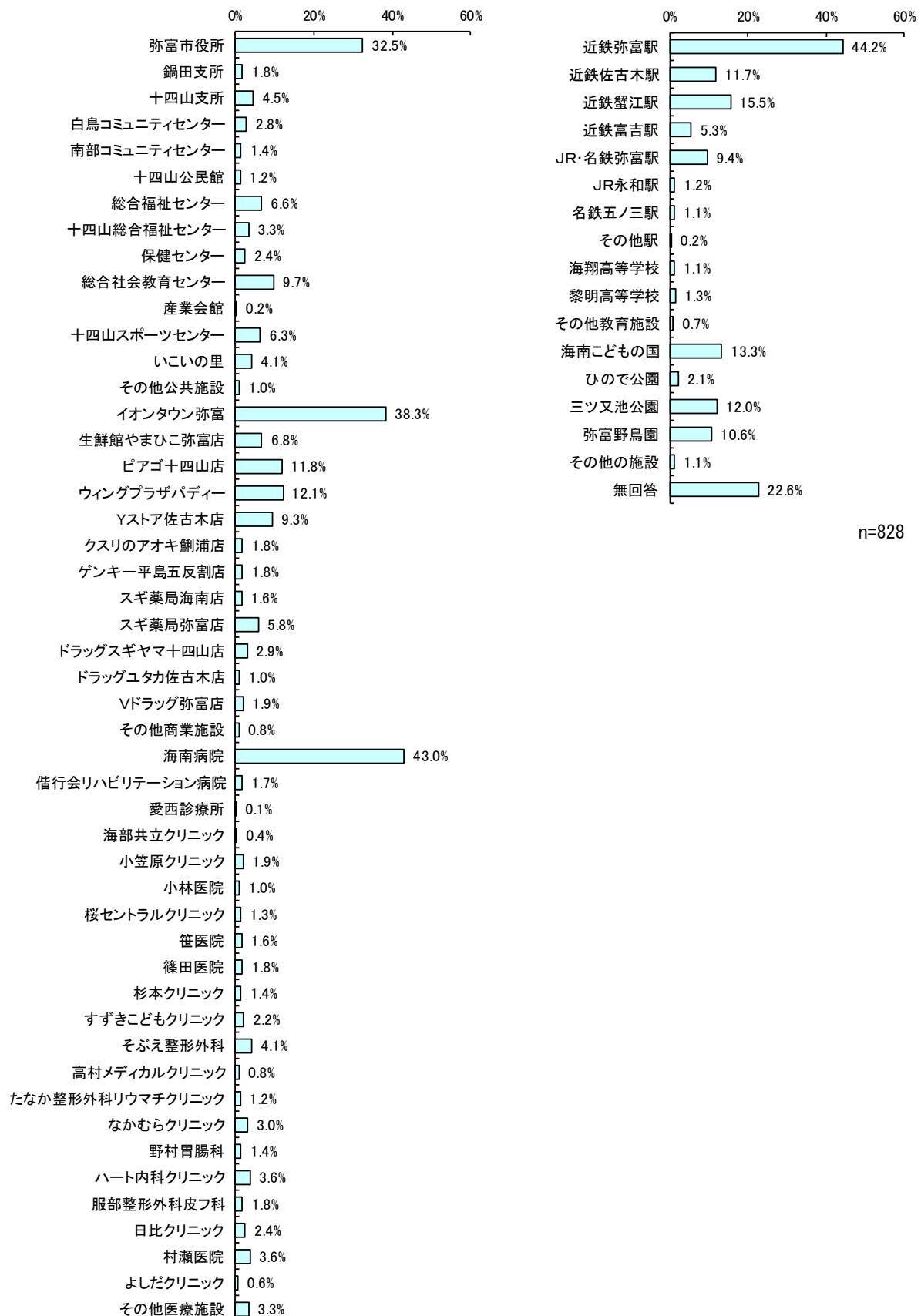
- 「自分で車やバイクを運転できなくなったら利用したい」が50.0%と最も多く、次いで「家族などに車で送迎してもらえなくなったら利用したい」「自転車で移動できなくなったら利用したい」が多くなっている。



n=56

(9)バスで行きたい(行ってみたい)施設や場所

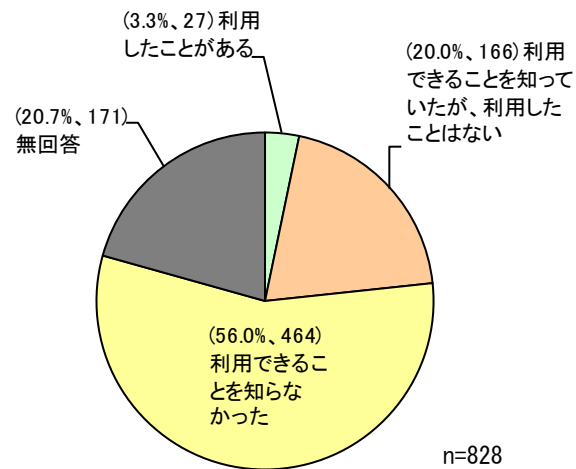
- 「近鉄弥富駅」が44.2%と最も多く、次いで「海南病院」が多くなっている。



n=828

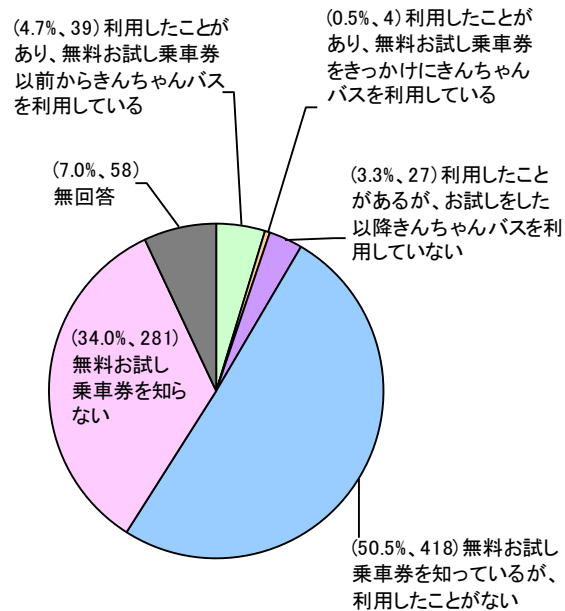
(10) きんちゃんバスを利用する際の、6 施設の駐輪場の利用状況

- 「利用できることを知らなかった」が 56.0%と最も多く、次いで「利用できることを知っていたが、利用したことはない」が多くなっている。



(11) 「無料お試し乗車券」の利用状況

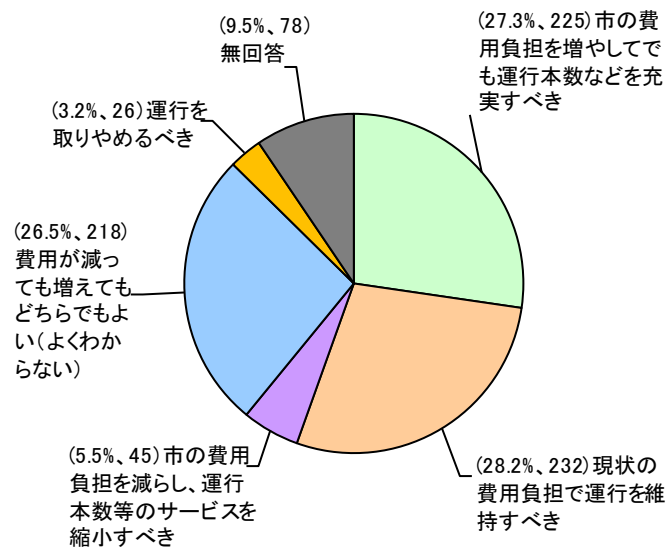
- 「無料お試し乗車券を知っているが、利用したことがない」が 50.5%と最も多く、次いで「無料お試し乗車券を知らない」が多くなっている。



※複数回答による除外 1

(12)今後のきんちゃんバスの運行について

- 「現状の費用負担で運行を維持すべき」が 28.2%と最も多く、次いで「市の費用負担を増やしてでも運行本数などを充実すべき」が多くなっている。

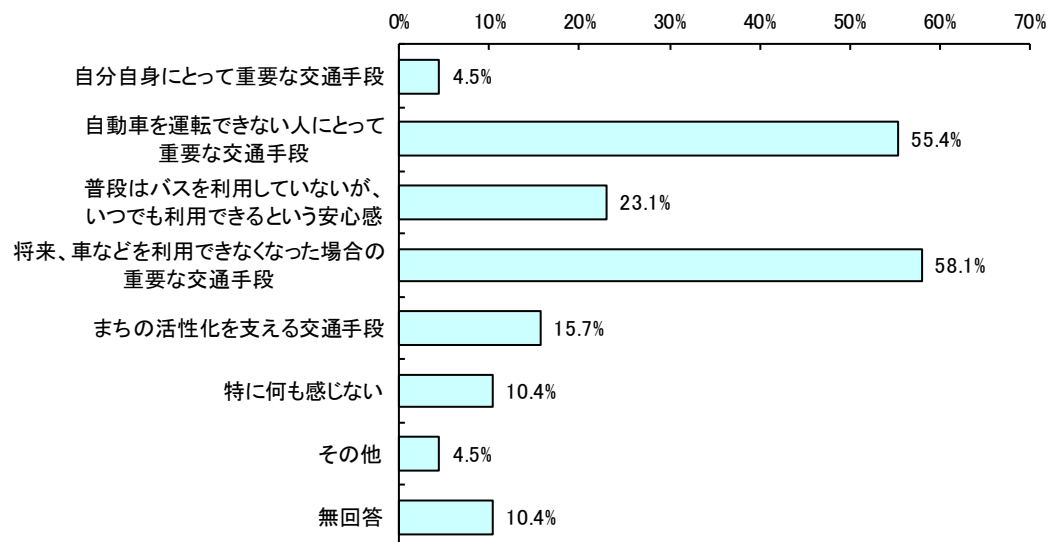


n=824

※複数回答による除外 4

(13)きんちゃんバスが運行していることで感じること

- 「将来、車などを利用できなくなった場合の重要な交通手段」が 58.1%と最も多く、次いで「自動車を運転できない人にとって重要な交通手段」が多くなっている。



n=828

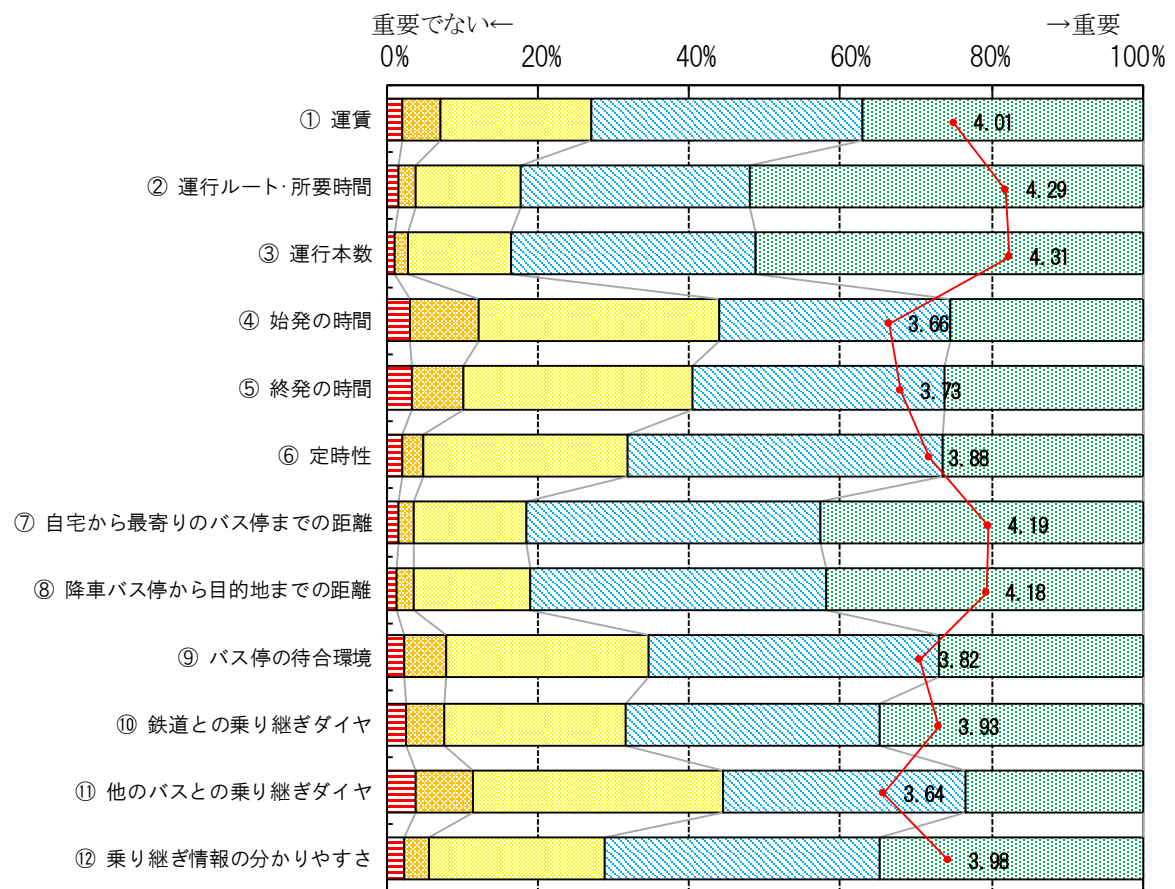
(14)きんちゃんバスにとっての重要度

- 平均値は、「運行本数」が 4.31 点と最も高く、次いで「運行ルート・所要時間」が多くなっている。

〔件数〕

項 目	重要でない	あまり重要でない	どちらともいえない	やや重要	重要	無回答	計	平均値
①運賃	14	35	139	247	257	136	828	4.01
②運行ルート・所要時間	11	16	97	212	364	128	828	4.29
③運行本数	8	12	95	227	358	128	828	4.31
④始発の時間	22	62	221	213	176	134	828	3.66
⑤終発の時間	22	48	208	230	181	138	827	3.73
⑥定時性	14	19	183	281	179	150	826	3.88
⑦自宅から最寄りのバス停までの距離	10	15	105	271	299	128	828	4.19
⑧降車バス停から目的地までの距離	9	16	107	271	289	135	827	4.18
⑨バス停の待合環境	16	38	186	266	187	134	827	3.82
⑩鉄道との乗り継ぎダイヤ	17	36	164	231	238	142	828	3.93
⑪他のバスとの乗り継ぎダイヤ	26	51	225	217	159	150	828	3.64
⑫乗り継ぎ情報の分かりやすさ	15	24	158	249	239	143	828	3.98

※平均値（重要でない・・・1、あまり重要でない・・・2、どちらともいえない・・・3、やや重要・・・4、重要・・・5）

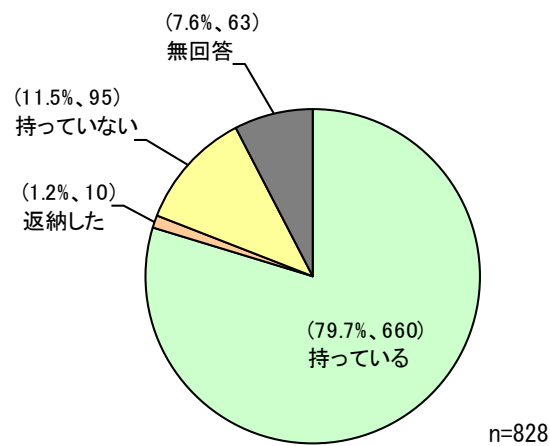


■重要でない ■あまり重要でない ■どちらともいえない ■やや重要 ■重要

※折れ線は平均値。無回答は除く。

(15)車・バイクの運転免許の保有状況

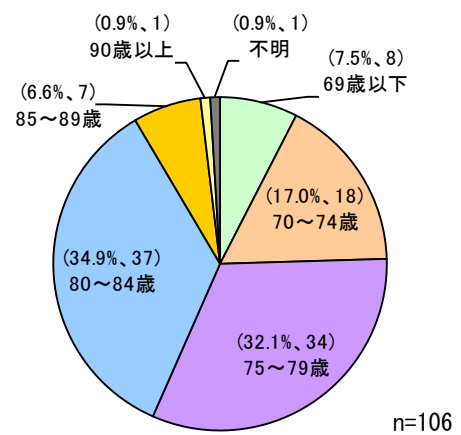
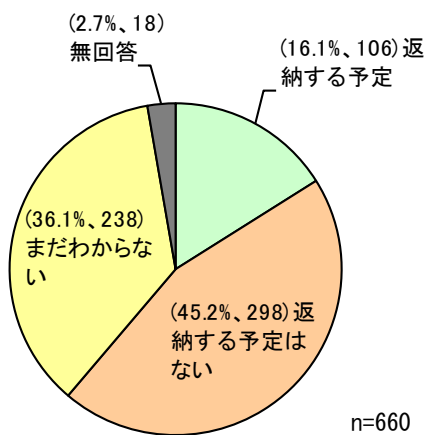
- 「持っている」が79.7%と最も多くなっている。



(16)車・バイクの運転免許を持っている方

①運転免許の返納意思

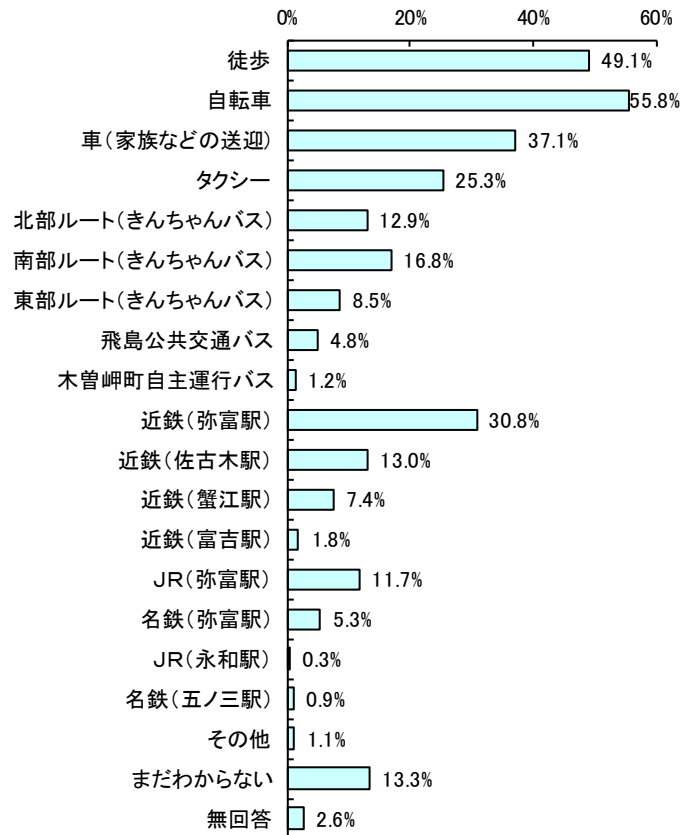
- 「返納する予定はない」が45.2%と最も多く、次いで「まだわからない」が多くなっている。
- 「返納予定年齢」は、「80～84歳」が34.9%と最も多く、次いで「75～79歳」が多くなっている。



返納予定年齢

②運転免許を返納した場合の主な交通手段

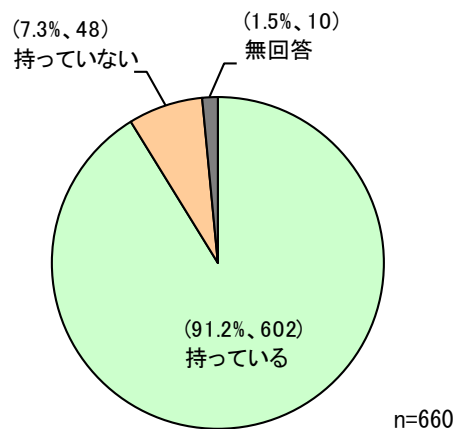
- 「自転車」が55.8%と最も多く、次いで「徒歩」が多くなっている。



n=660

③自分で自由に使える車・バイク

- 「持っている」が91.2%と最も多くなっている。



n=660

4-2 住民意見交換会

4-2-1 開催概要

- 各地域の日常的な移動や公共交通に関する問題点のほか、意向等を把握し、弥富市地域公共交通網形成計画見直しの基礎資料とするため、住民意見交換会を実施した。
- 参加者は、本市 HP や市広報誌、地域公共交通講演会などで募集した。
- 第 1 回終了時には、無料乗車券 2 枚を配布し、第 2 回時には実際の利用体験を通じた意見交換を実施した。
- 開催状況は下表の通りである。

住民意見交換会開催概要

対象	きんちゃんバスの各ルートに応じ 3 つの地域に区分し開催 ・北部地域: 弥生小学校区、桜小学校区、日の出小学校区、白鳥小学校区 ・南部地域: 大藤小学校区、栄南小学校区 ・東部地域: 十四山東部小学校区、十四山西部小学校区		
	ワークショップ形式 (WS) での住民相互の意見交換		
概要	内容 (1 時間 30 分程度)	開催時期	参加者数
第 1 回	1) 公共交通の現状を知ろう! (事務局説明) 2) 公共交通の役割を考えよう! (WS) 3) 将来の公共交通の課題を考えよう! (WS) 4) 意見をみんなで共有しよう! (発表) → 無料乗車券配布 (2 回分)	北部: 令和元年 11 月 30 日(土)	14
		南部: 令和元年 11 月 16 日(土)	20
		東部: 令和元年 12 月 7 日(土)	8
第 2 回	1) 第 1 回の復習をしよう! (事務局説明) 2) 公共交通に乗った感想を話そう! (WS) 3) 公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設をまとめよう! (WS) 4) 意見をみんなで共有しよう! (発表)	北部: 令和 2 年 1 月 18 日(土)	9
		南部: 令和 2 年 1 月 25 日(土)	15
		東部: 令和 2 年 2 月 1 日(土)	8

住民意見交換会の様子



4-2-2 第1回意見交換会の主な意見

(1)公共交通の役割を考えよう！

- 「公共交通の役割を考えよう！」では、各公共交通が、どのような目的の移動をターゲットとするか議論いただいた。
- 鉄道の主なターゲットは「通学」「通勤」「買い物」「観光」が多い。
- きんちゃんバスの主なターゲットは「通学」「通院」「買い物」「総合福祉センター・十四山総合福祉センター」「市役所・支所」など多岐に渡る。
- タクシーの主なターゲットは「通院」が多い。
- その他、飛島公共交通バス蟹江線のほか、現在は運行のない乗合タクシーなどについても利用意向があった。

各公共交通のターゲットに関する意見数（全体）

	鉄道	コミュニティバス (きんちゃんバス)	タクシー	タクシー (貸切・乗合)	福祉タクシー	家族の送迎	飛島バス (蟹江)
通学	27 1	13 10 7	1	1		1	4
通勤	27 2	8 10 7	1				4
通院	7 7	27 7 4	20 7	3 2 2	1		
買い物	10 9 3	19 8 8	7 5 2	3 1			1
総合福祉センター 十四山総合福祉 センター		18 3 3	1 2 2	1 1			
市役所・支所		14 10 7	2 9 3	4 1			
その他公共施設	1 2	10 5	1 3	2 2			
観光	15 3 3	3 6 9	3 6 6				1
飲み会	1	2	1			1	
帰省	2						
余暇	5	1	1 2				
競馬場		1 2 3	1 2	1			1
高齢者		7 3	6				1
災害時		1					
習い事	1						

■ 主なターゲット
■ 考えないといけないターゲット
■ 使ってくれと嬉しいターゲット

- 地域別に見た場合、きんちゃんバスでは、南部地域は「通学」「通勤」「高齢者」、東部地域では、現在是对应していない「通学」などをターゲットとする意見が多くなっている。
- 北部地域では、現在は運行していない「乗合タクシー」による「通院」「買い物」「市役所・支所」への移動をターゲットとする意見が多くなっている。

地域別の各公共交通の主なターゲット

上段：北部地域
中段：南部地域
下段：東部地域

	鉄道	コミュニティバス (きんちゃんバス)	タクシー	タクシー (貸切・乗合)	福祉タクシー	家族の送迎	飛島バス (蟹江)
通学	○ ○ ○	○ ○					○
通勤	○ ○ ○	○					○
通院	○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○			
買い物	○	○ ○ ○	○	○			
総合福祉センター 十四山総合福祉 センター		○ ○					
市役所・支所		○ ○		○			
その他公共施設		○ ○					
観光	○ ○ ○						
飲み会							
帰省							
余暇	○						
競馬場							
高齢者		○	○				
災害時							
習い事							

(2)将来の公共交通の課題を考えよう！

- 「将来の公共交通の課題を考えよう！」では、先の「公共交通の役割を考えよう！」で主なターゲットとして多くの意見があった移動を中心に、将来を含めた課題について議論いただいた。

①北部地域

- 運行本数の少なさや乗車時間の長さ、車両の小型化に関する意見のほか、ベンチの設置などバス停の待ち合い環境に関する意見がある。
- 通勤に対するタクシーの相乗り運行や、通院や買い物に対するデマンド運行の導入などの意見がある。
- 観光に対する休日やイベント時の運行に関する意見がある。

将来の公共交通の課題（北部地域）

	利便性について	利用者確保について	その他
通学	時間があわない	夜タクシー	
通勤		タクシーの相乗り運行	
		タクシーの団体割引、定額制	
通学	親・家族の送迎に頼っている	小学校を統合したら通学バスと併用	
通勤	雨の日に送迎の車で混む	朝夕は駅まで早く着くように	
	始発が遅く、終便が早い	朝・夕は停車バス停を減らし、基幹バスのように時間短縮	
		乗車時間が長い	
		車両を小型化し、運行本数増	
通院		一般車でのUber試行	
買い物		デマンドでの乗合運行	
		新聞配達並に各戸で送迎できるサービス	
買い物	デマンドでの乗合運行		
総合福祉センター	利用する年齢層が“超”限定的		
市役所・支所		手続きが必要なら職員が家に訪問して手続きするサービス	
		支所に止まらない	
通院	1時間に1本運行	バス停の増加	バスの小型化
買い物	コミュニティセンターから海南病院に直行	バス停間隔を短く(100～200メートル)	台数を増やす
総合福祉センター	大型スーパー買物便	北部地区の真ん中の方にバス停を多く	
	乗継ぎができない	運行距離を短く	
観光		海浜こどもの国、野鳥園への日曜日運行	
		シーズン限定のダイヤ運行	
		休日観光ルートの設定	
		毎年定期的に開催されるイベント時にバスを運行	
全般	乗車時間が長い	1時間に1本運行	Maasの導入
	本数が少ない	運賃を100円に値下げ	
	自宅から最寄りの停留所が遠い	周辺市町村との連携（一本化）	
	停留所にベンチ	家の近くまで来てほしい	
	安心して乗れるダイヤ	時間的に便利であればよい	

②南部地域

- 北部地域と同様に運行本数の少なさや乗車時間の長さ、車両の小型化に関する意見がある。
- 近鉄蟹江駅への運行や、タクシーと連携した運行、ICカードの導入などの意見がある。
- 南部コミュニティセンターと連携し、駐車場の有効活用（パーク&バスライド）や南部コミュニティセンターへの幹線運行などの意見がある。

将来の公共交通の課題（南部地域）

	利便性について	利用者確保について	その他
通学	時間帯の本数の見直し	天気の悪い時に利用する高校生がいる	
	運行本数増	バス停を分かりやすく	
	時間、タイミング	ICカードの導入（高校生利用に対応）	
		黎明高校との運賃差をなくす	
		大人以外は無料（学生等）	
通勤	朝（6時～8時）夕（19時～21時）の本数増	車両を小型化し、運行本数増	バス停の間への停車
	自由乗降	バス停位置の見直し	
通学	午前はOK	南部コミュニティセンターとの連携	ルートが長い
通勤	利用時間の多い時間帯や午後の運行本数増	南部コミュニティセンターの駐車場の借用	ルートの見直し
	最終便が早い	南部コミュニティセンターへの直行便（幹線）	バス＋タクシー、公共交通利用の見直し
	乗車時間が長い		夜遅くまで運行
	蟹江駅へ行ってほしい		
	名古屋へ直接行くルート（港の駅を利用）		
	直行便をつくる（時間短縮）		
	タクシーのシェア、高齢者向け		
通院	行きたい時間に行ける（便数を増やす）	自治会での話し合いによる利用のPR	
	自由な乗り降り（場所）	バス停に駐車場、駐輪場を設置	
	通院に合ったダイヤ	バス停にベンチ・屋根	
		2～3地区ごとにまとまって乗車する	
買い物	運行距離が長く、時間がかかる	ルート間で自由な乗り降り（場所）	
	買い物・朝（午前中）・夕方	ICカード、ポイント付与、分かりやすい時刻表	
	利用の少ない時間を削減し、朝・夕を重点的に	割引券配布	
	昼は買い物に特化した運行		
その他 公共施設		高齢者は無料	
観光	最終便が早い	競馬場へのアクセス	
高齢者	バス停までが遠い	60歳以上の無料化	
		車の免許返納者の利用促進	
		バス停にベンチ・屋根	
全般	目的地までの時間がかかる（全体）	利用者が少しずつ増えている	マイカーを利用している
	運行本数が少ない	バスを小型化にして公民館などへ	現状でよいと思っている人もいるのでは
	ドアtoドアやデマンド方式の導入	市のイベントに合わせて無料券を配布	廃止はしない
	屋間は6～8人乗りのタクシー、シェアカー	ゴミゼロに出席した人への無料券配布	未利用者の乗車体験を通じた意見収集
	桑名、蟹江の方が近い		

③東部地域

- 通勤、通学に対応した朝夕の運行や病院バスの運行、高齢者の有料化などの意見がある。
- バス停までの輸送手段の確保や福祉タクシーの充実などの意見がある。

将来の公共交通の課題（東部地域）

	利便性について	利用者確保について	その他
通学		通学時間の運行がない	駅から高校へ直通
		朝・夕の便、特に朝便の増加	朝・夕の学生対象のバス増便
		少なくとも17時台まで運行	定期券で利益を増やす
		佐古木駅利用が多い	
通学・通勤	鉄道ダイヤとの連携	最終便を遅らせて、学生・働く人が利用できるようにする	
	自転車・徒歩が早い、バスを使うと遅い		
通院	海南病院、9時に行くとき帰りは12時くらい	個人病院へのバス停設置 ・ハート内科・中村眼科	高齢者有料化 1コイン
	帰りの便に合わせて診療してほしい（時間が かかりすぎる）	運行本数が少ない 行はよいが帰りがない	全ての地域を周るのは無理
	バス停までの輸送手段（相乗り）の確保	障害者対応のバスにする	福祉タクシーの充実
	学区単位で運行	バス停を増やす	民間の福祉タクシーは高い
	バス停が遠い	病院をよく利用する人の家の近くに停まるようにする	集落の中へのバス停設置
	病院への直通バス		自由乗降
	なるべく短いルートに		
買い物	荷物が多いため利用しない		
十四山総合福祉センター		特に問題ない 自分のペースで利用	

4-2-3 第2回意見交換会の主な意見

(1)公共交通に乗った感想を話そう！

- 問題点として、バス停の多さやルートによる乗車時間の長さ、帰りのダイヤ、バス待ち環境、乗降のしにくさなどの意見がある。
- 良かった点として、運転手の対応の良さや時間の正確さ、コミュニティの形成などの意見がある。
- 乗らなかった方の理由として、時間がかかるや時間がない、目的がないなどの意見がある。
- 今回の利用者の中には、バスの旅のプランを作成し、イオンタウンでの食事やいこいの里での娯楽などを楽しんだグループもあった。

住民意見交換会開催概要

問題点	良かった点	乗らなかった理由
バス停が多いので目的地へ行くのに時間がかかり過ぎる	運転手の対応が丁寧、やさしい	時間がかかる
バス停が多すぎる	運転手に「お疲れさまでした」と言われると気分が良い	休みがほとんどないため
次のバスの時間が気になって困った	乗り心地がよかった	テストが近かった
帰りのバスの時間が分かりにくい(時刻表を持っていかなければならない)	久しぶりの友人に会い、帰りは40分が苦にならなかった	きんちゃんバスに乗って行く場所がない
利用者が少ない	時間が正確	用事がなかった
蟹江警察に行くのは意味がない ⇒蟹江警察署は移転	良いコミュニティの場になっている	桑名住みなのでわざわざ来る目的がなかった
本数が少ない	同時間の乗車の方と顔なじみになる	人と接するため、冬は特に感染症になる恐れがあるため避けてます
帰りのバスの時間が合わない	時間に余裕のある人にとってはいい乗り物	時間がない
忙しい人は乗りづらい	三交バスの時と比較し便利になった	平日は仕事で乗れなかった
家の近くで手を挙げてバスをとめたい	料金が安くなった	自分の車で行ったほうが早い
家からバス停まで遠い	お酒が飲める	行く場所が決まらない
バス停までのアクセスが遠い	朝の時間帯は、大人数乗車していた	時間が合わない
待つ所に夏など屋根や風防があるとよい	目的地に間に合うように乗車時間を合わせて使用していた	
バス同士の乗り換えがしにくい	海南病院は屋根がある。乗り換えしやすい	
ルートがわかりにくい	乗車時、子どもが乗っていて楽しかった	
海南こどもの国へ行く必要があるか(時間を短縮)。中学校の周りを回っている感じ	駐車場に困らない	
最終時間が早い	駐車場代がかからない	
日曜日が運休	公共の場所へ行くのはよい	
木曽岬町のバスの方が早い	バスの待ち時間でイオンタウンで食事ができた	
乗り継ぎができる便が少ないが、イオンタウンに行けばできる	こんなところを走っているのかと新発見が多かった	
あらかじめどう乗り継ぎするか考える必要がある	楽しかった	
バスの休憩場所をいこいの里にしてほしい。今は鍋田公民館	高速バスより定期代が安い	
車両の段差が大きく乗り降りがしにくい。通路が狭い。	車がない人にとっては便利	
バスの待ち時間が長い時、時間の過ごし方がわからない。プランが欲しい。	電車は大学へ行くのに便利(桑名一名古屋)	
シルバーカー、車いすが一人では乗れない		
自転車載らない		

(2)公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設をまとめよう！

①北部地域

- 行きたい施設は概ね各班とも同様の傾向となっており、市中心部の公共施設や商業施設、海南病院のほか、東部地域の十四山総合福祉センターへの要望もある。
- 8 の字で運行する案や空白地を迂回する案、幹線化して空白地をデマンドで運行する案などが提案されている。

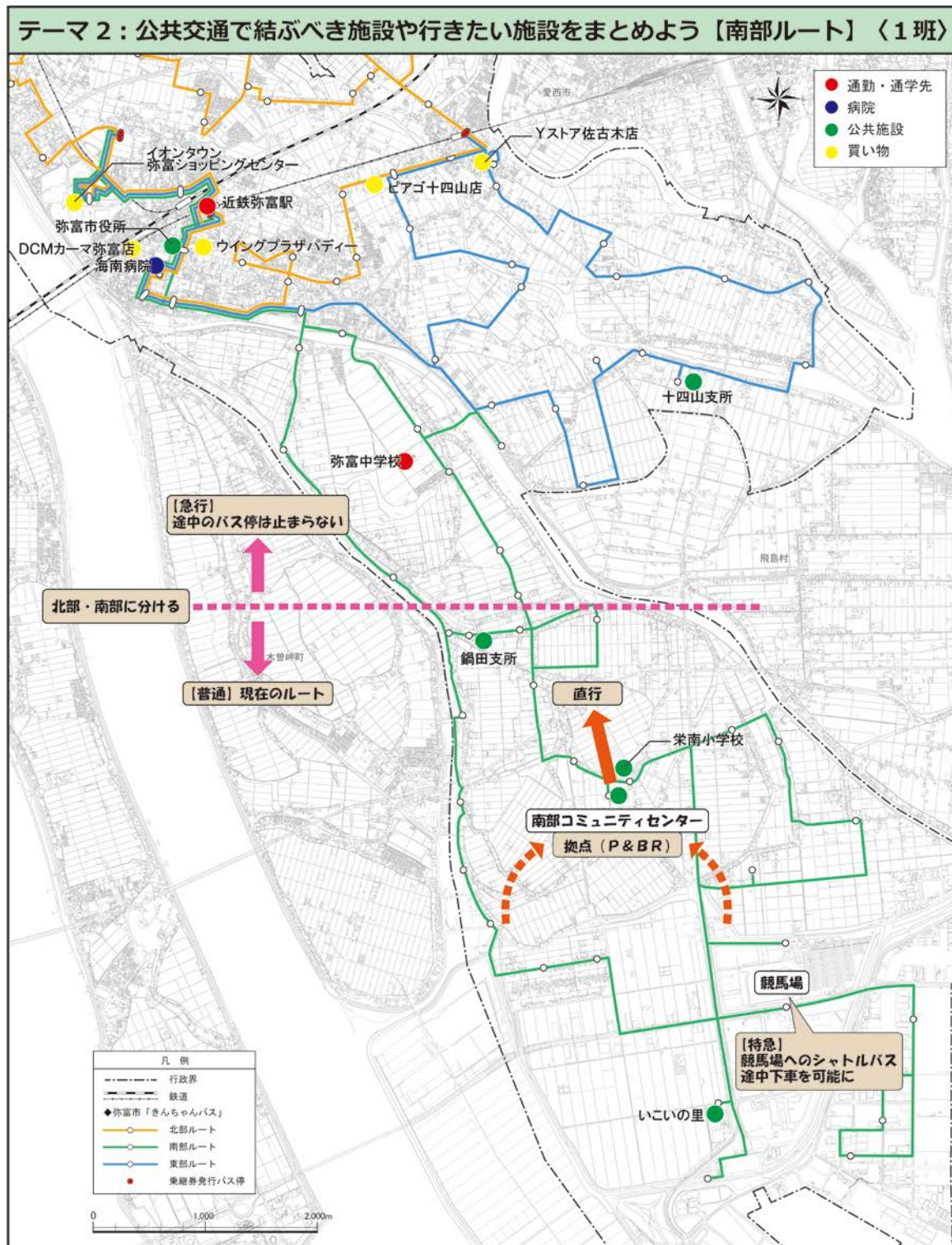
公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（北部地域）



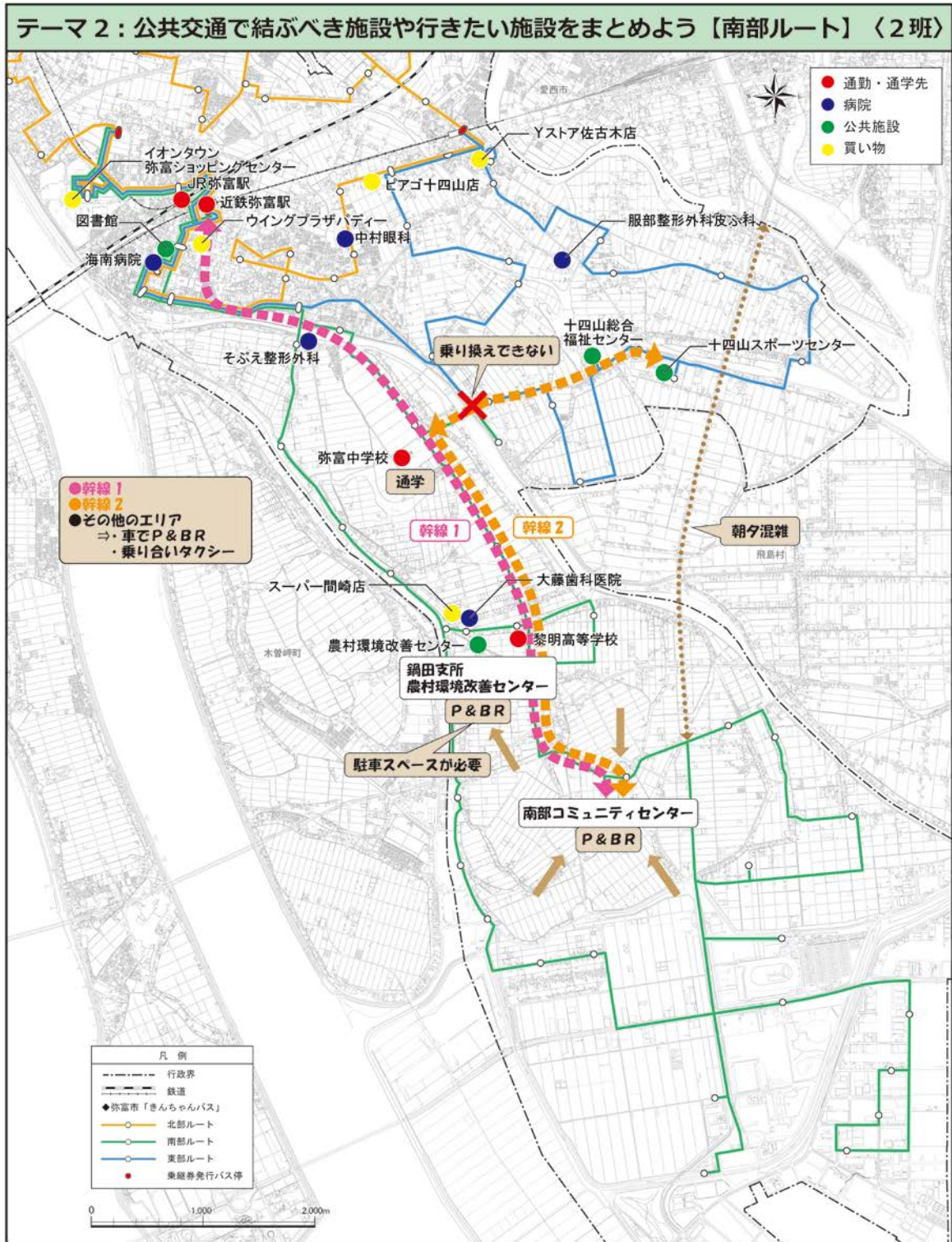
②南部地域

- 行きたい施設は概ね各班とも同様の傾向となっており、市中心部の公共施設や商業施設、海南病院への要望がある。
- 南部コミュニティセンターや鍋田支所を拠点とし、パーク＆バスライドや拠点までの乗り合いタクシーの運行のほか、蟹江駅への運行などが提案されている。
- 市境界付近については、木曽岬町や飛島村が運行するバスの利用も提案されている。

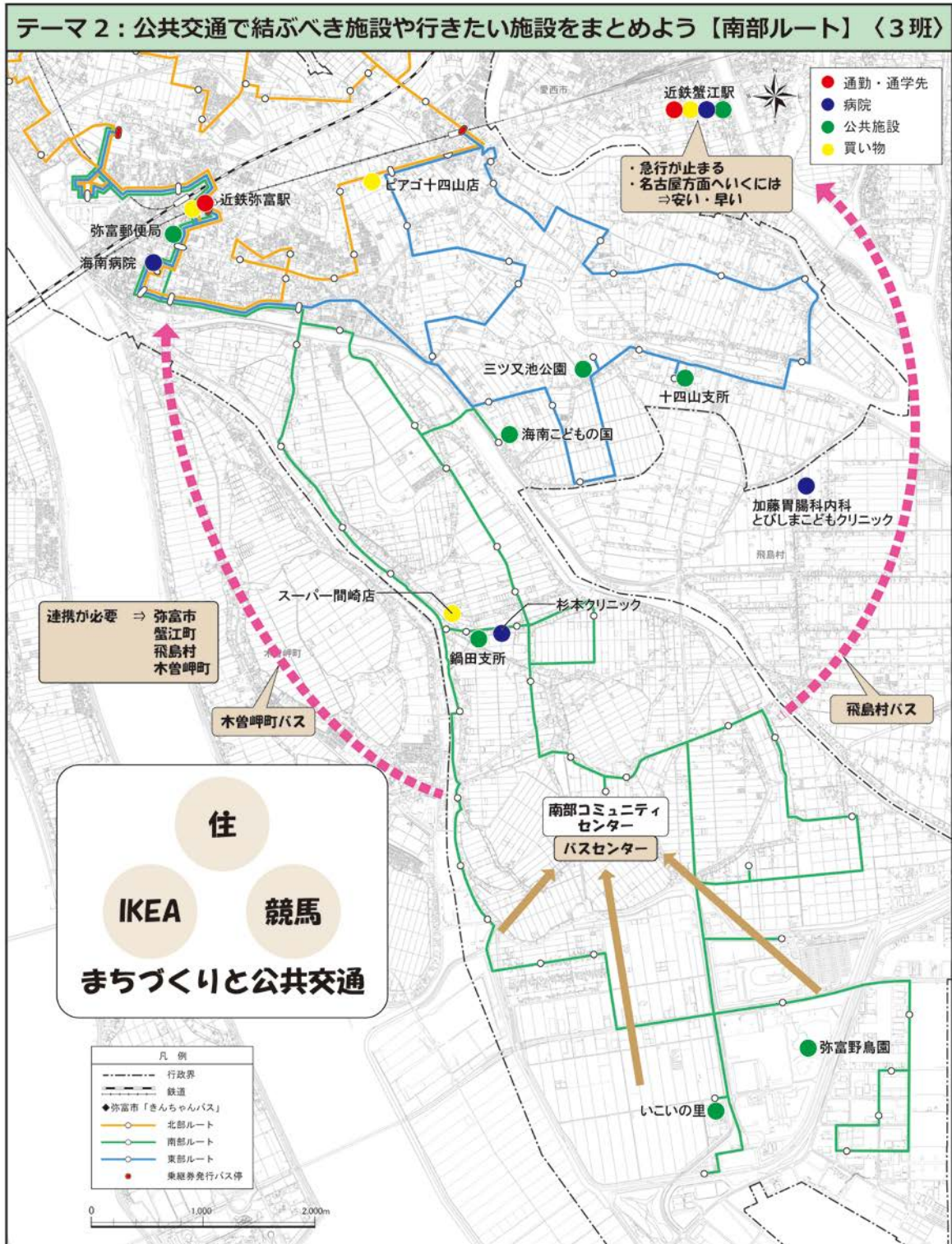
公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（南部地域：1班）



公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（南部地域：2班）



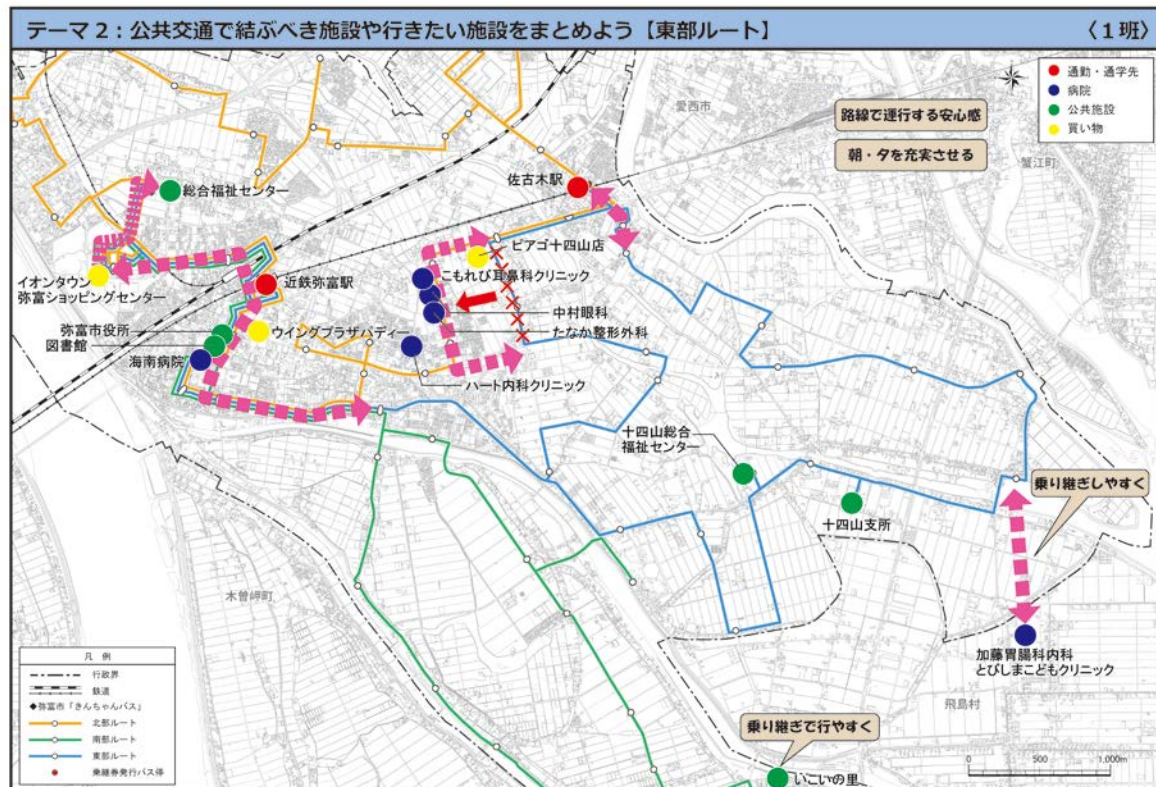
公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（南部地域：3班）



③東部地域

- 行きたい施設は概ね各班とも同様の傾向となっており、市中心部の公共施設や商業施設、海南病院のほか、個人病院などへの要望もある。
- 現在の運行ルートの変更や、十字運行へと再編し、その他のエリアをデマンド運行することなどが提案されている。
- 飛島公共交通バス蟹江線の乗り継ぎに関する提案もある。

公共交通で結ぶべき施設や行きたい施設（東部地域）



5. 上位・関連計画

5-1 第2次弥富市総合計画

◆策定年次

平成31年3月

◆計画期間

基本構想：平成31年度～令和10年度（10年間）

前期基本計画：平成31年度～令和5年度（5年間）

◆将来像

地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富

◆目標人口

令和10年度 43,000人

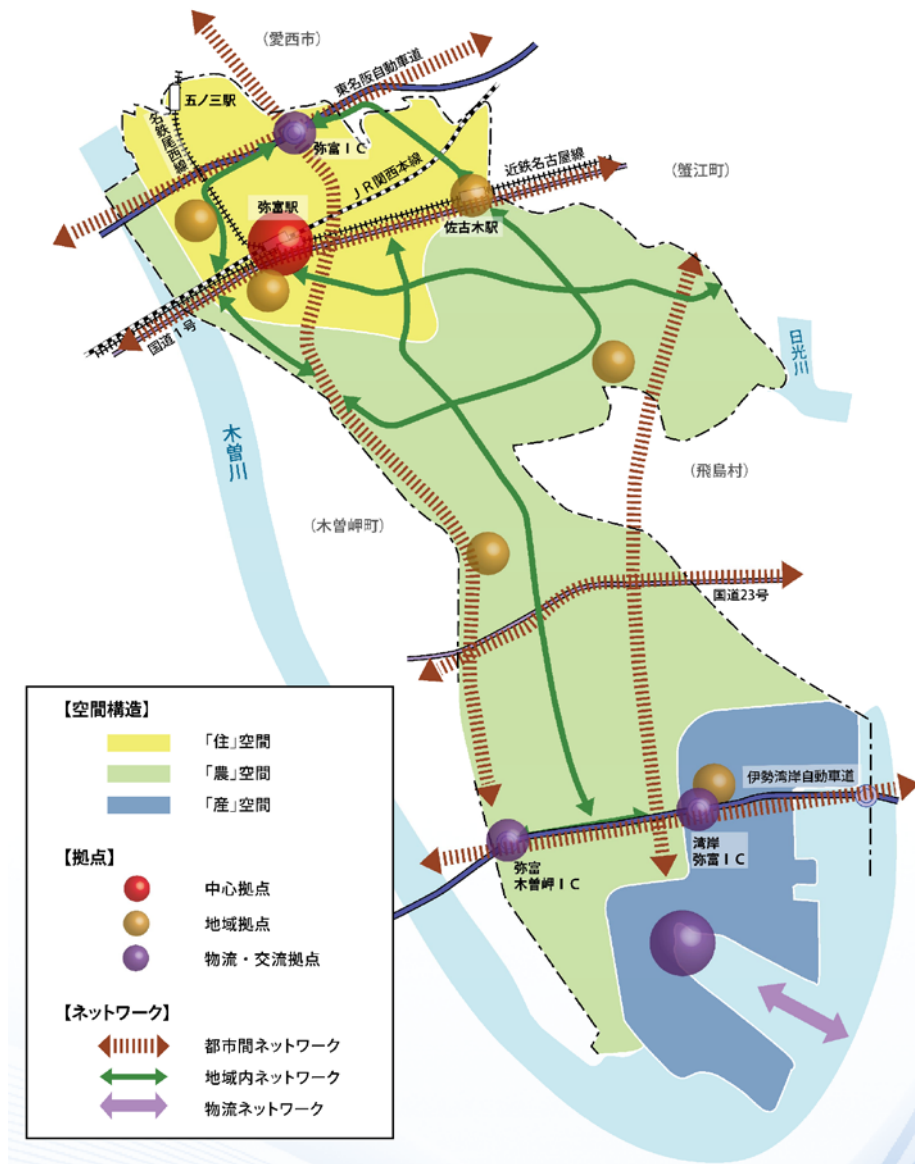
◆都市空間像設定のポイント

- ・主要な機能・施設が集約し、にぎわいある中心拠点を核とした、コンパクトで利便性の高い定住空間を形成
- ・各地域で、市民の生活を支える機能や施設が集積する地域拠点を形成
- ・広域的な交流や産業の活性化に向け、各空間から全国へ広がる都市間ネットワークを形成
- ・中心拠点を核として各拠点間を結び、商業機能の充実、生活利便性の向上や地域間の連絡性を強化する地域内ネットワークを形成
- ・本市の産業を支える国際物流ネットワークを活用した産業空間を形成

◆基本目標

1. いつまでも住みたい安全・安心なまち
⇒重要施策) コミュニティバスの利便性向上
・市民生活に溶け込んだ移動手段を確保しながら、より効率的な運行体制にするため、地域公共交通網形成計画の見直しを行い、コミュニティバスの利便性の向上を図る
2. 笑顔あふれる、健やかで共に支え合うまち
3. 心豊かで文化を育む人づくりのまち
4. 人と地域の資源を活かし、にぎわいを生み出すまち
5. 良好な都市基盤が整った便利で快適に暮らせるまち
⇒重要施策) コミュニティバスの利便性向上
6. 市民と行政がつながり、共につくるまち

◆市内における拠点配置とネットワークの概念図



空間構造：現状の機能や地域の特性を活かした「住」、「農」、「産」の3つの要素を設定

中心拠点：交通結節点機能を主とし、消費や教養・学習、交流など多様な都市活動が展開される拠点

地域拠点：行政施設、商業施設等様々な公共公益施設が集積し、市民生活の利便性の向上や、交流・レクリエーション等を支える拠点

物流・交通拠点：港湾部や高速道路インターチェンジ、鉄道駅など、物流・交通機能を支える拠点

都市間ネットワーク：本市と中部地方の主要都市等をつ結び、物流・広域的な交流の主軸となる動線

地域内ネットワーク：市民の生活を支える主要な拠点を結び、市内の円滑な移動、交流を促す動線

物流ネットワーク：本市の物流産業を支える陸、海、空の動線

5-2 弥富市都市計画マスタープラン

◆策定年次

平成 31 年 3 月

◆計画期間

平成 31 年度～令和 10 年度（10 年間）

◆将来像

地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富

◆都市づくりの基本目標

1. 便利・快適に暮らせる コンパクトな都市づくり
2. ヒト・モノが行き交いにぎわう 魅力的な都市づくり
3. 水・緑と調和する 自然豊かな都市づくり
4. 安全・安心な生活を守る強くしなやかな都市づくり

◆交通の方針

- ・地域の公共交通であるコミュニティバスについては、地球温暖化防止や交通弱者の移動を支えることから、使いやすく効率的で持続可能な地域公共交通として発展し続けるために、地域特性や利用者特性に応じた継続的な改善を行います。
- ・平成 28 年 3 月に策定した「弥富市地域公共交通網形成計画」に基づき、鉄道やコミュニティバス、周辺自治体が運行するバスの乗り継ぎ環境の改善など、関係機関と連携して鉄道とバスの連携強化を進めます。

◆都市構造

都市拠点：交通結節機能を有する駅を中心に、商業・医療・福祉等の身近な生活サービス施設により市民生活を支える拠点

地域生活拠点：公共公益施設が集積し、生活サービス等により市民生活を支える拠点

物流・交通拠点：多くのヒトやモノの交流・流通を支える広域ネットワークの結節点

緑の交流拠点：市民や来訪者が、“水と緑”を体感できる 憩い・ふれあい・交流の拠点

にぎわい交流拠点：広く来訪者を呼び込み、ふれあい・交流によるにぎわいを生む拠点



5-3 弥富市立地適正化計画

◆策定年次

令和 2 年 3 月

◆計画期間

令和 2 年度～令和 17 年度（16 年間）

◆将来像

地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富

◆都市づくりの基本目標

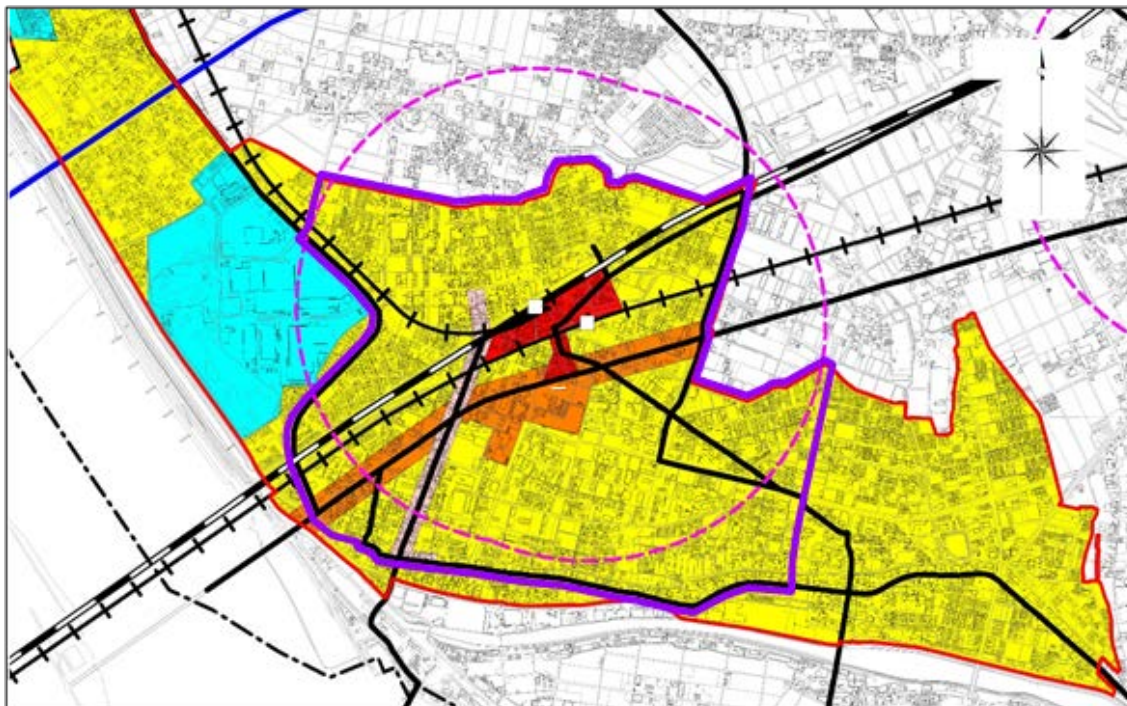
- ・ 便利・快適に暮らせるコンパクトな都市づくり
- ・ ヒト・モノが行き交いにぎわう魅力的な都市づくり
- ・ 水・緑と調和する自然豊かな都市づくり
- ・ 安全・安心な生活を守る強くしなやかな都市づくり

◆目標

- ・ 居住誘導区域の人口密度：88.70 人/ha
- ・ 生活サービス施設：現状維持（医療 1 施設、福祉 5 施設、商業 4 施設）
- ・ 鉄道の乗車人員：約 420 万人/年(約 11,500 人/日)

◆都市機能誘導区域

弥富駅周辺地区



 都市機能誘導区域

佐古木駅周辺地区



都市機能誘導区域

◆居住誘導区域



5-4 弥富市地域公共交通網形成計画(現行)

◆策定年次

平成 28 年 3 月

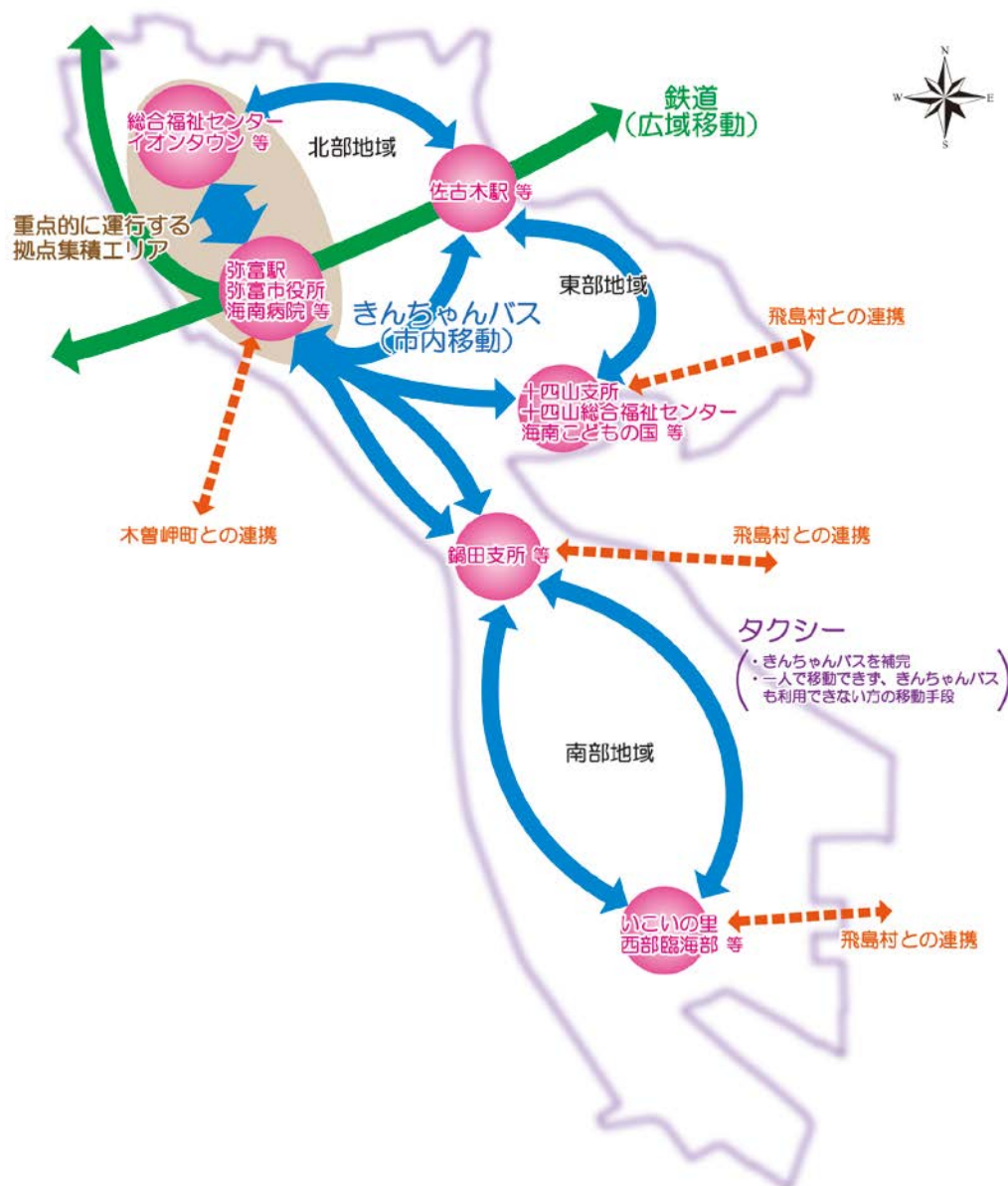
◆計画期間

平成 28 年度～令和 2 年度 (5 年間)

◆基本方針

市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持

◆目標年における拠点を結ぶ地域公共交通の展開イメージ



◆基本方針に基づく目標

- 1 便当たり平均乗車人員の維持・増加
- 利用者満足度の向上

指 標		現況(基準) 平成 27 年度 H27.4～H27.8	目標※ ³ 令和 2 年度
1 便当たり 平均乗車人員※ ¹	全ルート	8.1 人/便	9.8 人/便
	北部ルート	7.4 人/便	11.8 人/便
	南部ルート	8.7 人/便	8.7 人/便※ ⁴
	東部ルート	7.6 人/便	9.5 人/便
利用者満足度※ ²		49.1%	50.0%

※1：1 便当たり平均乗車人員の年度は 4 月～翌年 3 月を 1 年度としている

※2：利用者満足度は「無回答」を除いた場合の割合としている

※3：目標値は過去の実績を直線トレンドした数値としている

※4：減少傾向のため現状維持を目標としている

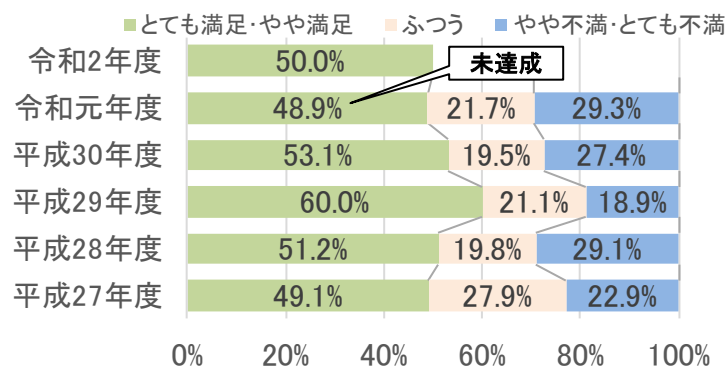
■目標達成状況の評価

- 1 便当たり平均乗車人員については、北部ルートが未達成となっているが経年的には増加傾向を維持しており、計画策定時点の現況値から 37.8%増となっている。一方で南部ルートは維持目標であったものの増加し、東部ルートも目標を大きく上回るなど、全ルートで現況値から増加している。
- 利用者満足度は未達成となっているが、前年までは 50%以上を確保していた。これは、平成 29 年度の満足度のピークから 3 年が経過し、需要等の変化が生じている可能性がある。また、不満理由の多くが「運行便数が少ない」となっており、特に南部ルート利用者からの意見が多い。

1 便当たり平均乗車人員の推移（人/便）

	現況(基準) 平成 27 年度 H27.4～H27.8	実績 平成 27 年度	実績 平成 28 年度	実績 平成 29 年度	実績 平成 30 年度	実績 令和元年度	基準から の伸び率	目標値 令和 2 年度	評価
全ルート	8.1	8.0	8.7	9.0	9.2	9.6	+18.5%	9.8	ほぼ 達成
北部ルート	7.4	7.5	8.3	9.0	9.8	10.2	+37.8%	11.8	未達成
南部ルート	8.7	8.4	9.0	8.8	8.4	8.9	+2.3%	8.7	達成
東部ルート	7.6	7.8	8.6	9.4	10.3	10.2	+34.2%	9.5	達成

利用者満足度の推移



◆事業実施状況(1/2)

施策の方向性	実施事業	事業実施状況
地域特性や利用特性に応じた改善による効率化	(1) 地域特性や利用特性に応じた運行改善	・毎年モニタリング調査を実施し、平成 28 年 1 月及び平成 31 年 4 月にダイヤ改正を実施
	(2) 海南病院改築に伴うルートの見直し	・平成 31 年 4 月にダイヤ改正時に、海南病院への乗り入れを実施
	(3) 東部ルートの運行方法の見直し	・東部ルートの運行ルートの見直しを検討し、平成 30 年 2 月にパブリックコメントを実施したが、意見を踏まえ、現行の運行ルートを維持
	(4) 観光と連携した運行方法の見直し	・イベント時などの運行は別途シャトルバスの運行により対応
	(5) 福祉タクシー料金助成事業の実施	・75 歳以上の運転免許返納者を対象に追加し、継続的に実施中
	(6) 適正な車両サイズへの見直しやバリアフリー等に対応した車両の導入	・現時点では車両更新時を迎えていない
料金負担の軽減による利用促進	(1) 75 歳以上への無料パスカードの配布	・継続的に実施中
	(2) 定期券、回数券、シルバーパス等の販売	・継続的に実施中
乗り継ぎ利便性の向上による利用促進	(1) 周辺自治体と連携した乗り継ぎ環境の改善	・今後も継続的に検討
	(2) きんちゃんバス相互や周辺自治体が運行するバスとの乗継券の発行	・きんちゃんバス相互については乗継券を発行中 ・周辺自治体が運行するバスとは今後も継続的に検討
	(3) サイクル&バスライド駐輪場の設置	・市内 6 箇所に設置
	(4) 乗り継ぎバス停環境の改善	・今後も継続的に検討
	(5) IC カードの導入	・今後も継続的に検討
人と環境にやさしい地域公共交通への改善	(1) モビリティ・マネジメントの実施	・各種アンケートの実施時やイベント開催時に情報提供を実施
	(2) ノーマイカーデーの実施	・毎月第 1 水曜日にエコモビの日を実施
	(3) 乗務員研修の実施	・継続的に実施中
分かりやすい情報提供による利用促進	(1) 分かりやすい時刻表の作成、配布	・現在の時刻表には、スマートフォンからも情報にアクセスしやすいように QR コードを掲載
	(2) ポケット時刻表の作成、配布	・ダイヤ改正時に作成
	(3) 乗継券発行バス停等への乗り継ぎ時刻表等掲示	・時刻表に飛島公共交通バス蟹江線などのダイヤを掲載
	(4) 市 HP へのきんちゃんバスや周辺自治体が運行するバスの情報掲載	・市 HP に情報掲載中
	(5) 周辺自治体 HP へのきんちゃんバス情報掲載	・飛島村 HP(蟹江線)、木曾岬町 HP(自主運行バス関係機関リンク)にリンク掲載中
	(6) バス運行情報の提供	・駅すばあと、NAVITIME などの検索対応済 ・バスロケーションシステム未導入

◆事業実施状況(2/2)

施策の方向性	実施事業	事業実施状況
認知度向上による利用促進	(1) 主要施設へのきんちゃんバス情報掲示	・市役所や総合福祉センターなど主要な施設に時刻表を掲示
	(2) イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開	・やとみ春まつりや健康フェスタ等できんちゃんバスブースを設置し、周知活動を実施
	(3) 講演会や講習会の開催	・地域公共交通講演会を開催
	(4) 無料お試し乗車券の配布	・毎年継続的に実施中
地域で創り、支える仕組みづくり	(1) 弥富市地域公共交通活性化協議会の開催	・毎年継続的に開催中
	(2) 地域の集まりの場を活かした意見交換会の開催	・住民意見交換会を開催
	(3) 快適なバス待ち環境の創出	・今後も継続的に検討
	(4) バス協賛金事業の展開	・継続的に実施中

■事業実施状況の評価

- 位置づけられた事業の多くは計画通り実施されており、利用者も増加するなど一定の効果を発揮しているものと考えられる。
- 一方で、「周辺自治体と連携した乗り継ぎ環境の改善」や「周辺自治体が運行するバスとの乗継券の発行」、「ICカードの導入」など、フィーダー系統※であるきんちゃんバスにとって重要となる“公共交通相互の乗り継ぎ利便性の向上”に係る事業について実現には至っておらず、今後の実現が望まれる。

※フィーダー系統：幹線系統となるバス路線などに接続する支線系統のこと。

6. 問題点・課題の整理

これまでに整理した本市の現状及び上位関連計画で目指す将来像などから、本市の問題点・課題について整理する。

現況まとめ

① 人口	● 少子高齢化が進んでおり、将来人口は減少傾向で、高齢者割合は増加予測 ● 南部地域や東部地域の人口は減少傾向
② 主要施設	● 海南病院や偕行会リハビリテーション病院のほか、近鉄弥富駅付近から佐古木駅付近までの一般国道1号の南側に診療所など個人病院が多く立地 ● 小学校、中学校のほか、2つの高校が立地 ● 商業施設は市中心部に多くが立地し南部地域や東部地域には非常に少ない ● 温浴設備のある福祉施設として、総合福祉センター、いこいの里、十四山総合福祉センターが立地 ● 市役所のほか、南部地域に鍋田支所、東部地域に十四山支所が立地
③ 移動状況	● 市内移動は弥富駅や市役所が立地する中心ゾーン関連の移動が多く、移動手段の多くが自動車 ● 市内移動は「自由」目的、市外との移動では「出勤」目的が多い ● 外出率は年齢が上がるほど低下し、免許のない方の外出率が特に低い ● 名古屋市との移動で鉄道が多いが、その他の都市には自動車が多い
④ 公共交通網	● 鉄道が3路線で4つの駅が立地し、路線バスが2路線、きんちゃんバスが3路線運行 ● 市内や市周辺部で愛西市巡回バス、飛島公共交通バス、木曽岬町自主運行バスが運行 ● 人口カバー率は86%、65歳以上は74%で、東部地域や南部地域でカバーされていないエリアが多い ● 隣接自治体が運行するコミュニティバスでカバーされているエリアもある
⑤ 鉄道	● 運行本数は近鉄弥富駅が最も多く、利用者も多い ● JR・名鉄弥富駅を利用する場合は近鉄弥富駅南口バス停から駅舎内を通り抜ける必要がある ● JR・名鉄弥富駅では自由通路・橋上駅舎化事業にあわせた北口駅前広場の整備検討が進められている
⑥ 路線バス	● 比較的長距離路線が運行し、運行本数は1日に1～2便と非常に少ない
⑦ 利用状況	● 運行に使用しているマイクロバスの老朽化が進みバリアフリーへも未対応 ● 1便当たり乗車人員は北部ルート、東部ルートは増加傾向で、南部ルートは伸び悩み ● 市内87箇所のバス停のうち、「イオンタウン」「海南病院」「近鉄弥富駅南口」「総合福祉センター」「弥富市役所」の利用が多く、年間乗車人員が100人に満たないバス停も複数ある ● 午前中から午後の早い時間帯の便の利用が多く、夕方の便の利用者が少ない ● 近鉄弥富駅南口から川崎重工への利用も多い
⑧ 収支	● 令和元年度の運行経費は平成26年度から減少し、収入は増加、収支率も5.3%と改善 ● 利用者1人当たりの運行経費は令和元年度で1,109円となっており、平成26年度から288円減少
⑨ 周知・利用促進策	● 無料パスカードの配布やシルバーパスなど高齢者の料金負担の軽減のほか、サイクル&バスライド駐輪場の設置、多様な媒体を活用した情報提供、講演会の開催など周知・利用促進策を展開 ● 一方で、サイクル&バスライド駐輪場や飛島公共交通バス蟹江線の乗り継ぎに関する認知度が低い ● 平成23年度から無料お試し乗車券の配布を継続的に実施し、毎年80人程度の新規利用者を獲得
⑩ 乗り継ぎ	● きんちゃんバス相互の乗り継ぎ利用は見られるが、飛島公共交通バスなど他自治体が運行するバスとの乗り継ぎ利用は少ない ● 飛島公共交通バス蟹江線とはダイヤ調整を図っているが、木曽岬町自主運行バスとは調整していない。また、近鉄弥富駅における木曽岬町自主運行バスとの乗り継ぎには駅舎内を通り抜ける必要がある
⑪ 利用評価	● 利用者の約8割は高齢者で、利用目的は「買い物」「通院」「公共施設への用事・利用」が多い ● 満足度は48.9%と低下傾向
⑫ タクシー	● 愛知県の輸送実績は、車両数や実働率、実車kmなど、すべての項目で減少傾向 ● 障がい者や高齢者など移動に制約のある方を対象に福祉タクシー料金助成事業を実施しているが、扶助額は増加傾向となっているが、買い物など日常生活を支えるには不十分
⑬ 住民意向	● 外出の際は車が多く、きんちゃんバスを利用しない理由も「自分で車やバイクを運転できる」が多い ● バスで行きたい施設は「市役所」「イオンタウン弥富」「海南病院」「近鉄弥富駅」が多い ● 主なターゲットは、地域によって多少異なるものの、鉄道は「通学」「通勤」「買い物」「観光」、きんちゃんバスは「通学」「通院」「買い物」「総合福祉センター・十四山総合福祉センター」「市役所・支所」、タクシーは「通院」が多い ● 運行本数の少なさや乗車時間の長さに対する意見が多い ● きんちゃんバスの幹線化や乗合タクシーの導入によるきんちゃんバスとの連携など各地域で提案あり
⑭ 上位・関連計画	● まちの将来像：地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富 ● 立地適正化計画を策定し、コンパクト・プラス・ネットワークに向けたまちづくりを推進 ● 現行の地域公共交通網形成計画の目標は、1便当たり平均乗車人員は北部ルートで未達成であるが増加傾向を維持しており、利用者満足度は前年までは50%以上を確保していたが未達成

A：高齢者も使いやすい生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要

【現況①③④⑨⑪】

- 今後の高齢化社会の進展や運転免許返納者の増加に対応するため、高齢者が安心安全に移動でき、気軽に外出できるような環境を形成するため、高齢者も使いやすい生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要

B：公共交通空白地や人口減少に対応した生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要

【現況①③④⑧】

- 定住者を確保し人口の減少を穏やかにするため、利便性の高い生活交通サービスの確保・維持を図ることが必要
- 人口が減少しても持続可能な公共交通網の形成が必要
- バス停から離れている公共交通空白地などに住んでいる方々に対しても持続可能で効率的な生活交通サービスの提供が必要

C：公共交通相互の乗り継ぎなど連携強化が必要

【現況②③④⑤⑥⑦⑩⑫】

- 鉄道やバスなど市内を運行する公共交通を活かし、より利便性の高い地域公共交通網とするため、ダイヤや料金、待ち合い環境、ICT化の推進などにより各公共交通相互の乗り継ぎの環境の向上を図るなど、相互の連携のより一層の強化を図ることが必要
- 飛島公共交通バスや木曽岬町自主運行バスでカバーされている地域も存在することから、それら公共交通を活かし、乗り継ぎについても周辺自治体と連携することで、より利便性の高い地域公共交通網の形成が必要

D：地域の実情や需要に応じた、効果的な公共交通体系への再構築が必要

【現況①②③④⑤⑥⑦⑩⑪⑫⑬】

- 利用の少ない地域への予約制運行の導入や、移動に必要な時間が長い地域への特急便の導入など、地域にあった運行形態の選択による持続可能な運行方法の確立や公共交通網の再編などにより、地域の実情や需要等に応じた効果的な地域公共交通体系への再構築が必要
- タクシー車両の有効活用や、更新時期にあわせたバリアフリー化された適切な大きさの車両の導入など、利用実態に即した適切な大きさの車両の導入など、より効率的な運行の検討が必要

E：コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造などまちの将来像実現を支えるための公共交通網の形成が必要

【現況①②③④⑬⑭】

- コンパクト・プラス・ネットワークの都市構造などまちの将来像実現を支えるために、まちづくりと連携した地域公共交通網の形成を図るとともに、地域の特性や都市機能に応じた適切な公共交通の運行方法やサービスの提供が必要

F：継続的な利用促進策の展開と情報を入手しやすい環境の形成が必要

【現況①④⑤⑦⑪】

- 現在展開している利用促進策等の取組みの継続的な実施と周知のほか、公共交通の果たす役割や重要性についても啓発することが必要
- 鉄道や公共施設、商業施設、病院、観光施設などと連携したターゲットに応じた利用促進策の展開や、多様な媒体による情報を入手しやすい環境の形成を図ることが必要

G：地域で守り育てる環境の構築と意識の醸成が必要

【現況①⑧⑬⑭】

- 持続性のある生活交通サービスの確保・維持に重要となる地域住民の利用促進やサポートの推進、商業施設や病院、企業による協力が必要
- 地域の集まりの場や協議会を活かした、存続に対する危機感等を共有する場の創出が必要

H：福祉施策との連携が必要

【現況①②③⑫⑬】

- 今後の高齢化社会の進展や運転免許返納者の増加が予想されている中、鉄道やバスなど既存の公共交通手段だけではすべての移動に対応することは困難である。また、福祉タクシー料金助成事業ではカバーできていない需要もあることから、福祉施策と連携した対応が必要

7. 弥富市地域公共交通計画

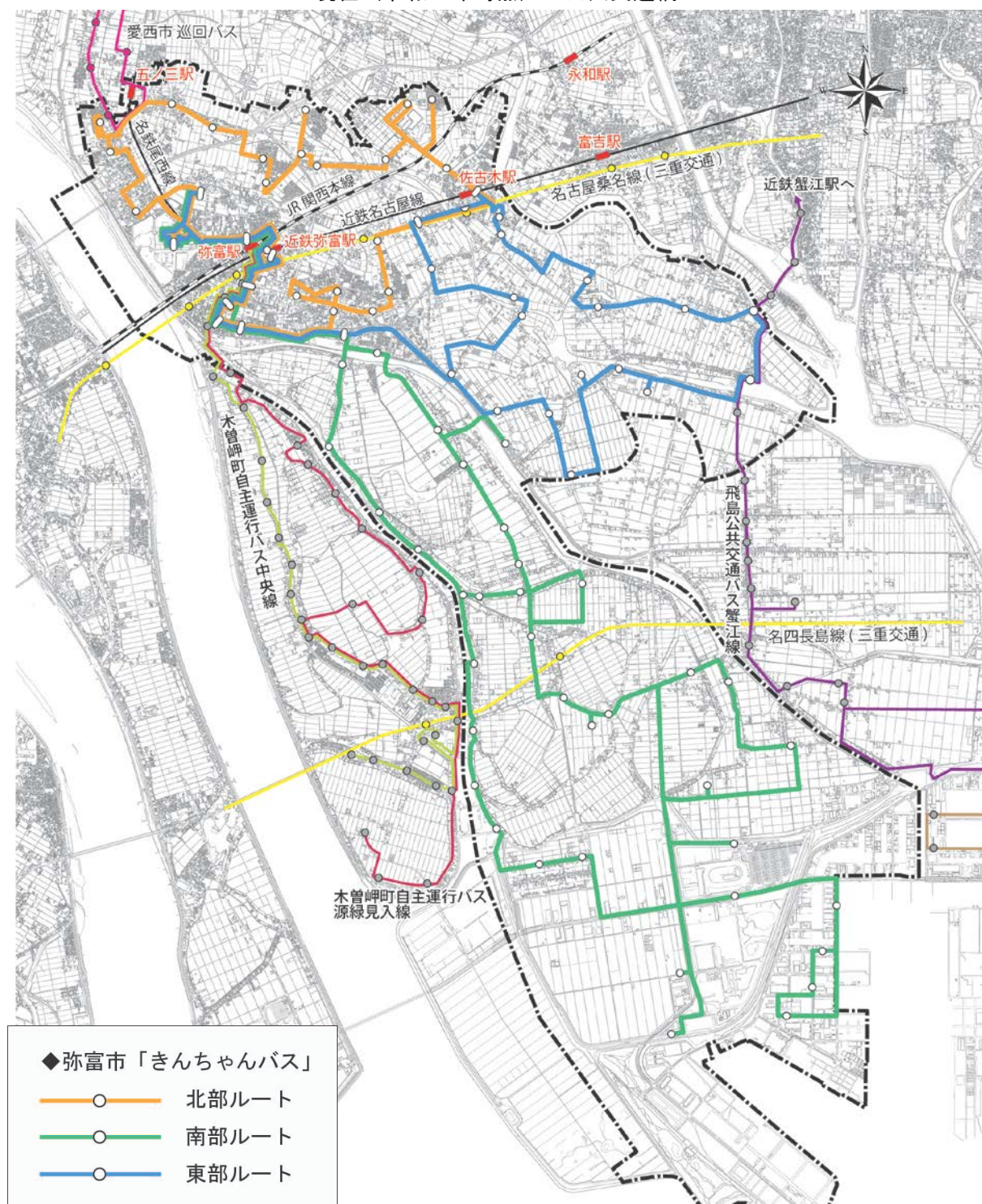
7-1 計画期間

本計画の計画期間は、**令和3年度からの5年間（令和7年度まで）**とします。なお、地域公共交通と連携し現状のまちづくりを持続させることが必要であり、上位計画である「弥富市総合計画」や「弥富市都市計画マスタープラン」、「弥富市立地適正化計画」などの各上位計画の見直しや社会情勢の変化、関係法令の改正等にあわせ、適宜必要な見直しを行うものとします。

7-2 計画区域

本計画の対象区域は弥富市全域とします。

現在（令和2年時点）の公共交通網



7-3 基本理念

上位計画である第2次弥富市総合計画やまちづくりの指針となる都市計画マスタープランや立地適正化計画では、本市が目指すべき将来像として『地域でつくる「人・自然・文化」の調和 輝く未来へ繋ぐまち・弥富』を掲げ、様々な施策を展開しています。

本計画においては、これら上位・関連計画と連携するとともに、平成28年3月策定の現行の地域公共交通網形成計画で掲げた基本方針を本計画の基本理念として踏襲し、まちの将来像の実現を支えます。

市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持

7-4 事業推進の基本方針

本計画が目指す基本理念を基に、以下のように3つの基本方針を定め、本市の地域公共交通の確保・維持に向け、事業を推進します。

基本方針1：地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成

【課題A・B・C・D・E・Hに対応】

- 公共交通網の再編も含めた地域特性や利用特性に応じた運行の効率化や、タクシーや福祉施策等と連携した移動手段の提供により、公共交通空白地を解消し、自ら移動手段を持たない人に病院や商業施設等への日常的な移動手段を提供し、気軽におでかけができる環境の形成を目指します。
- また、周辺自治体が運行するバスも含め、各公共交通相互の乗り継ぎ利便性の向上や、高齢者等の料金負担の軽減による利用促進などにより、使いやすい地域公共交通網の形成を目指します。

基本方針2：継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化

【課題A・C・F・Gに対応】

- 現在展開している利用促進や周知等の取組みの継続的な実施と周知のほか、鉄道や公共施設、商業施設、病院、観光施設などと連携したターゲットに応じた取組みの展開や、多様な媒体による情報を入手しやすい環境の形成を図り、利用者増による活性化を促進することで持続可能な地域公共交通を目指します。

基本方針3：地域や行政、交通事業者等が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成

【課題B・C・D・F・Gに対応】

- 地域の関係者が協働・連携しながら地域公共交通の利用促進に係る取組みを推進し、持続可能な公共交通を目指します。
- また、地域公共交通の存続に対する危機感等を共有し、地域特性やニーズに応じた効率的な運行や運賃負担について市民自らが考える機会を設け、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成を目指します。

7-5 地域公共交通の展開方針

地域公共交通網は、上位・関連計画におけるまちづくりの方針を踏まえ、公共交通網を考える上で重要となるエリアや拠点などを明確化し、それらを効果的に結ぶ軸の形成や、それらの軸を補完し、各地域の移動を支える交通網を形成するなど役割を明確にし、使いやすい地域公共交通網の形成を図ります。

【公共交通網を考える上で重要となるエリアや拠点】

都市機能誘導エリア

立地適正化計画において都市機能誘導区域として位置づけられている区域を、本計画においても「都市機能誘導エリア」として位置づけ、各幹線や支線などにより移動を支え、都市機能や生活利便性の向上と維持を図ります。

- 弥富駅周辺地区、佐古木駅周辺地区

重点運行エリア

都市機能誘導エリアを含む総合福祉センターから海南病院までの弥富駅周辺のエリアには主要な施設が多く立地し、広域幹線である鉄道の近鉄弥富駅、弥富駅も立地する本市の中心部です。そこで、このエリアについては、地域幹線を各地域から集積させ、運行頻度も高く、各主要な施設でも乗り継ぎも可能な「重点運行エリア」として位置づけ、特に移動利便性の高い環境を形成します。

- 総合福祉センターから海南病院までの弥富駅周辺地区

地域拠点施設

都市機能誘導エリア以外の地域で、都市計画マスタープランにおいて地域生活拠点として位置づけられているエリアなどに立地する主要な施設を「地域拠点施設」として位置づけ、地域幹線や支線などで結び、快適なバス待ちや乗り継ぎができる拠点として、日常的生活移動の利便性向上を図ります。

- 総合福祉センター、鍋田支所、南部コミュニティセンター、いこいの里、十四山支所、十四山総合福祉センター

【公共交通網を形成する軸】

広域幹線

本市と市外や県外など広域的な移動を支える鉄道を「広域幹線」として位置づけ、その他公共交通との乗継環境の改善を図るなど連携を強化し、利便性の向上を図ります。

- 近鉄名古屋線、JR 関西本線、名鉄尾西線

都市間幹線

本市と市外など比較的広域的な移動を支えるバス路線を「都市間幹線」として位置づけ、市外との交流を促進するとともに、日常の生活を支える地域公共交通として利用を促進し、確保・維持を図ります。

- 飛島公共交通バス蟹江線

地域幹線

市内の主要な拠点を結ぶバス路線を「地域幹線」として位置づけ、使いやすい移動手段として、地域特性や利用状況、まちづくり等の関連計画を踏まえつつ効率的、効果的に運行します。また、市内の主要な医療施設への通院や商業施設への買い物など、生活を支える地域公共交通として確保・維持し、利便性の向上を図ります。

なお、木曽岬町自主運行バスは本市中心部に乗り入れており、市内の行政境界付近の住民も

利用可能な範囲を運行していることから、地域幹線として位置づけ連携を図ります。

- きんちゃんバス、木曽岬町自主運行バス

支線

各幹線でカバーできないエリアにおいて、各公共交通へのアクセスや地域内の日常的な生活移動を支えるバス路線を「支線」として位置づけます。また、地域特性などに応じ、デマンド型乗合交通などタクシー車両等を活用した面的な運行や、行政以外の地域住民等が主体となった運行導入も検討し、各幹線を補完します。

- 地域幹線以外のきんちゃんバス、公共交通空白地

その他路線

市内には名古屋市と桑名市など比較的長距離を結ぶ路線バスが2路線運行していますが、運行便数が非常に少ない状況となっています。これらの路線については、幹線のような役割は期待できませんが、「その他路線」として今後も確保・維持を図ります。

- 名古屋桑名線、名四長島線

地域公共交通の展開イメージ



7-6 基本方針に基づく目標

計画の3つの基本方針にそって、次のとおり具体的な数値目標を設定し、事業を推進するとともに、目標の達成状況を評価するための指標とします。

目標①：使いやすい地域公共交通網の形成による利用者数の維持・増加

- ・これまでの利用者数の増加傾向を維持
- ・減少傾向である南部ルートは利用者数を維持

	人/年					
	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
南部ルート	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000	35,000
北部ルート	35,000	37,000	39,000	41,000	43,000	45,000
東部ルート	15,000	16,000	17,000	18,000	19,000	20,000
全体	85,000	88,000	91,000	94,000	97,000	100,000

目標②：利用促進策の展開等による新規利用者の獲得

- ・これまでの無料お試し乗車券の配布等の取組みで獲得した新規利用者と同等数（過去5年平均）を毎年確保

新規利用者獲得数：毎年80人以上

◆目標①②について、現在の本市の人口約44,000人であるため、単純に計算すると市民1人あたり1～2回（片道～1往復）程度を利用していることになります。これを**1人が年に2～3回（1往復～1.5往復）使うようにするだけで10万人という目標達成可能**です。また、これまでの無料お試し乗車券により年平均80人の新規利用者を獲得し、年間約2,800人利用者数が増加しています。この増加傾向を維持できれば、1人が**現在よりも1回多く使うだけでも目標①は十分に達成できる**ことになります。

目標③：利用者1人当たり運行経費の削減による持続性の確保

- ・現在の利用者1人当たり運行経費を1割程度削減

目標年における利用者1人当たり運行経費：1,000円/人以下

◆目標③について、現在のきんちゃんバスの運行経費は年間約9,200万円となっています。今後もこの運行経費のまま利用者数が増加したと仮定した場合、目標年には約920円/人にまで削減可能です。また、1,000円/人まで許容すると仮定した場合、目標年の運行経費は年間1億円まで許容できることになり、**運行便数の増加など利便性の改善にもつながる可能性**が広がります。

目標④：収支率の改善による持続性の確保

- ・最も収支率の高かった水準（平成28、29年度：5.9%）まで回復

目標年における収支率：6.0%以上

◆本市においては75歳以上の市民全員に無料パスを配布しており、利用者の7割程度が無料できんちゃんバスを利用するなど高齢者が利用の中心であるため収支率は低くなりやすくなっています。しかし、今後も地域公共交通として確保・維持するために、より効率的な運行への改善や、多様な年齢層の方の利用を促進することも重要であるため、収支率の改善を図ります。

目標⑤：住民意見交換会の実施による地域公共交通を創り、支える環境の形成

- ・ 中間年や目標年などにおいて住民意見交換会を実施

目標年までの意見交換会の開催数：2回以上

基本理念・基本方針と対応目標

基本理念	市民生活と地域を支える持続可能な地域公共交通の確保・維持		
基本方針	基本方針1: 地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成	基本方針2: 継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化	基本方針3: 地域や行政、交通事業者等が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成
目標①	○	○	
目標②	○	○	
目標③	○	○	
目標④	○	○	
目標⑤			○

7-7 目標を達成するために行う事業及び事業主体・計画期間

7-7-1 施策の方向性

計画の3つの基本方針にそって施策の方向性を定め、具体的な事業及び事業主体・計画期間を明確にして事業を推進します。

基本方針と施策の方向性

基本方針	施策の方向性
基本方針1 地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成	1) 地域特性や利用特性に応じた改善
	2) 乗り継ぎ環境の改善
	3) 福祉施策との連携
	4) 周辺自治体との連携
基本方針2 継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化	1) 料金負担の軽減
	2) 分かりやすい情報提供
	3) 利用するきっかけの創出
基本方針3 地域や行政、交通事業者等が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成	1) 多様な主体の協働・連携
	2) 地域公共交通を創り、支える

7-7-2 実施事業一覧

基本方針1：地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成

1) 地域特性や利用特性に応じた改善

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① 地域特性や利用特性に応じた運行改善	市交通事業者	※適宜検討・実施					
② 南部ルート of 公共交通網再編	市市民交通事業者	※R4 実施。以降適宜検討・実施					
③ 東部ルート of 公共交通網再編	市市民交通事業者	※R5 実施。以降適宜検討・実施					
④ 北部ルート of 公共交通網再編	市市民交通事業者	※R6 実施。以降適宜検討・実施					
⑤ 適正な車両サイズへの見直しやバリアフリー等に対応した車両の導入	市交通事業者	※R3 マイクロバス更新。以降適宜検討・実施					

2) 乗り継ぎ環境の改善

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備による乗り継ぎ環境の向上	市交通事業者						継続 ～R9
② サイクル&バスライド駐輪場・駐車場の設置	市施設管理者	※適宜拡大検討・実施					
③ 乗り継ぎバス停環境の改善	市交通事業者 施設管理者	※適宜検討・実施					
④ IC カードや MaaS の導入	市交通事業者						長期

 : 検討
  : 実施

3)福祉施策との連携

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8~ 継続・長期
① 高齢者や障がい者等への料金負担軽減策の実施	市 交通事業者	※適宜検討・実施					
② 福祉タクシー料金助成事業の実施	市 交通事業者	※適宜検討・実施					
③ ささえあいセンターによる買い物支援サービスの提供	市 ささえあいセンター	※適宜検討・実施					
④ 乗務員研修の実施	交通事業者	※適宜検討・実施					

4)周辺自治体との連携

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8~ 継続・長期
① 飛島公共交通バス蟹江線との連携	市 飛島村 交通事業者	※適宜検討・実施					
② 木曽岬町自主運行バスとの連携	市 木曽岬町 交通事業者	※R3 近鉄弥富駅南口乗入れ実施。以降適宜検討・実施					

 : 検討
  : 実施

基本方針２：継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化

1) 料金負担の軽減

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① 定期券、回数券等の販売	市 交通事業者	※適宜検討・実施					
② バス相互の乗継券の発行	市、飛島村 木曾岬町 交通事業者	※適宜検討・実施					

2) 分かりやすい情報提供

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① 分かりやすい時刻表の作成、配布	市 交通事業者	※適宜検討・実施					
② ポケット時刻表の作成、配布	市 交通事業者	※適宜検討・実施					
③ 乗継券発行バス停等への乗り継ぎ時刻表等掲示	市、飛島村 木曾岬町 交通事業者	※適宜検討・実施					
④ 広報誌や市ホームページ等多様な媒体による情報提供	市、飛島村 木曾岬町 交通事業者	※適宜検討・実施					
⑤ バス運行情報の提供	市 交通事業者	※適宜検討・実施					

3) 利用するきっかけの創出

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① 無料お試し乗車券の配布	市 交通事業者	※適宜検討・実施					
② エコ モビリティ ライフの推進	市、市民 推進協議会 交通事業者	※適宜検討・実施					

 : 検討
  : 実施

基本方針3：地域や行政、交通事業者等が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成

1) 多様な主体の協働・連携

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① 主要施設へのきんちゃんバスの情報掲示	市 施設管理者	※適宜検討・実施					継続
② イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開	市 交通事業者	※適宜検討・実施					継続
③ 講演会や講習会の開催	市 市民 交通事業者	※適宜検討・実施					継続
④ 快適なバス待ち環境の創出	市、市民 施設管理者 交通事業者	※適宜検討・実施					継続

2) 地域公共交通を創り、支える

実施事業	実施主体	実施スケジュール(年度)					
		R3	R4	R5	R6	R7	R8～ 継続・長期
① 弥富市地域公共交通活性化協議会の開催	市 市民 交通事業者	※適宜検討・実施					継続
② 意見交換会の開催	市 市民 交通事業者	※再編等に係る実施			※見直し等に係る実施		
③ バス協賛金事業の展開	市 市民 交通事業者	※適宜検討・実施					継続

⋯⋯⋯➡ : 検討 ➡ : 実施

7-7-3 実施事業の概要

基本方針 1：地域特性や利用特性に応じた使いやすい地域公共交通網の形成

1) 地域特性や利用特性に応じた改善

① 地域特性や利用特性に応じた運行改善

◆事業概要

鉄道、きんちゃんバスの役割を踏まえ、まちづくり等の関連計画と連携しつつ、利用実態調査等より把握した地域特性や利用状況に応じ、ダイヤや運行ルート、バス停位置等を検証し、より効果的で効率的な地域公共交通網へと改善します。

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和 3 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

・利用実態調査

② 南部ルートの公共交通網再編

◆事業概要

南部地域を中心に運行する南部ルートは、乗車時間が長く運行便数が少ないという問題があり、意見交換会でも数多くの意見が出されています。そこで、これまでに実施した意見交換会での意見も踏まえ、南部コミュニティセンターや鍋田支所等主要な施設を拠点とし、通勤、通学需要に対応した市中心部への急行便の運行について令和 3 年度に社会実験運行を実施します。また、その結果を適切に評価を実施し、本格運行に向けた運行計画を検討するとともに、移転してくる名古屋競馬場との連携も視野に、南部ルート全体の再編を検討し実施します。

◆実施主体

・市、市民、交通事業者

◆計画期間

・令和 3 年度（検討・社会実験）

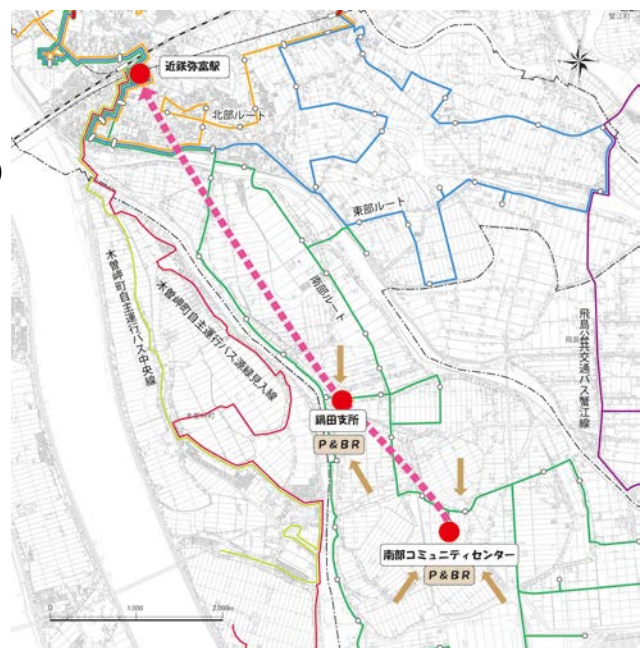
・令和 4 年度（再編実施）

・令和 5 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

・意見交換会、アンケート調査等による
社会実験評価、利用実態調査

南部コミュニティセンターや鍋田支所、
本市中心部を結ぶ急行便のイメージ



③東部ルート of 公共交通網再編

◆事業概要

十四山地区を中心に運行する東部ルートは、運行便数が少ないという問題があり、意見交換会でも数多くの意見が出されています。また、利用の少ないバス停も見られます。そこで、1 便でも多くの運行が可能となるような効率的な運行ルートの検討や、デマンド等運行方法の変更も念頭においた再編を検討し実施します。

◆実施主体

- ・市、市民、交通事業者

◆計画期間

- ・令和 4 年度（検討） ・令和 5 年度（見直し実施）
- ・令和 6 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

- ・意見交換会、利用実態調査

④北部ルート of 公共交通網再編

◆事業概要

北部地域を中心に運行する北部ルートは、運行便数が少ないという問題や空白地への対応について意見交換会でも意見が出されています。そこで、空白地を埋める効率的な運行ルートの検討や、デマンド等運行方法の変更も念頭においた再編を検討し実施します。

◆実施主体

- ・市、市民、交通事業者

◆計画期間

- ・令和 5 年度（検討） ・令和 6 年度（見直し実施）
- ・令和 7 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

- ・意見交換会、利用実態調査

⑤適正な車両サイズへの見直しやバリアフリー等に対応した車両の導入

◆事業概要

現在運行に使用しているマイクロバスは老朽化が進んでおり、バリアフリーへも未対応となっています。そこで車両の更新時には利用状況に応じた適正なサイズの車両とするとともに、バリアフリー等に対応した誰でも使いやすい車両を導入します。

◆実施主体

- ・市、交通事業者

◆計画期間

- ・令和 3 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

- ・意見交換会、利用実態調査

現在のきんちゃんバスの車両



2) 乗り継ぎ環境の改善

① JR・名鉄弥富駅北口駅前広場の整備による乗り継ぎ環境の向上

◆事業概要

現在、JR・名鉄弥富駅では、自由通路・橋上駅舎化事業にあわせた北口駅前広場の整備検討が進められています。また、弥富駅周辺地区は都市機能誘導エリア及び重点運行エリアに位置づけられており、公共交通相互の連携は非常に重要となってきます。そこで、この駅前広場整備を推進にあわせたきんちゃんバスの乗り入れを検討するとともに、快適な待ち合い環境を形成するなど、乗り継ぎ環境の向上を図ります。

◆実施主体

- ・市、交通事業者

◆計画期間

- ・令和7年度（検討）、令和8年度以降（整備）

◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査

② サイクル&バスライド駐輪場・駐車場の設置

◆事業概要

バス利用者の利便性の向上と新たな需要の掘り起こしを目的に、サイクル&バスライド駐輪場を市内の主要な公共施設6箇所に設置しています。今後も主要施設の既存駐輪場を有効活用するなど、サイクル&バスライド駐輪場の拡大を図り、利便性を向上することで利用促進を図ります。また、南部コミュニティセンターなど、広大な駐車場を持つ主要な施設においては、サイクル&バスライド駐車場を設置します。

◆実施主体

- ・市、施設管理者

◆計画期間

- ・令和3年度～（継続実施）

◆関連し実施する調査等

- ・サイクル&バスライド駐輪場設置数

サイクル&バスライド駐輪場の

サイン看板



現在のサイクル&バスライド駐輪場の設置状況

総合福祉センター



白鳥コミュニティセンター



十四山総合福祉センター



鍋田支所



南部コミュニティセンター



十四山支所

③乗り継ぎバス停環境の改善

◆事業概要

主要な施設などの乗り継ぎバス停における、案内表示や上屋、ベンチ等の整備により、バス待ち環境を改善し快適性を向上することで利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、交通事業者、施設管理者

◆計画期間

・令和3年度～（継続実施）

近鉄弥富駅南口バス停

◆関連し実施する調査等

・利用実態調査、バス停環境改善数



④ICカードやMaaSの導入

◆事業概要

各種公共交通機関で利用可能なICカードを導入し、小銭を持つ煩わしさの軽減や、スムーズな乗降、乗り継ぎ環境の向上を図ることで利用促進を図ります。また、MaaSの導入による交通手段相互の連携による利便性向上も図ります。

※MaaS（Mobility as a Service）・・・移動に必要な鉄道やバス、タクシー、レンタカー、カーシェアリング、レンタ（シェア）サイクルなど、多様なモビリティの検索～予約～運賃の支払いを、手元のスマートフォンから一度に行えるようにするサービス

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（検討・長期）

ICカード

（三重交通・エミカ）

◆関連し実施する調査等

・利用実態調査



3)福祉施策との連携

①高齢者や障がい者等への料金負担軽減策の実施

◆事業概要

75歳以上の方に配布される無料パスカードや、65歳以上の方を対象としたシルバーパス（割引定期券）について、今後も継続的に配布・販売し、高齢者の移動を支えます。また、現在は障がい者（手帳所持者）や同伴の介護者は半額となる100円で利用できますが、小学生から高校生については、障がいの有無にかかわらず100円となっていることから、料金改定も含めた負担軽減策を検討し導入します。

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

・無料パスカード配布数、シルバーパス販売数、料金等収入状況

現在のきんちゃんバス運賃

運賃	大人	200円
	小学生から高校生	100円
	障がい者（手帳所持者）	
	・同伴の介護者	100円
	75歳以上・未就学児	無料
定期券	回数券（大人）	2,000円（12枚）
	回数券（高校生以下・障がい者）	1,000円（12枚）
	●定期乗車券（大人）	1ヶ月 6,000円
		3ヶ月 17,100円
		6ヶ月 32,400円
	（高校生以下・障がい者）	1ヶ月 3,000円
		3ヶ月 8,600円
		6ヶ月 16,200円
	●シルバーパス（65歳以上）	1ヶ月 3,000円
		3ヶ月 8,600円
		6ヶ月 16,200円

②福祉タクシー料金助成事業の実施

◆事業概要

「心身障がい者福祉タクシー料金助成事業」や「高齢者等福祉タクシー料金助成事業」を今後も継続的に実施し、心身障がい者（児）や要介護認定者、要支援認定者など1人で移動できず、きんちゃんバスも利用できない方などの移動を支えます。

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

・料金助成事業の利用状況

③ささえあいセンターによる買い物支援サービスの提供

◆事業概要

現在、弥富市において展開している福祉タクシー料金助成事業等では、買い物など日常生活を支えるには不十分となっています。また、弥富市ささえあいセンターでは、通院などの付き添いや家事のお手伝いなどのサポートを展開していますが、移動も含めたサポート提供の要望も出ています。そこで、この弥富市ささえあいセンターを主体とし、買い物と移動サポートをセットにした買い物支援サービスを提供することで、より一層の外出機会の創出を促進します。（道路運送法施行規則第49条の2の福祉有償運送）

◆実施主体

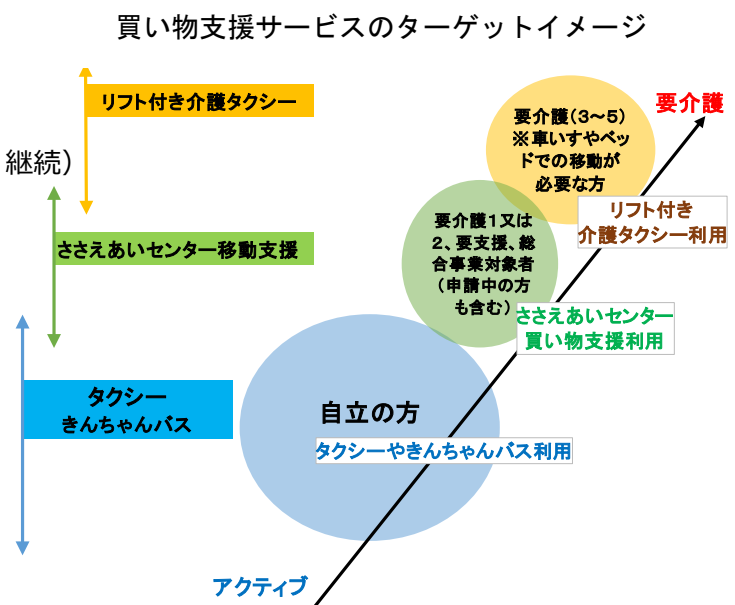
・市、ささえあいセンター

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

・買い物支援サービス利用者数



④乗務員研修の実施

◆事業概要

鉄道やバス、タクシーなど各交通事業者は、乗務員等の職員に対し車いす利用者や障がい者（児）、ベビーカー利用者などへの接遇について当事者を交えた研修を実施し、サービスレベルの向上を図ります。

◆実施主体

・交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

—

4) 周辺自治体との連携

① 飛島公共交通バス蟹江線との連携

◆事業概要

本市周辺で運行されている飛島公共交通バスは、地域間幹線系統として近鉄蟹江駅との結びつきが強くなっており、フィーダー系統として運行するきんちゃんバスにとっても重要な路線の1つです。そこで、市民ニーズ等も踏まえ、乗り継ぎダイヤの改善や飛島村への乗り入れ等を検討し乗り継ぎ環境を改善することで相互の利用促進を図ります。

◆実施主体

- ・市、飛島村、交通事業者

◆計画期間

- ・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査 ・バス停乗降調査（評価時）

② 木曽岬町自主運行バスとの連携

◆事業概要

本市周辺で運行されている木曽岬町自主運行バスは木曽岬町と近鉄弥富駅を結ぶ生活交通路線として運行されています。また、木曽岬町民のイオンタウンへのアクセス要望もあることから、きんちゃんバスとの乗り継ぎも重要となりますが、木曽岬町自主運行バスは近鉄弥富駅北口、きんちゃんバスは近鉄弥富駅南口にアクセスしており、乗り継ぎには近鉄弥富駅の駅舎内を通り抜ける必要があり不便な状況となっています。そこで、木曽岬町自主運行バスの近鉄弥富駅南口へとアクセスさせ、あわせて乗り継ぎダイヤの調整をすることで乗り継ぎ環境を改善し、相互の利用促進を図ります。

◆実施主体

- ・市、木曽岬町、交通事業者

◆計画期間

- ・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

- ・利用実態調査 ・バス停乗降調査（評価時）

木曽岬町自主運行バス（近鉄弥富駅北口）



基本方針2：継続的な利用促進策等の取組みの展開による地域公共交通の維持・活性化

1) 料金負担の軽減

① 定期券、回数券等の販売

◆ 事業概要

通勤・通学など利用頻度の多い方に対応した定期券や回数券の継続的な販売のほか、1日乗車券の販売も検討するなど、料金負担の軽減を図ることで利用促進を図ります。

◆ 実施主体

・市、交通事業者

◆ 計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆ 関連し実施する調査等

・利用実態調査 ・料金等収入状況

② バス相互の乗継券の発行

◆ 事業概要

現在も乗継券を発行しているきんちゃんバス相互の乗り継ぎ時において、今後も乗継券（乗り継ぎ先の料金無料）を発行し、料金負担を軽減することで利用促進を図ります。また、本市周辺で運行されている木曽岬町自主運行バスや飛島公共交通バス等との乗継券の発行についても検討します。

◆ 実施主体

・市、飛島村、木曽岬町、交通事業者

◆ 計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆ 関連し実施する調査等

・利用実態調査 ・乗継券利用状況

2) 分かりやすい情報提供

① 分かりやすい時刻表の作成、配布

◆ 事業概要

ダイヤや運行ルートの改正時に、改正内容や乗り継ぎダイヤ等が分かりやすい時刻表を作成し、作成した時刻表を全戸配布することで利用促進を図ります。また、転入者に対しては、転入手続の際に他の書類等と一緒に窓口で手渡し、必ず1世帯に1部は行き渡るよう配慮します。

◆ 実施主体

・市、交通事業者

◆ 計画期間

・令和3年度～

（適宜検討・実施、継続）

◆ 関連し実施する調査等

—

きんちゃんバス時刻表



②ポケット時刻表の作成、配布

◆事業概要

持ち運びに便利なポケット時刻表を作成し、利便性を向上することで利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

—

③乗継券発行バス停等への乗り継ぎ時刻表等掲示

◆事業概要

きんちゃんバス相互や、本市周辺で運行されている木曽岬町自主運行バス、飛島公共交通バス等との乗り継ぎが可能なバス停や乗継券発行バス停に乗り継ぎ時刻表等を掲示し、利便性を向上することで利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、飛島村、木曽岬町、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

—

④広報誌や市ホームページ等多様な媒体による情報提供

◆事業概要

きんちゃんバスだけでなく、本市周辺で運行されている木曽岬町自主運行バス、飛島公共交通バス等の情報を広報誌や本市HPなど多様な媒体による情報提供することで、市民が周辺自治体が運行するバスの情報をより容易に入手できる環境を整備し、利用促進を図ります。

また、きんちゃんバスとの乗り継ぎが可能なバスを運行する木曽岬町や飛島村のHPにもきんちゃんバスの情報を掲載していただくことで、周辺自治体の住民がきんちゃんバスの情報をより容易に入手できる環境を整備し、利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、飛島村、木曽岬町、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

—

広報やとみ



⑤バス運行情報の提供

◆事業概要

現在、きんちゃんバスの運行情報は、駅すぱあとや NAVITIME などの検索サイトで調べることができますが、標準的なバス情報フォーマット GTFS-JP でのデータ整備など、情報を入力しやすい環境を整備します。また、無線通信や GPS などを利用してバスの位置情報をリアルタイムに確認できるバスロケーションシステムの導入も検討します。主要施設においては、バスロケーションシステムと連携し、バス到着や出発のお知らせを案内するなど、利便性を向上することで利用促進を図ることが可能となります。

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和 3 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

—

3) 利用するきっかけの創出

①無料お試し乗車券の配布

◆事業概要

平成 23 年度以降、毎年実施している無料お試し乗車券の全戸や小学生への配布を継続的に実施し、きんちゃんバスに乗ったことのない人が、一度の利用経験を通じて、きんちゃんバスを持続的に利用するきっかけを創出することで利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和 3 年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

・アンケート調査

（無料お試し乗車券にアンケートを記載）

令和 2 年度 第 10 回 無料お試し乗車券



②エコ モビリティ ライフの推進

◆事業概要

あいちエコモビリティライフ推進協議会（事務局：愛知県）が推進する、クルマ（自家用車）と電車・バス等の公共交通、自転車、徒歩などをかしこく使い分け、環境にやさしい交通手段を利用するライフスタイル「エコ モビリティ ライフ」（通称：エコモビ）と連携し、週に1回、月に1回でもきんちゃんバスを利用するきっかけを創出することで過度なクルマ利用を控え、健康や環境等にやさしい行動を促し、あわせて地域公共交通の利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、市民、あいちエコモビリティライフ推進協議会（事務局：愛知県）、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

—

エコ モビリティ ライフ チラシ



基本方針3：地域や行政、交通事業者等が協働・連携し、持続可能な地域公共交通を創り、支える環境の形成

1) 多様な主体の協働・連携

① 主要施設へのきんちゃんバスの情報掲示

◆事業概要

沿線の施設や店舗など主要施設にきんちゃんバスのダイヤ等の情報を掲示していただき、利用したことのない方々がきんちゃんバスを知り、利用するきっかけを創出することで利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、施設管理者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

主要施設への情報の掲示状況

② イベントの場を活用したきんちゃんバスの周知活動の展開

◆事業概要

市内で開催されるお祭り等のイベントの場を活用し、バス車両の展示や啓発品の配布等を通して周知活動を展開し、利用したことのない方々がきんちゃんバスを知り、利用するきっかけを創出することで利用促進を図ります。

イベント時の周知活動

◆実施主体

・市、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

イベント等における周知活動の実施状況



③ 講演会や講習会の開催

◆事業概要

講演会や講習会を通し、きんちゃんバスの必要性などをより多くの方が知り、きんちゃんバスを支える環境を醸成することで利用促進を図ります。

◆実施主体

・市、市民、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

講演会や講習会等の開催状況

地域公共交通講演会



④ 快適なバス待ち環境の創出

◆事業概要

バス停が設置されている施設や自治会などによるバス停周辺の掃除や花壇の設置・維持管理により、快適なバス待ち環境を創出するとともに、地域公共交通を自分たちで創り、守り、育てていく環境を醸成します。

◆実施主体

・市、市民、施設管理者、交通事業者

◆計画期間

・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆関連し実施する調査等

取組みの実施状況

2) 地域公共交通を創り、支える

① 弥富市地域公共交通活性化協議会の開催

◆ 事業概要

学識や行政関係者、市民の代表者、交通事業者が一堂に会し、協働・連携して、計画の立案・計画の実施・計画の評価・計画の改善を繰り返し検討する場として、「弥富市地域公共交通活性化協議会」を年4回以上開催します。

◆ 実施主体

- ・市、市民、交通事業者

◆ 計画期間

- ・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆ 関連し実施する調査等

協議会の開催状況

弥富市地域公共交通活性化協議会



② 意見交換会の開催

◆ 事業概要

地域公共交通を市や交通事業者だけで支えていくことは難しく、地域の方々の理解と協力、参画が重要となります。そこで、公共交通網の再編検討や本計画の見直し時において、自ら検討する場として地域意見交換会を開催し、地域公共交通を自分たちで創り、守り、育てていく環境を醸成します。

◆ 実施主体

- ・市、市民、交通事業者

◆ 計画期間

- ・令和3～5年度（再編等に係る実施）
- ・令和6～7年度（計画見直し等に係る実施）

◆ 関連し実施する調査等

意見交換会の開催状況

意見交換会



③ バス協賛金事業の展開

◆ 事業概要

地域や企業等から、きんちゃんバスやバス停への広告（協賛金）を募り、きんちゃんバスを持続可能な地域公共交通として確保・維持していきます。

◆ 実施主体

- ・市、市民、交通事業者

◆ 計画期間

- ・令和3年度～（適宜検討・実施、継続）

◆ 関連し実施する調査等

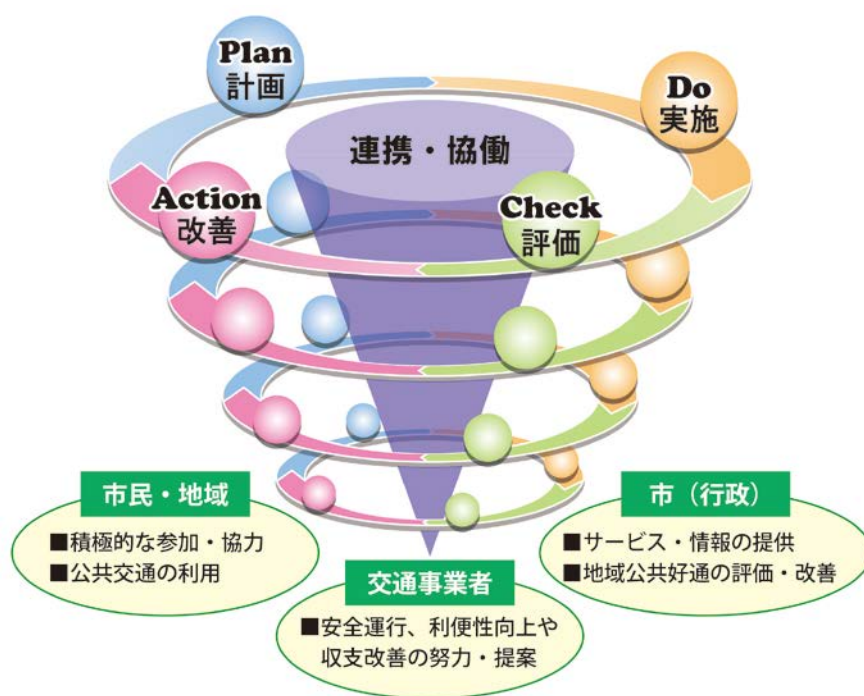
協賛金事業の状況

7-8 計画の進め方

事業の実施にあたっては、社会情勢や市民のニーズの変化にあわせ事業内容を適宜改善することが必要です。そこで、市民や公共交通事業者、市（行政）等の関係者が協働・連携し、計画の立案（Plan）・計画の実施（Do）・計画の評価（Check）・計画の改善（Action）を繰り返し（PDCAサイクル）、地域公共交通を確保・維持・改善していくものとします。

なお、このPDCAサイクルは、毎年開催する「弥富市地域公共交通活性化協議会」において、「7-7 目標を達成するために行う事業及び事業主体・計画期間」において示した“関連し実施する調査等”の結果や事業進捗状況等を基に評価するとともに、コロナ禍による影響も踏まえつつ、目標の達成状況や上位計画の改定内容を踏まえ、必要に応じて計画の見直しを行うことで推進します。

協働と連携、PDCAサイクルのイメージ



計画期間全体の評価スケジュール

年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
計画の立案 Plan	計画見直し				計画見直し	
計画の実施 Do	事業実施					
計画の評価 Check	進捗・目標	進捗	進捗	進捗	進捗	進捗・目標
計画の改善 Action					上位計画との整合性 事業内容・スケジュール等	
備考				弥富市総合計画 前期基本計画 目標年		

基本的な1年間のスケジュール

	6月	(10月)	12月	3月
協議会	第1回	(第2回)	第3回	第4回
協議・報告事項	●前年度決算 ●確保維持改善計画(フイーダー系統) ●前年度第三者評価委員会結果報告 ●無料お試し乗車券等利用促進策実施計画 ●前年度目標達成状況評価	※協議事項がある場合に開催 ・利用促進策等事業実施状況など中間報告、評価、改善検討	●確保維持改善事業(自己)評価 ・利用促進策等事業実施状況など中間報告、評価、改善検討	●次年度予算 ●次年度事業計画
実施事項	4月～ ◇事業等の改善検討(市、市民、交通事業者) 8月～9月頃 ◆無料お試し乗車券 4月～翌年3月 ◆利用実態調査(交通事業者) ※適宜協議会に報告、目標達成状況評価、事業の改善等検討の基礎資料に活用			
その他	2月頃 ★第三者評価委員会			

●:協議・報告が必須の事項、・:状況に応じ協議・報告する事項、◇◆★:実施事項やイベントなど